

特224

854

神戸高等商業学校一覽



0051790000

0051790-000

特224-854

神戸高等商業学校一覽

神戸高等商業学校

昭和13年2月纂

昭和13

AHN

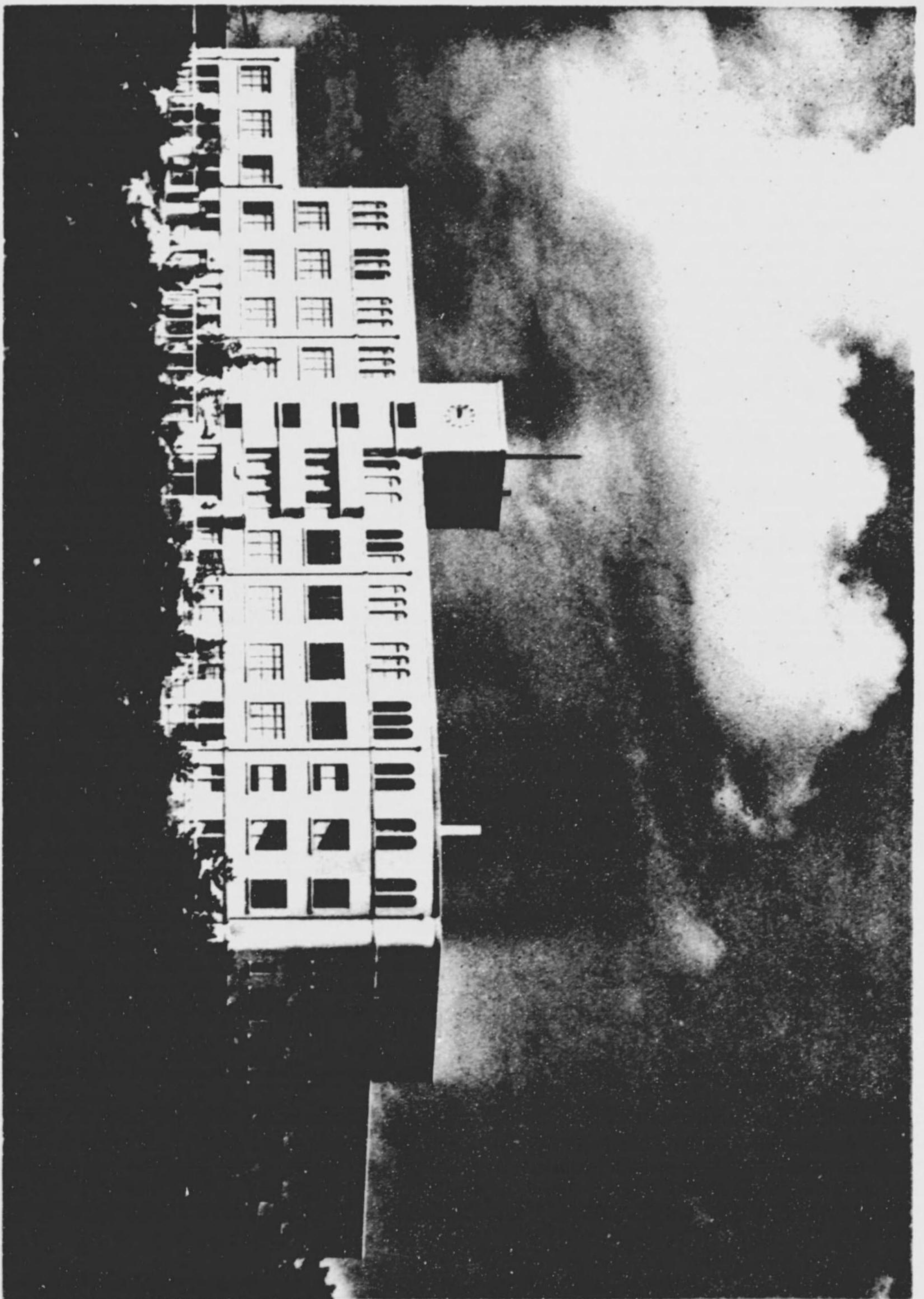
特224

854

神戸高等商業學校一覽

昭和十三年二月纂

458
4224



(面 正 館 本)



(面 背 館 本)

神戸高等商業學校一覽

昭和十三年一月

目次

○學年	略	二
○沿革	略	三
○規則	略	三
一、兵庫縣立神戸高等商業學校設置		二
文部省告示		二
兵庫縣告示		二
二、本校學則		二
第一章 總則		二
第二章 學科目及教授時數		二
第三章 學年、學期及休業日		五
第四章 入學、在學		五
第五章 休學、退學		七
第六章 獎學、懲戒		八
第七章 修業及卒業		九
第八章 授業料		九
附則		〇
○細則		〇
一、生徒心得		二
二、生徒服裝規程		五



三、學業成績考查規程	二九
○事務規程	三一
一、職員服務規程	三一
二、校務分掌規程	三二
三、處務規定	三六
四、會議	三八
五、圖書規程	三八
六、警備規程	四一
七、當直規程	四二
八、貿易研究室規程	四四
○職員	四六
○現職員	四六
○事務分掌	五〇
○舊職員	五三
○生徒	五六
○諸統計	六五
一、生徒募集人員、入學志願者及入學者ノ員數	六五
二、入學志願者及入學者ノ地方府縣別	六六
三、生徒出身學校別	六六
四、生徒年齡數表	六九
五、生徒身體檢査統計表	七四
六、生徒家庭職業別	七六

七、職員及傭人數表	七七
八、圖書冊數表	七八
○敷地及建物	七八
一、敷地	七八
二、建物	七八
三、配置	八一
○卒業生	八一
○關係法令	八二
一、實業學校令(抄)	八二
二、專門學校令(抄)	八二
三、公立私立專門學校規程(全)	一〇二
四、公立學校職員制(抄)	一〇三
五、公立學校職員待遇官等等級令(抄)	一〇六
六、公立學校職員俸給令(抄)	一〇七
七、公立學校職員分限令(全)	一〇八
八、官吏服務紀律(全)	一一一
九、公立專門學校長、實業專門學校長、高等學校長職務規程(全)	一一二
一〇、陸軍現役將校學校配屬令(抄)	一一三
一一、陸軍現役將校學校配屬ニ關スル訓令(抄)	一一三
一二、教員免許令(全)	一一四
一三、教員檢定ニ關スル規定(抄)	一一五
一四、公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程(抄)	一一九

一五、海軍武官任用令(抄).....	一一九
一六、高等試驗令(抄).....	一二〇
一七、高等試驗令第七條及第八條ニ依ル受檢資格ニ關スル件(抄).....	一二〇
一八、計理士法(抄).....	一二〇
一九、兵役法(抄).....	一一一
二〇、兵役法施行令(抄).....	一一二
二一、陸軍補充令(抄).....	一一三
二二、陸軍召集規則(抄).....	一一三
二三、學校教練及青年訓練修了者檢定規定(抄).....	一二七
二四、各大學入學規則(抄).....	一二七
二五、學校身體檢查規程(抄).....	一二九
附錄	
一、學友會會則.....	一三五
學友會役員選舉規程.....	一三八
學友會會計規程.....	一三八
二、研究編輯會會則.....	一三九
三、神商會會則.....	一三九
四、神戶高等商業學校淡水會會則.....	一四〇

○學年曆

昭和十二年	四月一日	第一學期始	春季休業始
同	四月三日	神武天皇祭	
同	四月七日	春季休業終	
同	四月二十二日	開校記念日	
同	四月二十九日	天長節	
同	七月十一日	夏季休業始	
同	九月五日	夏季休業終	
同	九月二十三日	秋季皇靈祭	
同	十月十五日	第一學期終	
同	十月十六日	第二學期始	
同	十月十七日	神嘗祭	
同	十一月三日	明治節	

學年曆

昭和十二年	十二月二十三日	新嘗祭
同	十二月二十五日	大正天皇祭 冬季休業始
昭和十三年	一月一日	四方拜
同	一月三日	元始祭
同	一月五日	新年宴會
同	一月七日	冬季休業終
同	二月十一日	紀元節
同	三月二十一日	春季皇靈祭
同	三月三十一日	第二學期終

沿革略

昭和三年

十二月二十一日 兵庫縣會ニ於テ兵庫縣立神戸高等商業學校設置案議決セラル。蓋シ曩ニ官立神戸高等商業學校ノ大學昇格決定以來兵庫縣下ニ專門學校程度ノ商業教育機關ヲ失フコトトナルヲ以テ之カ設置ヲ熱望スル者相諮リテ其設置ニ必要ナル敷地及ヒ校舍建築費ノ寄附ヲ申請スルニ至リタルニヨル。

昭和四年

二月二日 文部省告示第十九號ヲ以テ實業學校令及專門學校令ニ依リ本校ヲ設置シ昭和四年四月開校ノ件ヲ認可シソノ位置ハ垂水町トシソノ修業年限ハ三ヶ年トスル旨公示セラル。

二月四日 兵庫縣告示第五十九號ヲ以テ本校假事務所ハ三月三十一日迄兵庫縣學務部學務課内ニ置キ校舍ハ當分ノ間縣立第一神戸商業學校ノ設備ノ一部ヲ使用スル旨公示セラル。

同日 兵庫縣令第四號ヲ以テ本校學則ヲ公布シ生徒約百五十名ヲ募集ス。

二月十五日 兵庫縣書記官學務部長川崎末五郎本校校長事務取扱ヲ命セラル。

三月十五日 本日ヨリ第一回入學試験ヲ施行シ志願者五百十六名中百六十四名ニ入學ヲ許可ス。

四月十五日 本校職員會議第一回ヲ兵庫縣廳内ニ開ク。

四月十九日 本校事務所ヲ縣立第一神戸商業學校内假校舍ニ移ス。

四月二十二日 始業式ヲ舉行シ長知事ノ告辭及川崎校長事務取扱ノ式辭アリ。

同日 川崎末五郎本校校長事務取扱ヲ免セラレ前大阪商科大學教授伊藤眞雄本校校長事務取扱ヲ命セラル。

四月二十三日 授業ヲ開始ス。(假校舍ハ縣立第一神戸商業學校内ニテ六室ヲ借用シ其中三八教室一ハ事務室一ハ校長

- 室及教員室一八圖書室ニ充ツ）教員ハ專任講師八名普通講師十一名ナリ。
 - 四月二十七日 第一回入學生ノ宣誓式ヲ舉行ス。
 - 五月九日 本校學友會ヲ組織ス。
 - 五月二十八日 父兄會ヲ開キ校長ヨリ本校ノ教育方針ニツキ説明ス。
 - 六月五日 本校職員生徒代表者六十四名大阪練兵場ニ於ケル御親閉式ニ参加ス。
 - 六月七日 聖上陛下神戶行幸ニツキ職員生徒奉送迎ヲナス。
 - 八月八日 本校校長事務取扱伊藤眞雄公立實業專門學校長（勅任待遇）ニ任セラレ兵庫縣立神戶高等商業學校長ニ補セラル。
 - 九月十一日 成績考査規程ヲ制定ス。
 - 九月二十九日 垂水町本校敷地ニ於テ地鎮祭ヲ行フ本校職員生徒之ニ參列シ學友會主催ニテ相撲大會ヲ開催ス。
 - 十月七日 本日ヨリ第一學期試験ヲ施行ス。
 - 十月十四日 生徒心得ヲ制定ス。
 - 十一月三日 第一回創立記念運動會ヲ開催ス。
- 昭和五年
- 一月九日 本校學則中改正ノ件縣報ニテ告示セラル。
 - 一月二十八日 本校新校舍建築入札ヲ行ヒ大林組ニ參拾貳萬七千圓ニテ落札ス。
 - 二月一日 新校舍建築起工式ヲ舉行ス。
 - 二月十四日 木村文部省實業學務局長本校新築敷地ヲ視察セラル。
 - 二月十五日 學友會誌第一號ヲ發行ス。

- 三月十五日 本日ヨリ三日間本校第二回入學試験ヲ施行シ志願者九百六十一名中百六十五名ニ入學ヲ許可ス。
 - 四月七日 本校假校舎トシテ阪神急行電氣鐵道株式會社ヨリ向フ一ケ年ノ豫定ニテ關西學院中學部跡ノ建物ヲ借用シ之ニ移轉ス。
 - 四月十一日 第二回入學式ヲ縣立第一神戶商業學校講堂ニ於テ舉行ス。
 - 四月十七日 本校在學生徒父兄有志者間ニ神商會ノ組織成ル。
 - 四月二十九日 本校初年度皆出席者五十二名ヲ表彰ス。
 - 六月三十日 本校職員服務規程ヲ制定ス。
 - 七月二十二日 本校校務分掌規程ヲ制定ス。
 - 十月二十五日 教育勅語贈本ヲ下附セラル。
 - 十月二十六日 神戶港沖ニテ觀艦式ヲ舉行セラレ校長陪觀並ニ賜饌ニ召サル。
 - 十月三十日 教育勅語換發四十年記念式ヲ舉行ス。
 - 十一月三日 第二回創立記念運動會ヲ開催ス。
 - 十一月十三日 聖上陛下陸軍大演習御統監ノ爲當地御通過ニ付職員生徒雜譁ニ於テ奉送迎ヲナス。
 - 十一月二十四日 第二回學年對抗競技會ヲ開催シ第一學年優勝ス。
 - 十二月十九日 查閱官第四師團司令部附井上少將來校教練查閱アリ。
- 昭和六年
- 一月十六日 神商會ノ援助ニヨリ健康相談施設ヲ開始ス。
 - 三月十五日 本日ヨリ三日間本校第三回入學試験ヲ施行シ志願者六百七十名中百五十六名ニ入學ヲ許可ス。
 - 四月十五日 第三回入學式ヲ縣立第一神戶商業學校講堂ニ於テ舉行ス。

四月二十四日 本日ヨリ三日間ニ涉リ神戸市西灘原田ノ假校舎ヨリ明石郡垂水町高丸陸ノ新校舎ニ移轉ヲ行フ。
 六月十四日 生徒父兄有志主催ニテ職員ト父兄トノ懇談會ヲ開催ス。
 七月十八日 本校第一回海外旅行團一行教授二名生徒十八名臺灣及南支那旅行ノ爲神戸港ヲ出帆ス。(八月十三日歸着)

九月 校歌ヲ制定ス。

十月二十六日 天皇皇后兩陛下 御眞影ヲ下賜セララル。

十一月一日 本日ヨリ三日間本校校舎新築落成記念祭ヲ舉行ス。(大運動會、演藝大會、講演大會、展覽會、武道大會 語學音樂及映畫大會)

同日 職員學術研究雜誌「研究ト資料」第一號ヲ發行ス。

十一月二日 修祓式、新築落成式ヲ舉行ス。

十一月二十六日 第三回學年對抗競技會ヲ開催シ第三學年優勝ス。

十二月十八日 査閲官島少將來校教練査閲アリ。

昭和七年

三月十一日 第一回卒業證書授與式ヲ舉行ス。

三月十五日 本日ヨリ三日間第四回入學試験ヲ施行シ志願者八百三十五名中百五十七名ニ入學ヲ許可ス。

四月十日 第四回入學式ヲ舉行ス。

六月二十一日 榑崎助教授オリソピツク大會視察ノ爲渡米シ九月三日歸校ス。

十月三十日 教育勅語奉讀式ヲ舉行ス。

十一月三日 第四回創立記念運動會及附帶行事(講演會、展覽會、演藝會、語學音樂及映畫會)ヲ行フ。

十一月十六日 本校職員生徒代表者百十名大阪城東練兵場ニ於ケル御親閱式ニ參加ス。
 十二月十三日 査閲官島少將來校教練査閲アリ。
 十二月十五日 第四回學年對抗競技會ヲ開催シ第一學年優勝ス。

昭和八年

一月十四日 教授一谷藤一郎在外研究員ヲ命セラレ本日靖國丸ニテ神戸港ヲ出帆ス。

三月十一日 第二回卒業證書授與式ヲ舉行ス。

三月十五日 本日ヨリ三日間第五回入學試験ヲ施行シ志願者八百七十三名中百四十七名ニ入學ヲ許可ス。

四月九日 第五回入學式ヲ舉行ス。

七月二日 父兄有志主催ニテ第二回父兄懇談會ヲ開催ス。

七月二十五日 菊池實業學務局長及全國官公立高等商業學校校長會議出席者ノ一行十數名來校視察セララル。

十一月三日 第五回創立記念運動會及展覽會ヲ開催ス。

十二月八日 査閲官石原少將來校教練査閲アリ。

十二月十一日 第五回學年對抗競技會ヲ開催シ第一學年優勝ス。

十二月十四日 文部省督學官木村善太郎氏本校ヲ視察セララル。

十二月二十三日 皇太子殿下御降誕アラセラレタルニヨリ奉祝休業ス。

昭和九年

一月一日 宮中喪ニ付拜賀式ヲ行ハス。

二月十一日 御眞影竝ニ教育勅語贈本奉護ニ關スル心得ヲ制定ス。

三月十二日 第三回卒業證書授與式ヲ舉行ス。
 三月十五日 本日ヨリ三日間第六回入學試験ヲ施行シ志願者九百十二名中百五十六名ニ入學ヲ許可ス。
 四月八日 第六回入學式ヲ舉行ス。
 六月五日 東郷元帥國葬日ニ付授業ヲ廢シ敬弔ノ意ヲ表ス。
 六月二十四日 父兄有志主催ニテ第三回父兄懇談會ヲ開催ス。
 九月二十一日 近畿地方風水害アリ被害甚シ本校運動場ノ西端一部崩壊ス。
 十月二十日 實業教育五十周年記念式ヲ東京ニ於テ舉行セラレ伊藤校長及須藤教授表彰セララル。
 十月二十七日 實業教育五十周年兵庫縣記念會ニ於テ記念式ヲ舉行セラレ本校代表者參列ス。
 十一月五日 第六回學年對抗競技會ヲ開催シ第二學年優勝ス。
 十一月二十七日 査閲官石原少將來校教練査閲アリ。

昭和十年

一月二十五日 在外研究員一谷教授歸朝ス。
 三月一日 文部省視學委員谷口京都帝大教授來校視察セララル。
 三月十一日 本校教授囑託陸軍歩兵中佐正五位勳四等太田節男逝去ス。
 三月十二日 第四回卒業證書授與式ヲ舉行ス。
 三月十五日 本日ヨリ三日間第七回入學試験ヲ施行シ志願者千九百九名中百五十六名ニ入學ヲ許可ス。
 四月七日 第七回入學式ヲ舉行ス。
 四月十八日 有井教授在外研究員ヲ命セラレ本日鹿島丸ニテ神戸ヲ出帆ス。
 四月二十三日 來朝中ノ滿洲國皇帝陛下御歸國ニ當リ全校職員生徒須磨離宮道及神戸港ノ二ヶ所ニ別レテ奉送ス。

五月二十五日 大楠公六百年記念祭ニ付休業各自參拜ス。
 五月二十八日 海軍記念日ニ付和田海軍中將ノ講演アリ。
 六月五日 獨逸國ライプツヒ大學體育課助教授マルチンパンベル氏來校本校體育狀況ヲ視察ス。
 九月十二日 本日ヨリ三日間本校ニ於テ全國官公立高等商業學校教務主任會議ヲ開催ス。
 十一月一日 熱田神宮遷座式ニ付休業ス。
 十一月三日 第六回創立記念運動會及展覽會ヲ開催ス。
 十一月十六日 小笠原文部省體育技師來校視察セララル。
 十一月二十四日 父兄有志主催ニテ第四回父兄懇談會ヲ開催ス。
 十一月二十八日 第二皇子殿下御降誕アラセラレタルニヨリ之ヲ奉祝ス。
 十二月二日 第七回學年對抗競技會ヲ開催シ第二學年優勝ス。

昭和十一年

一月二十八日 査閲官和田少將來校教練査閲アリ。
 二月八日 文部省視學委員作田京都帝大教授來校視察及講演アリ。
 三月六日 本校學則中改正ノ件縣報ニテ告示セララル。(授業料増額)
 三月十二日 第五回卒業證書授與式ヲ舉行ス。
 三月十五日 本日ヨリ三日間第八回入學試験ヲ施行シ志願者千二百三十一名中百六十名ニ入學ヲ許可ス。
 四月五日 第八回入學式ヲ舉行ス。
 五月九日 教授從五位勳六等杉浦舜逝去ス。
 五月二十四日 教授岡田巧中華民國へ出張ヲ命セラレ本日神戸驛ヲ出發ス。

七月十一日 鈴木教授財團法人學徒至誠會滿洲派遣學徒研究團指導教授トシテ本日出發シ八月二十日歸校ス。
九月三十日 本縣總務部長栗屋仙吉氏本校ヲ視察セラル。
十月二十九日 阪神沖ニ於ケル海軍觀艦式ニ際シ伊藤校長ハ陪觀並ニ賜饌ニ召サレ西居、鈴木、須藤、小松ノ四教授ハ陪觀ノ榮ヲ賜ハル。

十一月三日 第七回創立記念運動會ヲ開催ス。
十一月七日 賀陽宮殿下御台臨御視察遊ハサル松浦第十師團長、岡田本縣知事、奥田學務部長、渡邊學務課長、警察署長等隨行ス。
十一月二十二日 父兄有志主催ニテ第五回父兄懇談會ヲ開催ス。
十二月十一日 第八回學年對抗競技會ヲ開催シ第二學年優勝ス。
十二月十六日 野砲第十聯隊長重田大佐教練ヲ視察セラル。

昭和十二年

一月二十七日 查閱官波田少將來校教練查閱アリ。
二月一日 文部省視學委員原口神戸商大教授今明兩日ニ亙リ來校視察及講演アリ。
二月六日 物延書記逝去ス。
三月十二日 第六回卒業證書授與式ヲ舉行ス。
三月十五日 本日ヨリ三日間第九回入學試驗ヲ施行シ志願者千四百九名中百六十五名ニ入學ヲ許可ス。
三月十八日 在外研究員有井教授歸朝ス。
四月十一日 第九回入學式ヲ舉行ス。
五月十五日 中華民國在留研究中ノ岡田教授歸朝ス。

六月十五日 第十師團管下大學高專聯合ノ教練研究會並ニ協議會ヲ本校ニ於テ開催ス。
七月二十四日 本校學則中改正ノ件兵庫縣令第三十二號ヲ以テ告示セラル。(夏季休業期日變更ノ件)
七月二十七日 教授囑託永村少佐及山本小使支那事變ノ爲召集セラル。
十月八日 伊藤校長卒去セラル。
同日 西居教授校長事務取扱ヲ命セラル。
十月十六日 本校庭ニ於テ故伊藤校長ノ校葬ヲ執行ス。
十二月八日 神戸商業大學教授正四位勳三等原口亮平本校校長事務取扱ヲ命セラル。
同日 西居教授校長事務取扱ヲ免セラル。
十二月十一日 校長事務取扱原口亮平着任ス。

昭和十三年

一月十一日 原口校長事務取扱、鈴木、一谷兩教授、生徒代表者九名ハ姫路陸軍病院ニ傷病兵ヲ慰問ス。
一月二十二日 文部省督學官田中保平氏來校視察アリ。
一月二十六日 查閱官第十師團司令部附井大佐來校教練查閱アリ。
一月三十一日 本校校長事務取扱正四位勳二等原口亮平公立實業專門學校長(勅任待遇)ニ任セラレ本校校長ニ補セラル

○規則

一、兵庫縣立神戸高等商業學校設置

文部省告示第十九號（昭和四年二月二日）

實業學校令及專門學校令ニ依リ左記實業專門學校ヲ設置シ昭和四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

昭和四年二月二日

文部大臣 勝田 主計

名 稱 兵庫縣立神戸高等商業學校
 位 置 兵庫縣明石郡垂水町
 設 立 者 兵 庫 縣
 修 業 年 限 三 年

兵庫縣告示第五十八號（昭和四年二月四日）

兵庫縣立神戸高等商業學校ヲ兵庫縣明石郡垂水町ニ設置シ昭和四年四月ヨリ開校ス

二、兵庫縣立神戸高等商業學校學則

昭和四年二月四日縣令第四號
 昭和五年一月三日縣令第一號改正
 昭和十二年七月縣令第三十二號改正

第一章 總 則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ商業上須要ナル高等ノ教育ヲ施スヲ以テ目的トス。

第二條 本校ノ修業年限ハ三年トス

第二章 學科目及教授時數

第三條 學科目及每週授業時數左ノ如シ

學 科 目	第一學年		第二學年		第三學年	
	中學校出身者	商業學校出身者	中學校出身者	商業學校出身者	中學校出身者	商業學校出身者
修身	一	一	一	一	一	一
國語及漢文	一	二	一	二	一	二
作文及書法	一	一	一	一	一	一
理化	一	二	一	二	一	二
商業數學	二	二	二	二	二	二
經濟地理	二	二	二	二	二	二
經濟歷史	二	二	二	二	二	二
英語	七	七	七	七	七	七
法律學	三	三	三	三	三	三
經濟學及財政學	三	三	三	三	三	三
通商論	三	三	三	三	三	三
貨物論	三	三	三	三	三	三
通商銀行論	四	二	三	二	三	二
商業簿記	三	二	二	二	二	二
簿記及會計學	三	二	二	二	二	二
商業學	三	二	二	二	二	二
原價計算	三	二	二	二	二	二
會計學	三	二	二	二	二	二
海上保險	四	二	三	二	三	二
火災保險	四	二	三	二	三	二
貿易實踐	四	二	三	二	三	二
商業政策	三	二	三	二	三	二
財政學	三	二	三	二	三	二
商法	三	二	三	二	三	二
民法	三	二	三	二	三	二
金及爲替	三	二	三	二	三	二
貿易及爲替	三	二	三	二	三	二
交通保險	三	二	三	二	三	二
銀行簿記	二	二	二	二	二	二

選擇必修科目	三一五	四一六	三一六	六一七
研究				不定時
體操	三	三	三	三
計	三二一三四	三二一三四	三二一三五	三二一三三

研究ハ生徒ヲシテ或學科目ニ關聯セル特殊事項ニ就キ教師指導ノ下ニ研究セシムルモノトス
 選擇必修科目及毎週教授時數ハ左ノ通トシ各學年配當時數ノ範圍内ニ於テ時間割ノ許ス限り之ヲ選擇必修セシム
 但シ學校ノ都合ニ依リ其ノ學科目及教授時數ヲ増減シ又ハ履修學年ヲ變更スルコトアルヘシ
 學校ニ於テ必要ト認ムルトキハ各學年ノ選擇必修科目中ヨリ特ニ或數科目ヲ指定シ其ノ中ヨリ必ス一又ハ二科目ヲ選擇
 セシムルコトアルヘシ

第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
英語	英語	英語	英語
二	二	二	二
第二外國語	第二外國語	第二外國語	第二外國語
二	三	三	三
自然科學	鐵道	貿易通信	
二	一、五	二	
心理學及論理學	海上運送	經濟事情	
二	一、五	二	
國語及漢文	倉庫	工業要項	
二	一、五	二	
國史	信託	生命保險	
二	一、五	一、五	
タイプライテング	植民	取引所	
一	二	一、五	
速記	統計學	工業政策	
一	二	二	

珠算	一	哲學概論	二	社會政策	二
	社會學	二	教育學	二	

第二外國語ハ支那語、獨逸語、佛蘭西語、西班牙語及露西亞語ノ中其ノ一ヲ選擇セシム
 但シ學校ノ都合ニ依リ外國語ノ數ヲ増減スルコトアルヘシ

第三章 學年學期及休業日

第四條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條 學年ヲ分チ左ノ二學期トス

第一學期 (自四月一日起至十月十五日)

第二學期 (自十月十六日起至三月三十一日)

第六條 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一、日 曜日
- 二、大祭祝日
- 三、開校記念日
- 四、春季休業 (自四月一日起至四月七日)
- 五、夏季休業 (自七月一日起至七月十五日)
- 六、冬季休業 (自十二月二十五日起至翌年一月七日)

第四章 入學在學

第七條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始メ三十日以内トス

第八條 第一學年ニ入學ヲ許ス者ハ左記各號ノ一ニ該當スル者ノ中ヨリ選拔ス

一、中學校ヲ卒業シタル者

二、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

三、專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

第九條 入學者ノ選拔ハ志願者ノ入學前ニ於ケル學業成績選拔試驗ノ成績及身體検査並人物考査ノ結果ヲ參按シテ之ヲ決定ス

第十條 第八條第一號及第三號ニ掲ケタル學校ニ在學スル者ニシア當該學校長ヨリ其ノ年三月末ニ卒業スヘシト認メラレタル者ハ同年ニ於ケル本校入學ニ關シ當該學校ノ卒業者ニ準スルコトヲ得但シ豫定期ニ卒業セザリシトキハ其ノ入學ニ關スル手續ハ總テ効力ヲ失フモノトス

第十一條 選拔試驗ハ中學校又ハ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノ商業學校卒業ノ程度ニ於テ之ヲ行ヒ試驗科目ハ生徒募集ノ都度之ヲ公示ス

第十二條 第八條第一號及第三號ニ掲ケタル學校ヲ卒業シタル入學志願者ニシテ在學中最後ノ三學年ヲ通シテ其ノ學年ノ及第者全數ノ約五分ノ一以上ノ席次ニ在リテ卒業成績席次卒業者全數ノ約十分ノ一以上ノ席次ニ在ル者ハ選拔試驗ヲ用ヒスシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條ノ卒業見込者ニシテ最後ノ三學年中前二學年ノ成績前項ノ規定ニ該當スルトキハ前項ニ準シテ之ヲ取扱フコトヲ得但シ卒業期ニ於テ前項規定ノ成績ヲ得ザリシトキハ其ノ効力ヲ失フモノトス

第十三條 選拔試驗ヲ用ヒサル入學志願者ニシテ入學ノ許可ヲ得サル場合選拔試驗ヲ受ケムトスル者ハ別ニ出願ヲ要セスシテ選拔試驗ヲ受クルコトヲ得

第十四條 入學志願者ハ生徒募集ノ都度公示スル書式ニ依リ入學願書及其ノ他ノ書類ニ考查料ヲ添ヘ之ヲ學校長ニ差出ス

ヘシ

考查料ハ金五圓トシ納付後何等ノ事由アルモ還付セス

第十五條 入學許可ヲ得タル者ハ其ノ許可ノ日ヨリ二十日以内ニ在學誓書(第一號書式)及戶籍謄本ヲ學校長ニ差出スヘシ

第十六條 退學者退學許可ノ日ヨリ一年以内ニ再入學ヲ出願スルトキハ詮議ノ上原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十七條 保證人ハ生徒ノ父兄後見人又ハ親族中ノ成年者ニシテ生徒在學中一切ノ事件ニ付完全ニ責務ヲ盡シ得ヘキ者タルヘシ

第十八條 保證人轉籍轉居改氏名若クハ改印等ヲ爲シタルトキハ直ニ之ヲ届出ツヘシ

第十九條 保證人死亡若クハ第十七條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ在學誓書ヲ差在スヘシ

第二十條 生徒轉籍改氏名若クハ改印シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ但シ轉籍改氏名ノ届出ニハ戶籍抄本ヲ添付スルコトヲ得ス

ヘシ

第二十一條 生徒ハ本校制定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ但シ新入學生徒ハ入學ノ日ヨリ一月以内ニ着用スヘシ

第二十二條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ學校ニ入り又ハ他ノ學校若クハ官廳ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

第五章 休學 退學

第二十三條 疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニヨリテ三月以上修學スルコト能ハスト思料スルトキハ保證人連署ヲ以テ學校長

ニ願出テ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得但シ疾病ニ因リ休學セムトスル場合ニ於テハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十四條 陸軍又ハ海軍ノ現役ニ服シ若クハ召集ニ應スル者ハ其ノ服役又ハ召集ノ期間學校長ノ許可ヲ得テ休學スルコ

トヲ得

第二十五條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ休學事由ノ止ミタル翌日ヨリ原學年ノ課程ヲ修メシム

前條ニ依リ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除後三週間以內ニ於テ原學年ニ復スヘシ

第二十六條 休學ハ同一學年ニ於テ一年以內ニ限ル但シ第二十四條ニ依ル休學ハ此ノ限りニアラス

第二十七條 生徒退學セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第二十八條 左ニ掲クル各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ス

一、品行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二、學業劣等若クハ身體虛弱ニシテ修學ニ適セスト認メタル者

三、休學ノ許可ヲ得スシテ引續キ一年以上缺席シタル者

四、正當ノ理由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者

五、正當ノ理由ナクシテ屢々遅刻缺席シ出席常ナラサル者

六、授業料滯納六十日ニ及フ者

第六章 獎學懲戒

第二十九條 人物德操學業健康共ニ優秀ナルモノト認ムル者ハ特待生トナスコトアルヘシ

第三十條 特待生ハ每學年之ヲ定ム

第三十一條 特待生ニ對シテハ授業料ヲ徵收セス

第三十二條 特待生ニシテ學業ヲ怠リ又ハ其ノ體面ヲ損ズル行爲アリト認メタルトキハ直ニ特待生タルコトヲ罷ム

第三十三條 校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ生徒ノ本分ニ背戾スル者ハ學校長之ヲ懲戒ス

第三十四條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭、停學、放校ノ三トス

第三十五條 戒飭ハ訓戒ヲ加ヘテ將來ヲ戒メ停學ハ一定期間特別監督ノ下ニ反省セシメ放校ハ學校ヨリ放逐ス

第七章 修業及卒業

第三十六條 各學年ノ課程ノ修了ハ學業成績及勤惰ヲ考査シテ之ヲ定ム

第三十七條 未修了ノ學科目多クシテ次學年ノ課程ヲ履修スルニ不適當ト認メタル者ハ原學年ノ課程ヲ再修セシム

第三十八條 未修了ノ學科目ニ就テハ在學中又ハ第三學年次ノ考査修了後滿二年以內ニ再考査ヲ受クル事ヲ得

第三十九條 全部ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書(第一號書式)ヲ授與ス

第四十條 各學年ノ課程ヲ履修セルモ前條ニ該當セサル者ニハ修業證書ヲ授與ス

修業證書ヲ授與セラレタル者ニシテ第三十八條ノ再考査ヲ受ケ合格シタルトキハ卒業證書ヲ授與ス

第八章 授業料

第四十一條 授業料ハ一學年金八拾圓トシ左ノ三期ニ之ヲ分納セシム

第一期 自七月 至九月 金參拾圓

第二期 自九月 至十二月 金參拾圓

第三期 自一月 至三月 金貳拾圓

第四十二條 授業料ハ學校長ノ定ムル期日ニ納付スヘシ

第四十三條 授業料ハ一旦納付ノ後ハ如何ナル事由アルトモ之ヲ還付セス

第四十四條 休學ノ許可ヲ得タル生徒ヨリハ休學期間中授業料ヲ徵收セス但シ授業料徵收期日前ニ休學又ハ退學シタルト

キハ其ノ月ノ授業料ハ金七圓トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ納付スヘシ

第四十五條 左ニ掲クル各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ事由ノ生シタル月ヨリ一箇月金七圓ノ割ヲ以テ次ノ授業料納付期ノ

前月迄ノ授業料ヲ指定期日內ニ納付スヘシ但シ第二號ニ該當スル者ニシテ既ニ其ノ期ノ授業料納付済ノモノハ此ノ限ニ

規 則

二〇

アラス
一、特待生タルコトヲ罷メラレタル者
二、休學ノ事故止ミ就學シタル者
第四十六條 定日ニ授業料ヲ納付セサルトキハ本人ニ之ヲ催告シ猶納付セサルトキハ保證人ニ催告ス前項ノ催告ヲ受ケ納付セサルトキハ第二十八條第六號ニ依リ處分ス

附 則
本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ學校長之ヲ定ム
在學誓書(第一號書式)

在 學 誓 書

私儀今般御校ニ入學御許可相成候ニ就テハ在學中校規命令等堅ク相守ルヘキハ勿論御校ノ學籍ヲ脱シ候後ト雖在學中ニ係ル一切ノ義務ハ必ス履行可致此段誓約候也
本 籍
族 籍
現 住 所
昭 和 年 月 日
何
某 印
年 月 日 生

右 今般御校ニ入學許可相成候ニ就テハ御校在學中監督保護ノ責ニ任スヘキハ勿論御校ノ學籍ヲ脱シ候後ト雖本人在學中ニ係ル一切ノ義務ハ必ス履行可爲致萬一違背候節ハ拙者ニ於テ一切引受ケ可申此段保證候也

卒業證書(第二號書式)

昭 和 年 月 日
本人ノ關係
現 住 所
職 業
族 籍
本 籍
兵庫縣立神戸高等商業學校長 殿
保 證 人 何
年 月 日 生
某 印

卒 業 證 書
族 籍

右ノ者本校所定ノ課程ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス
昭 和 年 月 日
何
年 月 日 生 某
兵庫縣立神戸高等商業學校長 位勳功 學位爵 何
某 印

規 則

二一

○細則

一、生徒心得

- 第一條 本校生徒タル者ハ常ニ校規ヲ守リ師訓ニ從ヒ左ノ綱領ヲ遵守スヘシ
- 一、學業ヲ勵ミ智徳ヲ磨キ人格ノ陶冶ニ努ムヘシ
- 二、體力ヲ練リ節制ヲ守リ必身ノ強健ヲ圖ルヘシ
- 三、質實ヲ旨トシ勤儉力行ノ美風ヲ養フヘシ
- 四、禮節ヲ重シ信義ヲ敦ウシ學止常ニ端正ナルヘシ
- 五、國體ヲ尊ヒ公益ヲ念ヒ健全ナル國民ノ基幹タルヲ期スヘシ
- 第二條 讀書及娛樂ハ常ニ其ノ選擇ニ注意シ智徳又ハ趣味ノ向上ニ資シ品性ノ修養ニ益セムコトヲ心掛クヘシ
- 第三條 生徒ノ品位ヲ瀆シ校風ヲ紊ス處アル場所ニ立入ルコトヲ避クヘシ
- 第四條 不都合ノ行爲アリタルトキハ學則ニ依ル懲戒ノ外ニ相當ノ制裁ヲナスコトアルヘシ
- 懲戒又ハ其ノ他ノ制裁ヲ受ケタル者ニシテ改過ノ實明カナルトキハ懲戒録ヨリ之ヲ抹消スルコトアルヘシ
- 第五條 各學年級及各組ニ主任一名ヲ置キ教職員之ニ當ル
- 級主任及組主任ハ生徒ト學校トノ親密ナル連絡ヲ計リ其ノ級ノ指導訓育ニ任ス
- 第六條 各學年級ノ各組ニ級委員二名ヲ置キ級ノ事務ヲ取扱ハシム
- 級委員ハ各學期ノ初メニ記名投票ニ依リ生徒中ヨリ四名ノ候補者ヲ互選セシメ校長之ヲ命ス任期ハ一學期間トス
- 但シ第一學年第一學期ニ限り互選ニ依ラス校長之ヲ命ス
- 第七條 學校ノ内外ヲ問ハス本校職員及ヒ生徒ニ對シ互ニ敬禮ヲナスヘシ

授業ノ始終ニハ教師ニ對シ敬禮スヘシ

授業中ハ勿論放課時ト雖モ靜肅ヲ旨トシ喧嘩粗野ノ言動アルヘカラス

第八條 校內ニ於テハ所定ノ場所以外ニ於テ飲食、喫煙スヘカラス

第九條 生徒ニ對スル學校ノ告示ハ之ヲ一定ノ場所ニ揭示ス生徒ハ常ニ之ニ注意スヘシ

學校ノ告示ハ揭示シタル日ヨリ一般ニ之ヲ了知シタルモノト看做ス

生徒カ揭示ヲナサムトスルトキハ豫メ生徒課ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 諸願書及届書ハ總テ校長宛トシ生徒課ニ提出スヘシ

第十一條 缺席及缺課ニ關シテハ左ノ通届出ヲ勵行スヘシ

一、三日以内缺席又ハ缺課セムトスルトキハ豫メ(豫知シ難カリシトキハ事後二日以内ニ)其ノ旨届出ツヘシ

但シ場合ニ依リ保證人ノ連署ヲ命スルコトアルヘシ

二、缺席又ハ缺課三日以上ニ亘ルトキハ豫メ(豫知シ難カリシトキハ最初ノ日ヨリ七日以内ニ)保證人連署ヲ以テ届出ツヘシ

三、病氣ニヨリ缺席又ハ缺課七日以上ニ亘ルトキハ豫メ(豫知シ難カリシトキハ最初ノ日ヨリ十日以内ニ)醫師ノ診斷書ヲ添

へ保證人連署ヲ以テ届出ツヘシ

四、體操及教練ノ見學引續キ七回以上ニ及フトキ及野外演習又ハ野營ニ缺席セムトスルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添へ(豫

知シ難カリシトキハ事後三日以内ニ)届出ツヘシ

五、試験ニ缺席シタル者ニシテ學業成績考査規程第八條ニ依ル特別ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ同條ニ依リ遲滞ナク其

ノ旨願出ツヘシ

六、左ノ事由ニ依リ缺席又ハ缺課ヲナシ届出ヲ完了シタルトキハ之ヲ缺席日數又ハ缺課時數ニ算入セス

1. 父母ノ喪ニアリタルトキ

七日及往復日數

- 2. 祖父母、兄弟、姉妹ノ喪ニアリタルトキ 五日及往復日數
- 3. 其ノ他近親ノ服忌 三日及往復日數
- 4. 父母、祖父母、兄弟、姉妹其ノ他近親ノ法要 當日及往復日數
- 5. 徴兵検査ノ受檢ニ要シタル日數
- 6. 學校ヨリ出張等ヲ命シタル日數又ハ時數

第十二條 服装ニ關シテハ左ノ通心得ヘシ

一、登校ノ際及本校生徒トシテ旅行スル場合ハ制服制帽及制靴ヲ着用スヘシ

但シ稍異式ノモノト雖モ事情ニ依リ生徒課ノ許可ヲ受ケタルトキハ之ヲ代用スルコトヲ得

二、病氣其ノ他ノ事故ニヨリ登校ノ際和服ヲ着用セムトスルトキハ生徒課ノ許可ヲ受クルヘシ

三、和服ヲ着用シテ外出スルトキハ制帽及袴ヲ着用スヘシ

四、體操及教練ノ際ハ必ス體操服ヲ着用スヘシ

第十三條 教室又ハ校具ヲ使用セムトスルトキハ生徒課ニ願出ツヘシ

建物、器具、圖書等ハ常ニ良久保存整頓ニ留意スヘシ若シ毀損亡失シタルトキハ直チニ其ノ旨生徒課ニ届出テ場合ニ依

リ之ヲ辨償スヘシ

第十四條 校ノ内外ヲ間ハス左ノ行爲ヲナサムトスルトキハ豫メ生徒課ノ許可ヲ受クヘシ

- 一、集會ヲ催サムトスルトキ
- 二、講演又ハ宣傳等ヲナサムトスルトキ
- 三、印刷物ヲ配布セムトスルトキ
- 四、團體ヲ組織シ又ハ他ノ團體ニ加入セムトスルトキ

- 五、各種ノ業務ニ從事セムトスルトキ
- 六、金錢ヲ募集セムトスルトキ

七、他ノ學校ヘ入學又ハ其ノ他ノ願書ヲ提出セムトスルトキ

第十五條 各種ノ證明書又ハ割引證ノ交附ヲ受ケムトスルトキハ生徒課ニ願出ツヘシ

第十六條 每學年ノ始メ十日以内ニ宿所ヲ生徒課ニ届出ツヘシ

轉宿シタルトキハ直チニ新住所ヲ届出ツヘシ

轉籍、身分ノ異動、轉居等ノ場合ハ遲滞ナク届出ツヘシ

第十七條 家族同居人又ハ居所附近ニ割性傳染病患者發生シタルトキハ直チニ届出テ生徒課ノ指示ヲ受クヘシ

二、生徒服装規程

第一條 生徒ノ服制左ノ如シ

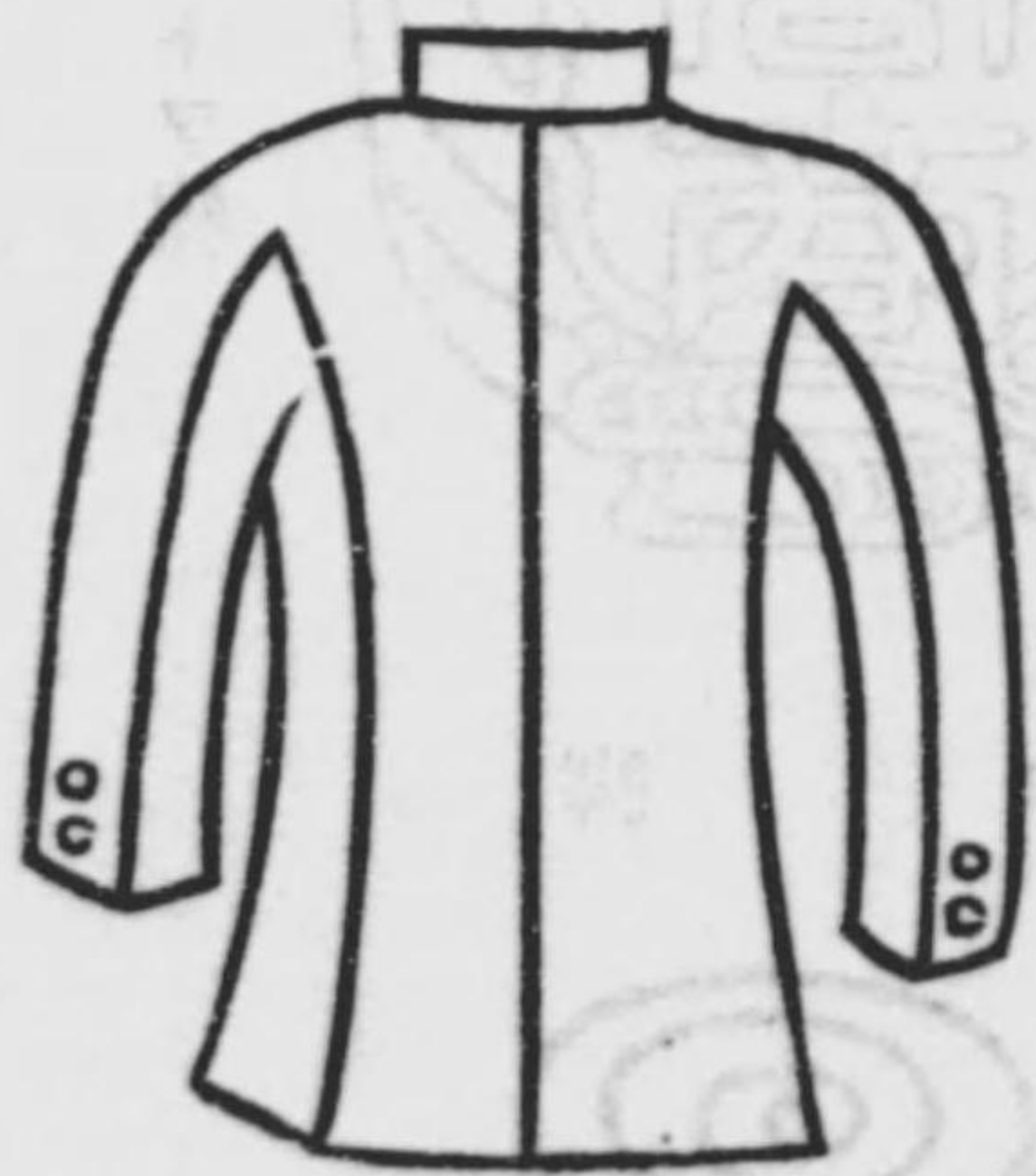
制	正		略		冬
	制	地	制	地	
式	海軍形(黒毛織ノ帶布ヲ附ス)圖ノ如シ	黒絨	普通形ニシテ圖ノ如シ	黒無地	圖ノ如シ
章	臺地金色、文字銀色圖ノ如シ			白麥稈	正帽前章ニ同ジ(但シ小形ナルモノヲ用ヒ帶布ノ側面ニ附ス)
布					

六月一日ヨリ九月三十日迄着用スル事ヲ得但シ儀式體操教練ノ場合ハ必ズ正帽ヲ用フベシ

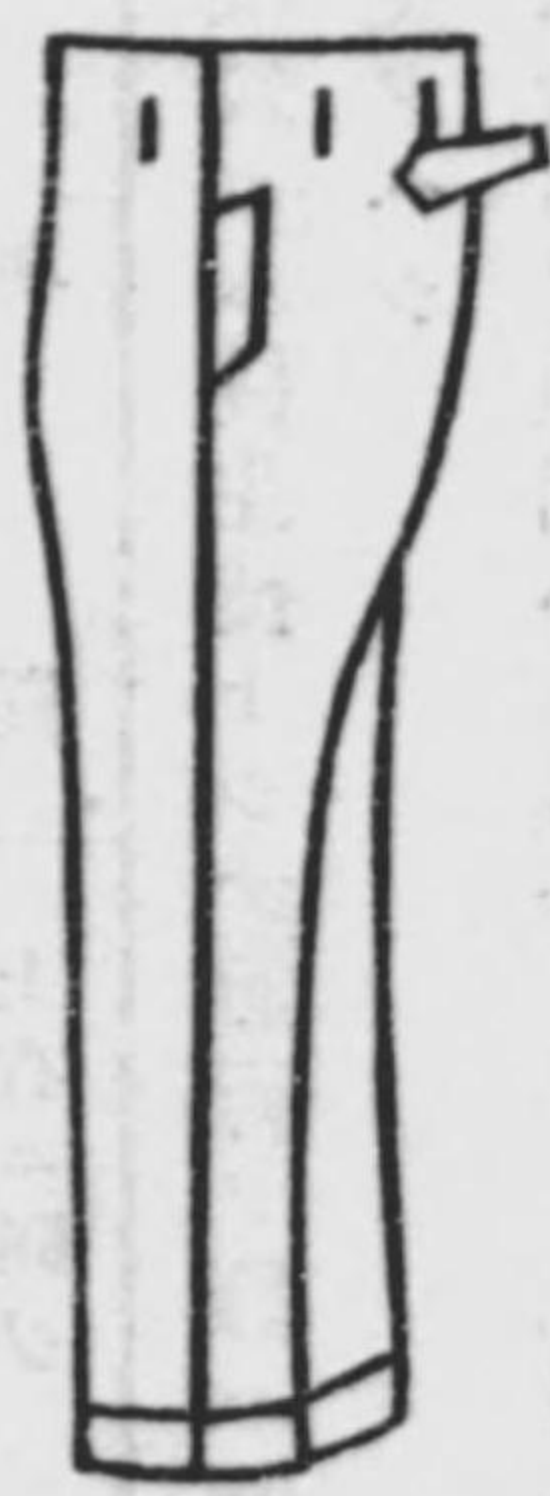
上衣正面



上衣背面



袴



外套



上鈕衣



三、學業成績考查規程

第一條 學業成績ヲ分チテ學期成績、學年成績及卒業成績ノ三トス

學期成績ハ學期試驗評點ト平常ノ業績及勤惰トヲ參酌シテ之ヲ定ム

第二條 學年成績ハ學期成績評點ノ和ヲ二除シテ之ヲ定ム、但シ一ノ學期ヲ以テ終了スル學科目ニアリテハ學期成績ヲ以テ學年成績ト看做ス

卒業成績ハ進級ニ合格シタル各學年ニ於ケル總學科目成績ノ學年平均評點ノ總和ニ依テ之ヲ定ム

第三條 學業成績ハ評點ヲ以テ表ハシ各學科目百點ヲ以テ滿點トス

成績評點ハ左ノ評語ヲ以テ之ヲ表示ス

甲 (八十點以上) 乙 (六十點以上)

丙 (五十點以上) 丁 (五十點未滿)

第四條 或ル學科目ハ之ヲ數分科ニ分チ各分科ハ成績考查ニ當リ之ヲ獨立ノ學科目ト看做ス

分科ヲ設ケル學科目及分科數ハ每學年之ヲ定ム

第五條 學期試驗ハ每學期ノ終リニ於テ期日ヲ定メ行フ

但シ特別ノ必要アルトキハ他ノ時期ニ於テ行フコトアルヘシ

第六條 或學科目ハ學期試驗ヲ行ハス平常ノ業績及勤惰ヲ考查シテ其ノ成績ヲ定ムルコトアルヘシ

學期試驗ヲ行ハサル學科目ハ每學年之ヲ定ム

第七條 疾病其他已ムヲ得サル事由ニヨリ試驗ニ缺席シタル者ニハ平常ノ業績勤惰及出席狀況ヲ參酌シ左ノ取扱ヲナスコトアルヘシ

一、當該學科目ノ他ノ學期ニ於ケル評點ノ七割以內ヲ與ヘ之ヲ以テ其學期成績評點ト看做ス

- 二、一學期ヲ以テ終了スル學科目ニ就テハ追試験ヲ行フ
追試験ハ次學期授業開始後一ヶ月以内ニ之ヲ行フ
追試験ノ評點ハ其ノ得點ノ八割以内ヲ與ヘテ定ム
- 三、兵役ニ關スル事由ニ因テ試験ニ缺席シタル者ニハ前二號ニ依ラス特別ノ取扱ヲナスコトアルヘシ
- 第八條 前條ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ試験缺席ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ遲滞ナク其旨届出ツヘシ病氣ニ因ル
場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ
右ノ願出ヲナササル者ハ前條ノ取扱ヲ受クルコトヲ得ス
- 第九條 各學科ノ授業時數ニ對シ出席時數ノ割合六割ニ滿タサル者ハ其學科ノ學期試験ヲ受クルコトヲ許サス
但シ特別ノ事情アリト認メタル場合ニ限り特ニ受験ヲ許スコトアルヘシ
- 第十條 各學科目ノ學年成績評點五十點以上ニシテ總學科目ノ學年成績評點ノ和ヲ學科目數ヲ以テ除シタル平均評點六十
點以上ヲ得タル者ヲ以テ當該學年課程ヲ修了シタルモノトシ進級又ハ卒業セシメ然ラサル者ハ原學年級ニ留ム
- 第十一條 學年成績評點五十點未滿ノ學科目ハ未修了ノモノトシ未修了ノ學科目三科目以内ニシテ總學科目平均評點六十
點以上ヲ得タル者ハ詮議ノ上假ニ進級ヲ許シ一定日期ニ於テ未修了學科目ノ再試験ヲ行ヒ其ノ成績合格スルニ及ヒテ進
級セシムルコトアルヘシ
再試験學科目ノ成績ハ當初ノ學年成績評點ト再試験ノ得點ヲ二倍シタルモノトノ和ヲ三除シタルモノニ依テ之ヲ定ム

○ 事務規程

一、職員服務規程

- 第一條 專任ノ職員出勤シタルトキハ校長ノ定ムル特別ノ場合ノ外ハ必ス出勤簿ニ捺印スヘシ
- 第二條 病氣其他ノ事故ニヨリ缺勤又ハ遲刻セムトスルトキハ豫メ届出ツヘシ
病氣缺勤七日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ
- 第三條 執務時間中病氣其他ノ事故ニヨリ早退セムトスルトキハ其旨ヲ届出ツヘシ
- 第四條 親族ノ喪ニ服スルトキハ其親族トノ續柄及死亡ノ日時ヲ記載シテ届出ツヘシ
父母ノ祭日ニ當リ賜暇ヲ受ケムトスルトキハ前日迄ニ其旨ヲ届出ツヘシ
- 第五條 公務ノ都合ニ依リ必要アルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖モ服務スヘシ
休日ニ執務スルトキハ登校及退出ノ際其旨ヲ當直ニ通告スヘシ
- 第六條 歸省、墓參、轉地療養其他私事旅行ヲナサムトスルトキハ其事由及所要日數ヲ記載シ願出ツヘシ休暇中ニ於ケル
場合モ又同シ
- 第七條 出張ヲ命セラレタルトキハ出發歸任共ニ届出ヲ爲シ且遲滞ナク文書又ハ口頭ヲ以テ復命スヘシ
出張中豫定ノ日限ニ歸着スルコト能ハサルトキハ其事由ヲ具シ校長ノ許可ヲ受クヘシ
- 第八條 他ノ事業ノ囑託ニ應セムトスルトキハ豫メ校長ノ許可ヲ受クヘシ
- 第九條 本校ヲ經由セスシテ辭令ヲ受ケ其他履歷ニ關係アル事項アリタルトキハ其都度之ヲ届出ツヘシ
- 第十條 新任者ハ直ニ住所届ヲ差出スヘシ其後ノ住所異動アリタルトキモ亦同シ
- 第十一條 轉免又ハ休職ヲ命セラレタルトキハ擔任事務及取扱書類其他所管物品ヲ後任者又ハ校長ノ指名シタル職員ニ引

繼ヲナスヘシ

第十二條 公文書類ハ校長ノ許可ナクシテ猥リニ之ヲ關係者外ニ示シ又ハ謄寫セシムヘカラス

第十三條 校長名若クハ學校名ヲ以テスル文書ハ校長ニ稟議シ決裁ヲ受ケタル後ニアラサレハ發送スルコトヲ得ス

但シ豫メ校長ノ承認ヲ得タルモノハ事後之ヲ校長ニ報告スヘシ

第十四條 校内ノ出火、近火其他變災アルトキハ速ニ登校シテ警備ニ當リ災害防止ニ努ムヘシ

二、校務分掌規程

第一條 校務分掌ノ爲メ教務課、生徒課、人事課、事務課及圖書課ヲ置キ其ノ他必要ニ應シ研究室、標本室等ノ特別室ヲ設ク

第二條 教務課、生徒課、人事課及圖書課ニ課長ヲ置キ各特別室ニ室主任ヲ置ク

課長及室主任ノ任期ハ二年トス但シ必要ニ應シ伸縮スルコトアルヘシ

第三條 生徒課ニ生徒係若干名ヲ置ク

第四條 人事課ニ主事及係員若干名ヲ置ク

第五條 事務課ニ庶務係及會計係ヲ置キ各係ニ系主任ヲ置ク

第六條 各課、係又ハ室ノ分掌事務ニシテ他ノ課、係又ハ室ノ事務ニ關係アルヘキ事項ニ就テハ關係者協議ノ上之ヲ處理

シ常ニ相互ノ連絡ニ努ムヘシ

第七條 事務ノ所屬明カナラサルモノハ校長ノ指揮ニ依ル

第八條 教務課ハ左ノ事務ヲ分掌ス

- 一、教務ニ係ル文書ノ起案編纂及保管
- 一、學科課程教科書ニ關スル事
- 一、授業時間配當ニ關スル事

- 一、授業及休業ニ關スル事
- 一、試験及成績ニ關スル事
- 一、教室及教具ニ關スル事

一、生徒募集、入學及學級編成ニ關スル事

一、修學旅行及見學等ニ關スル事

一、職員會議ニ關スル事

一、教員ノ出勤ニ關スル事

一、教務上ノ統計ニ關スル事

一、參觀人取扱ニ關スル事

一、其他教務ニ關スル一切ノ事務

第九條 生徒課ハ左ノ事務ヲ分掌ス

一、生徒課ニ關スル文書ノ起案編纂及保管

一、生徒ノ入學及學籍ニ關スル事

一、生徒ノ監督及風紀ニ關スル事

一、生徒ノ勤怠及賞罰ニ關スル事

一、生徒ノ健康衛生及身體検査ニ關スル事

一、學資貸給其他生徒ノ生活ニ便スル福利施設ニ關スル事

一、生徒ノ兵役ニ關スル事

一、生徒ノ願、届及船車割引證等ニ關スル事

事務規程

- 一、儀式ニ關スル事
- 一、學友會ノ監督ニ關スル事
- 一、銃器火藥及警備ニ關スル事
- 一、生徒ノ統計ニ關スル事
- 一、卒業生ニ關スル事
- 一、其他生徒ニ關スル一切ノ事務

第十條 人事課ハ左ノ事務ヲ分掌ス

生徒ノ在學中及卒業後ニ於ケル各自ノ身上ニ關シ補導援助ヲナスコト

第十一條 事務課ハ左ノ事務ヲ分掌ス

庶務係

- 一、庶務ニ關スル文書ノ起案編纂及保管
- 一、御眞影及勅語謄本ノ管守竝ニ儀式ニ關スル事
- 一、職印、校印ノ管守ニ關スル事
- 一、職員ノ進退身分服務出張及諸願届ニ關スル事
- 一、職員ノ出勤簿ノ整理
- 一、法令規則類ノ整理及保管
- 一、文書ノ收受發送及保管
- 一、學校一覽、年報、官報、日誌、證書及記録ニ關スル事
- 一、宿直、日直及校外外ノ警備竝ニ衛生ニ關スル事

- 一、備人ノ進退及取締ニ關スル事
- 一、外來者ノ應接
- 一、他課ノ所管ニ屬セサル一切ノ事務

會計係

- 一、會計ニ關スル文書ノ起案編纂及帳簿ノ整理保存
- 一、豫算決算ニ關スル事
- 一、財産ノ保管ニ關スル事
- 一、金錢出納ニ關スル事
- 一、營繕ニ關スル事
- 一、物品ノ購入出納保管及處分ニ關スル事
- 一、授業料及手数料ニ關スル事
- 一、寄附ノ收受ニ關スル事
- 一、給水電氣瓦斯暖房防火器及通信機等ニ關スル事
- 一、其他會計ニ關スル一切ノ事務

第十二條 圖書課ハ左ノ事務ヲ分掌ス

- 一、圖書ニ關スル文書ノ起案編纂及保管
- 一、購入圖書及新聞雜誌年報一覽等ノ選擇註文竝ニ整理保管
- 一、圖書印等ノ管守
- 一、書庫及閱覽室ノ整理竝ニ取締

事務規程

事務規程

三六

二、圖書類ノ出納及貸出ニ關スル事

一、寄贈及委託圖書ニ關スル事

一、圖書目錄ノ編纂及保管

一、其他圖書ニ關スル一切ノ事務

第十三條 特別室ハ各左記ノ事務ヲ分掌ス

研究室

一、特定ノ學術上ノ研究調査ニ關シ必要ナル圖書資料ノ蒐集整理及保存利用ニ關スル事

一、前項ノ研究調査ニ關聯シ必要ナル一切ノ事務

標本室

一、商品見本及理化學用具標本模型藥品等ニ關スル文書ノ起案編纂及保管

一、前項物品ノ蒐集整理及保存利用ニ關スル事

一、其他商品及理化學用品ニ關スル一切ノ事務

三、處務規程

第一條 校長事故アルトキハ事務ニ關シテハ主務課長之ヲ代理ス

但シ重要ナル事項ニシテ急遽處理ヲ要セサルモノハ校長ノ決裁ヲ經テ施行スルモノトス

第二條 事務ノ性質ニ依リテハ臨時若クハ常設ノ委員ヲ設ケテ之ヲ處理セシムルコトアルヘシ

第三條 訓令、內訓、達、通牒、指令等ニシテ例規トナルヘキモノハ其原本ヲ庶務係ニ於テ編綴保存スヘシ

第四條 本校ニ到着セル封書、書籍、其他ノ封緘物件ハ公用ト私用トヲ問ハス庶務係又ハ當直員ニ於テ到着物受付簿ニ登錄ノ上當該課員又ハ宛名人ニ遲滯ナク配付シ書留郵便物及之ニ類スル物ニ就テハ受領印ヲ徵スヘシ

生徒宛ノ郵便物等ハ總テ生徒課ニ配付スヘシ

第五條 公文書ハ親展文書ヲ除キ庶務係ニ於テ之ヲ收受シ文書件名簿ニ登記シ該文書ニ番號及月日ヲ記入シタル上速カニ

主務課ニ配付シ受領印ヲ徵スヘシ

校長宛親展文書ハ庶務係ヨリ校長ニ進達シ下附セラレタルモノハ前項ニ準シ手續ヲナスヘシ

二課以上ニ關係アル文書ハ其重キニ從ヒ配付スヘシ

電報ハ之ニ譯文ヲ附シ第一項ノ手續ヲナスヘシ

第六條 左ノ文書ハ主務課ニ於テ直接收受スヘシ

一、各課宛親展文書

二、生徒ヨリ差出ス願届類

三、入學願書

四、其他校長ノ指定シタル書類

第七條 各課ニ於テ交付ヲ受ケタル文書ニシテ處分ヲ要スルモノハ遲滯ナク處分案ヲ起草シ其他ニ關係アルモノハ合議ノ

上校長ニ稟議スヘシ

文書ニ餘白アルトキハ稟議用紙ヲ用ヒス餘白ニ處分案ヲ記載スルコトヲ得

第八條 決裁済ノ文書ニシテ發送ヲ要スルモノハ各主務課又ハ庶務係ニ於テ淨書ノ上發送ノ手續ヲ執ルヘシ

第九條 發送文書ハ特別ノ場合ヲ除キ校長名又ハ學校名ヲ用ヒ左ノ例ニ依リ番號ヲ付シ主務課ニ於テ文書發送簿ニ登錄ス

ヘシ

神高商教發

神高商生發

神高商庶發

神高商計發

神高商圖發

第十條 庶務係ニ於テ郵便電信ヲ發送シタルトキハ其月日、發送先、料金(用件)ヲ登記スヘシ

事務規程

三七

第十一條 回覽ヲ要スル文書ハ庶務係ニ於テ之ヲ回覽ニ供シ校長關係各課長各主任及職員ニ及ホシ回覽済ノ上ハ庶務係ニ於テ之ヲ主務課ヘ返付スヘシ

第十二條 完結文書ハ主務課ニ於テ同種事件ニ關スルモノヲ取纏メテ整理シ處理完結ノ月日ヲ逐ヒ卷首ニ索引ヲ付スヘシ
完結文書ハ別ニ定ムル期間主務課ニ於テ保存スヘシ

第十三條 特殊ノ取扱ヲ要スル文書ハ其上部餘白ニ左ノ種別ヲ朱記シ別冊トシテ整理スヘシ

一、例規トナルヘキモノ 「例規」

二、秘密ニ涉ルモノ 「秘」

四、會議

第一條 校務上ノ打合セヲナシ又ハ校長ノ諮問事項ヲ審議スル爲メ必要ニ應シ職員會又ハ教授會ヲ開ク

第二條 職員會ニ出席スヘキ職員ハ會議ノ目的タル事項ニ依リ開會ノ都度校長之ヲ定ム

第三條 教授會ハ教授ヲ以テ會員トス

但シ時宜ニ依リ校長ハ他ノ職員ヲ之ニ列席セシメ又ハ之ニ出席スヘキ會員ヲ指定スルコトアルヘシ

第四條 職員會及教授會ハ校長之ヲ召集シ校長又ハ校長カ代理ヲ命シタル職員其ノ座長トナル

五、圖書規程

(一) 總則

第一條 圖書ハ凡テ書庫内ニ收メ圖書課之ヲ管理ス

第二條 圖書ヲ寄託セントスル者アルトキハ其ノ需メニ應スルコトアルヘシ

寄託圖書ニ關シテハ寄託者ヨリ特ニ指定セル條件ニ從フノ外凡テ本校圖書ト同一ノ取扱ヲナス

第三條 圖書又ハ圖書購入資金ノ寄贈ヲ受ケタルトキハ之ヲ寄贈受付簿ニ登錄シ圖書ニハ寄贈者ノ氏名ヲ記入ス
第四條 圖書ヲ別チテ左ノ二種トス

一、普通圖書

二、特別圖書

(二) 購入

第五條 圖書購入ノ請求ヲナシ得ル者ハ教職員トス

第六條 圖書購入請求書ハ圖書購入請求票ニ必要ノ事項ヲ記入シ圖書課長ニ差出スヘシ

第七條 圖書課長ハ豫算其他ノ調査ヲナシ校長ノ承認ヲ受ケ直チニ購入ノ手續ヲナスヘシ

(三) 整理

第八條 圖書ヲ購入シタルトキハ直ニ圖書原簿ニ登錄シ閱覽ニ必要ナル手續ヲナスヘシ

第九條 圖書ノ寄贈ヲ受ケタルトキハ第三條及前條ノ手續ヲナスヘシ

但シ小冊子及之ニ類スルモノハ圖書原簿ニ登錄スルコトナク閱覽ニ供スル手續ヲナスコトヲ得

第十條 新聞雜誌ノ保存ニ關シテハ永久當分ノ二種ニ區別シ永久保存ノモノハ製本後圖書原簿ニ登錄スヘシ

第十一條 整理前ノ圖書ハ之ヲ貸出又ハ閱覽セシムルコトヲ得ス

但シ特ニ校長ノ許可アリタル場合ハコノ限ニアラス

第十二條 圖書ノ點檢ハ隨時之ヲ行フ

(四) 檢索

第十三條 圖書課員ノ外圖書ノ出納ヲナスコトヲ得ス

第十四條 左ニ掲タル者ハ書庫内ニ入りテ圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ得

事務規程

四〇

一、教職員

一、特ニ校長ノ許可ヲ得タル者

第十五條 特別圖書ノ檢索ハ其閱覽ヲ許可セラレタル者ニ限り圖書課員立會ノ上之ヲ爲スコトヲ得

第十六條 圖書檢索者ハ書庫内ニ於テ圖書管理上最善ノ注意ヲ拂フヘシ

(五) 貸出

第十七條 圖書ヲ借受クルモノハ定式ノ借用證用紙ニ所定ノ事項ヲ記入シ記名捺印スヘシ

第十八條 各課及特別室ニ於テ教授上又ハ執務上必要ナル圖書ハ校長ノ許可ヲ受ケタル冊數ニ限り借受クルコトヲ得

各課長又ハ室主任ハ其ノ保管ノ責ニ任ス

第十九條 普通圖書ハ左ノ制限内ニ於テ借受クルコトヲ得

冊數

定期

一、教職員

三十冊

六ヶ月間

二、特ニ校長ノ許可ヲ受ケタル者

三冊

一ヶ月間

第二十條 特別圖書ハ教職員ニ限り十日間借受クルコトヲ得

但シ特ニ校長ノ許可ヲ得タル場合ハ十日以上ニ亘ルコトヲ得

第二十一條 借受ケタル圖書ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第二十二條 借受ケタル圖書ハ借用者其ノ保存ノ責ニ任シ紛失又ハ汚損シタルトキハ圖書又ハ代價ヲ以テ辨償セシメ若クハ之ヲ修繕セシムルコトアルヘシ

第二十三條 貸出期限内ト雖モ必要アルトキハ圖書ヲ臨時返納セシメ又ハ之ヲ點檢スルコトアルヘシ

(六) 閱覽

第二十四條 閱覽室ハ休日ノ外毎日午前八時三十分ヨリ午後四時三十分迄之ヲ開ク

但シ時宜ニヨリ變更スルコトアルヘシ

第二十五條 圖書ヲ閱覽セントスルモノハ定式ノ閱覽證用紙ニ所定ノ事項ヲ記入ノ上係員ヨリ借受ケ閱覽終リタルトキハ直チニ返納スヘシ

閱覽圖書ハ三冊ヲ限り同時ニ借受クルコトヲ得

第二十六條 閱覽圖書ハ閱覽室外ニ携出スルコトヲ許サス

第二十七條 借受ケタル圖書ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ圖書又ハ代價ヲ以テ辨償セシメ若クハ修繕セシムルコトアルヘシ

六、警備規程

第一條 専任職員ノ中ニ警備主任ヲ置キ各種警備ニ關スル事務ヲ主管セシム

第二條 非常用具及非常設備ハ毎月少クトモ一回警備主任ニ於テ點檢シ尙藥品等ニテ交換ヲ要スルモノハ次回交換月日ヲ記載貼付スヘシ

第三條 非常持出箱ニハ「非常持出」ト標記スヘシ

校内非常用具、非常設備及非常持出箱ノ所在ヲ當直室並ニ事務室ニ揭示シ置クヘシ

第四條 電燈及瓦斯ノ裝置機能等ニハ常ニ注意シ警備主任ハ庶務係及會計係立會ノ上毎年少クトモ一回技術者ヲシテ之ヲ檢査セシムヘシ

第五條 當直室ニハ消防署及警察署ノ電話番號ヲ揭示シ置クヘシ

第六條 校内ノ出火、近火其ノ他非常事變發生ノ場合ハ發見者ハ直ニ事務課又ハ當直員ニ急報スヘシ

第七條 執務時間外ニ於テ前條ノ事變ノ爲大事ニ至ル虞アリト認メタルトキ當直員及現在員ハ左ノ概目ニ從ヒ非常手配ヲ

爲スト同時ニ學校長、各課長各主任其ノ他ノ職員ニ急報スヘシ

- 一、御眞影竝ニ勅語贈本ノ奉護
- 二、消防署竝ニ警察署トノ連絡
- 三、應急災害防止方法ノ實施
- 四、非常持出箱及其ノ他ノ文書竝ニ物品ノ搬出
- 五、構内出入口及搬出物ノ警戒
- 第八條 執務時間外ニ於テ前條ノ急報ニ接シ又ハ事變ヲ聞知シタル職員生徒ハ直ニ登校シテ非常手配中ニ參加シ災害防止ニ努ムヘシ

七、當直規程

- 第一條 判任官待遇職員及之ニ準スル專任職員ハ一名宛輪番ヲ以テ當直勤務ヲ爲スヘシ
當直ノ順番ハ庶務係ニ於テ之ヲ定メ少クトモ三日以前ニ本人ニ通知スヘシ
- 第二條 當直勤務時間ハ宿直ニアリテハ午後四時ヨリ翌日ノ午前八時迄トシ日直ニアリテハ午前八時ヨリ午後四時迄トス
但シ保管物竝ニ收受物ノ引繼ヲ了スルニ非サレハ勤務ヲ離ル、コトヲ得ス
- 第三條 左ノ期間中ハ當直ヲ免除ス
一、出張ノ日ヨリ歸任ノ日マテ
但シ午前中ニ出發ヲ要スルトキハ其ノ前日ノ宿直ヲ免除ス
二、忌引中
三、父母ノ看病ノ爲メ請假中
四、徵兵検査召集點呼等ニ應召中及其ノ前日

五、新任者着任後七日間

六、特別ノ理由ニ基キ指定セラレタル期間

第四條 病氣其ノ他ノ事故ニ依リ當直ヲ缺勤シタルトキハ次番者ヲ繰上ケ勤務セシム

前項缺勤者ハ後日之ヲ補動セシム但シ病氣缺勤七日以上ニ亘ルトキハ此ノ限ニ非ス

第五條 當直中ハ左ノ帳簿及物品ヲ備ヘ置クヘシ

- 一、宿直日誌
- 二、職員及生徒住所録
- 三、各室鎖鑰
- 四、文書及物品ノ收受簿及發送簿
- 五、郵便切手端書及同受拂簿
- 六、電信用語符號表
- 七、文書及物品容器

第六條 當直者ハ左ノ各項ノ事務ヲ執行スヘシ

- 一、校僕ヲ指揮監督シテ校内ノ一般警備特ニ火元ノ取締ニ注意シ夜間ハ午後八時以後ニ於テ二回以上校僕ヲ伴ヒ校舎内外ヲ巡視シテ異狀ノ有無ヲ調査スルコト
- 二、非常事變アルトキハ警備規程ニ從ヒ臨機ノ處置ヲ爲スコト
- 三、各室鎖鑰ヲ安全ニ保管スルコト
- 四、文書等ノ收受發送ヲ爲スコト

但シ公文書中急ヲ要スルコトヲ認メタルモノハ直ニ校長若クハ當該課員ニ回附スルコト

第七條 當直者ハ左記事項ヲ當直日誌ニ記録シ該日誌ト共ニ保管竝ニ收受シタル文書及物品ヲ庶務係若クハ次番者(休日ナルトキ)ニ引繼クヘシ

但シ重要ト認ムル事項ハ口頭ヲ以テ校長若クハ當該課員ニ報告スヘシ

一、月日、曜日、天候

二、當直職員及校僕氏名

三、鎖鑰ヲ使用シタルトキハ其ノ事由

四、校内異狀ノ有無

五、來校者氏名及用件

六、其他處理事項ノ顛末

第八條 當直勤務中止ムヲ得サル事故ヲ生シタルトキハ第一條ノ職員中ヨリ代勤者ヲ定メ其ノ登校ヲ待チテ退出スルコトヲ得

第九條 庶務係ハ當直簿ヲ備ヘ當直勤務者當直免除者及當直缺勤者ニ關スル記録ヲナシ免除及缺勤ニ關シテハ其ノ理由ヲ明記スヘシ

八、貿易研究室規程

第一條 本研究室ハ貿易及其他國際的經濟問題ニ關シ理論ノ研究竝ニ實地ノ調査ヲ行フヲ以テ目的トス

第二條 本研究竝ニ其ノ目的ノ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、研究調査ニ必要ナル圖書資料ノ蒐集整理竝ニ保管利用

二、研究調査ニ關シ職員生徒竝ニ實際家ト連絡シ必要ナル協同ヲ行フコト

三、研究調査ノ結果ノ發表

四、其他本研究室ノ目的ノ爲メ適當ト認メタル事項

第三條 本研究室ニ左ノ役員ヲ置キ本校職員中ヨリ校長之ヲ命ス

委員若干名 研究調査ヲ分擔シ協同シ事業ノ遂行ニ當ル

主任 一名 委員中ヨリ之ヲ命シ本部ノ事業ヲ統括ス

常務委員 一名 委員中ヨリ之ヲ命シ本部ノ常務ヲ處理ス

係員 若干名 委員ノ指揮ニ從ヒ事務ニ従事ス

第四條 圖書課ノ管理ニ屬スル圖書ニシテ本研究室ニ必要ナルモノハ圖書課ノ委託ヲ受ケ本室ニ於テ之ヲ管理スルコトヲ得

○職員

○現職員

(二月現在)

學校長

原口亮平

教授

文學士
(バチエラー、オブ、アーツ
スタンプフォード大學)

西居靈

修身、心理及論理、教育學
英語
商業算術、銀行簿記、原價計算、取引所、販賣研究
法學通論、憲法、民法、統計學、國際公法

法學士
(兼)

須藤文太

交通、陸運、工業政策、交通研究

經濟學士

須藤泰

經濟史、英文經濟、貨幣

經濟學士

岡田秀

金融、財政學、信託、獨逸語、金融研究

經濟學士

小谷藤一

商業簿記、會計學、會計學研究

經濟學士

小菅敏

法學通論、民法、商法

文學士

中井真太

英語

文學士

三井雄

商品學、經濟地理、植民、商品研究、經濟地理研究

經濟學士

田中

經濟通論、商業政策、佛蘭西語、經濟學研究

經濟學士

有田

商業通論、賣買、貿易實踐、貿易實踐研究

商學士

本井

銀行、貿易、倉庫

文學士

北尾政

英語

商學士

橋尾泰

社會學、社會政策、英文經濟、國史、獨逸語、獨文經濟學研究
(在外研究中)

經濟學士

前田加一

保險、海上保險、火災保險、生命保險

文學士

谷口重

生徒主事

文學士
(兼)

西居靈

配屬將校

文學士
(バチエラー、オブ、アーツ
スタンプフォード大學)

鈴木富太

助教授

文學士

鈴木富太

教授囑託

文學士
(マスター、オブ、アーツ
エール大學)

中村長之助

英語、英文通信、貿易通信
國語漢文、作文及書法

文學士

永松忠

教練

文學士

林松

教練

文學士

尾上

第十師團司令部附

准尉

岡部久義

職員

騎兵大佐

本川治郎

職員

神戸商業大學教授

齋藤常三郎

工業要項

工學士

川井一

獨逸語

文學士

佐々木圓梁

外國爲替、爲替研究

大阪商科大学高商部教授 (マスター、オブ、アーツ (ウイスクンシン大学))

池田實

物理学

神戸高等工業學校教授

上林一雄

海上運送

神戸商業大學教授

生島廣治郎

經營學、經營學研究

大阪商科大学高等商業部教授

松井辰之助

佛蘭西語

關西大學教授

賀來俊一

自然科學、化學、商品研究

京都帝國大學農學部助手

齋藤仁

佛蘭西語

關西大學教授

賀屋俊雄

支那語

關西學院高等商業部教授

山名正孝

書法

縣立第一神戸商業教諭

小林好重

珠算

(兼)

余根田廣太郎

タイプライティング

縣立第一神戸商業教諭

近藤主二

劍道

山本重遠

柔道

山本正信

外國人教師

エチ、デー、グラント

ジエ、ヴィ、マーテン

シー、シー、ロビンソン

アール、シー、マン

徐仁怡

書記

竹中俊雄

馬田瀧三郎

近藤主二

本多新一郎

森初次

雇員

吉坂武男

長谷川富夫

桑重一男

宮里アサエ

校医

縣立神戸病院内科部長 醫學博士

竹田正次

職員

○事務分掌

課長

教授主事兼
生徒主事

西居 靈
近藤 主
長谷川 富
宮里 了 夫

二 證

生徒課

課長

教授主事兼
生徒主事

鈴木 富 太
林 壽 一
迎 垣 半
岡 部 久

治 郎

人事課

課長兼主事

教授主事兼
生徒主事

西居 靈
鈴木 富 太
須藤 文
岡田 巧

證 郎

主事

教授

馬田 瀧 三

郎

職員

圖書課

課長

生徒主事兼
教授主事

桑重 一 男

男

事務課

會計係主任
兼庶務係
庶務係主任

書記

竹中 俊 雄
馬田 瀧 三
本多 新一 郎

男

貿易研究室

委員(主任)

教授

一谷 藤 一 郎

男

委員

教授

田中 博 郎

男

委員

教授

有井 治 郎

男

委員(常務)

講師

余根 廣 太 郎

男

年級主任及組主任

第三學年級主任

前官職	在職	摘	要	現職又ハ住所	氏名
講師	自昭和四年四月二十三日	解	嘱	兵庫縣體育主事	木村伊勢榮
講師	自昭和四年四月二十三日	解	嘱	神戸高工教授	瀬尾武次郎
講師	自昭和五年四月二十三日	解	嘱	神戸高工教授	山下吉二
講師	自昭和四年四月二十三日	解	嘱	縣立第一神戸商業教諭	土本源治
書記	自昭和六年四月二十六日	退	職		弓田瑞穂
外國人講師	自昭和六年四月二十六日	契約満期			ダブルユー、ビ、シ、トラップフォード
教授嘱託	自昭和七年四月二十三日	解	嘱	京都帝大助教	山崎直樹
教授嘱託	自昭和七年四月二十三日	解	嘱	神戸市須磨區磯馴町一丁目四	杉武夫
書記	自昭和七年五月三十一日	退	職		黒田倫吉
教授嘱託	自昭和五年三月三十一日	解	嘱	大阪女子醫専教授	野澤仁三郎
教授嘱託	自昭和八年三月三十一日	解	嘱	大阪商大漁科教授	片山俊
教授嘱託	自昭和八年四月十日	解	嘱		シ、ピ、ケ、アーガール
教授嘱託	自昭和八年六月十五日	解	嘱		近藤英也

〇 舊 職 員

同 A 組主任	橋泰來
同 B 組主任	本田實
同 C 組主任	有井治
第二學年級主任	須永彌
同 A 組主任	北尾政男
同 B 組主任	前田加一
同 C 組主任	一谷藤一
第一學年級主任	中井真太郎
同 A 組主任	田村實
同 B 組主任	田中博
同 C 組主任	三戸雄一

職員

五二

五三

校長	助教	書記	庶務	教授	教授囑託
自昭和十二年四月二十二日	自昭和十二年七月三十一日	自昭和十二年四月六日	自昭和十二年一月六日	自昭和十一年四月九日	自昭和十一年四月八日
卒去	轉任	死亡	退職后死亡	死亡	解囑
	兵庫縣體育運動主事				大阪商大高商部教授
伊藤	檜崎	物延	西本	杉浦	岡本
眞	正	研	勇		修
雄	雄	治	治	舜	助

講師	講師	書記	教授囑託	教授囑託	教授囑託	教授囑託	教授囑託	配屬將校	講師	書記	教授囑託	履
自昭和十一年三月三十一日	自昭和十一年三月三十一日	自昭和十一年三月三十一日	自昭和十一年三月三十一日	自昭和十一年三月三十一日	自昭和十一年三月三十一日	自昭和十一年三月三十一日	自昭和十一年三月三十一日	自昭和九年八月一日	自昭和九年四月十二日	自昭和九年三月三十一日	自昭和九年三月三十一日	自昭和八年六月二十日
解囑	解囑	轉任	解囑	解囑	死亡	解囑	解囑	服務被免	退職	解囑	解囑	解囑
大阪府警察部	縣立第一神戸商業教諭	姫路工業學校 書記兼講師						山口縣熊毛郡大野村	京都市立松原商務學校 教諭	神戸坂倉商店	神戸高工教授	明石市役所
若林	安藤	勝野	シ、ビ、ケ、ア イ、エツクル	中野	大田	ポール、イ、エツクル	シ、ビ、ケ、ア イ、エツクル	松宮	増田	水谷	片岡	中垣
信	榮	勳	ガ	亮之助	節男			啓	正巳	桂之輔	秀吉	貢

〇生

第三學年

組 A

(五十三名)

(昭和十二年九月十五日現在)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
大阪市岡商	青山孝太郎	大阪	第一神戶商	小宿信男	兵庫	第一神戶商	篠田和巳	大阪
第二神戶中	荒川義春	兵庫	第二神戶中	小川滿男	香川	第一神戶中	白川三雄	大阪
豐岡中	珍坂邦殿	同	東京麻布中	前川滋男	滋賀	第三神戶中	多賀谷倫一郎	兵庫
第二神戶商	出本新太郎	同	加古川中	松田良一	兵庫	第二神戶商	高倉三郎	同
第二神戶中	土居春通	高知	第三神戶商	松下幸彌	同	仁川公立商	田中三郎	兵庫
第二神戶中	古屋茂春	同	第二神戶中	南原武一	同	報德商	富永三郎	兵庫
第一神戶中	廣瀬治一	兵庫	第三神戶中	中西裕夫	滋賀	廣島尾道中	筒井末雄	長崎
廣島尾道商	久川重博	同	京都第一商	中菅成一	京都	第一神戶中	渡邊貴貞	兵庫
旅順中	久野義雄	廣島	京都第二商	野田富彌夫	京都	龍野中	長谷川貞	兵庫
第一神戶中	今井基介	奈良	第一神戶中	奧西右一郎	京都	立命館都	服部政義	京都
第一神戶商	石山正男	兵庫	尾之内彌三郎	彌三郎	京都	第一神戶中	服部正男	兵庫
大連商	岩田誠一	大阪	坂田昌治	昌治	兵庫	第一神戶中	樋口信太郎	兵庫
第三神戶商	城島誠一	同	櫻井龍一	龍一	同	第一神戶中	山田信太郎	兵庫
第一神戶中	角岡正彦	熊本	笹倉恒春	恒春	同	第一神戶中	米田雄二	兵庫
第一神戶中	門田正彦	兵庫	千田敬一	敬一	同	第一神戶中	池田雄二	兵庫
第一神戶商	神田久雄	兵庫	清水光男	光男	同	第一神戶中	今福昇信	兵庫
第一神戶商	川本孝一	大阪	鹽谷忠男	忠男	同	第一神戶中	西山昇信	兵庫
						第一神戶中	山崎厚	兵庫
						第一神戶中	矢野厚	兵庫
						第一神戶中	吉田一巳	京都
						第一神戶中	福知山	京都

第三學年

組 B

(五十三名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
第一神戶商	足立泰造	兵庫	第一神戶中	小橋廉造	兵庫	第一神戶商	篠田和巳	大阪
岡山矢掛中	藤枝哲海	岡山	第三神戶中	小松原隆一	同	第一神戶中	白川三雄	大阪
第二神戶中	藤井孝一	兵庫	京都第一商	近藤芳一郎	京都	第三神戶中	多賀谷倫一郎	兵庫
第一神戶商	藤村榮一	同	第一神戶商	松田總一郎	兵庫	第二神戶中	高倉三郎	同
第一神戶商	藤野武雄	同	第一神戶商	松平生一郎	同	仁川公立商	田中三郎	兵庫
第一神戶中	福永三郎	同	第一神戶中	宮崎登基	兵庫	報德商	富永三郎	兵庫
新義州商	玉井明燦	朝鮮	第一神戶中	村田順一郎	大阪	第三神戶中	筒井末雄	長崎
第一神戶中	春井光喜	同	同	永井正造	同	廣島尾道中	渡邊貴貞	兵庫
龍野中	長谷川政義	同	岡山津山商	長尾弘基	同	第二神戶中	矢倉貞	兵庫
立命館都	服部正男	愛知	姫路中	名倉弘一	同	京都第一商	山口信太郎	兵庫
第一神戶中	樋口要三	兵庫	大阪市中	中村順一	大阪	第一神戶中	米田雄二	兵庫
第一神戶商	平田實三	同	第三神戶中	中西當巳	同	第一神戶中	池田雄二	兵庫
第一神戶中	日吉孝嘉	同	第一神戶中	岡野大郎	同	第一神戶中	今福昇信	兵庫
三田中	泉光秋	同	第一神戶中	小野寛信	同	第一神戶中	西山昇信	兵庫
廣島尾道中	葛西泰夫	廣島	第一神戶商	乙野正男	同	第一神戶中	山崎厚	兵庫
第一神戶中	桐山泰寬	兵庫	第一神戶商	小澤五男	同	第一神戶中	矢野厚	兵庫
第二神戶中	岸本歲吉	同	第一神戶中	濵谷安正	同	第一神戶中	吉田一巳	京都
姫路中	北村泰造	同	第二神戶中	島野實	同	第一神戶中	福知山	京都

第三學年

C 組 (五十三名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
第一神戶中	藤田幸一	兵庫	京都第一商	三上淳夫	京都	甲陽中	高橋寬堯	兵庫
第一神戶中	原田三郎	兵庫	京都第一中	水谷吉夫	兵庫	第二神戶中	高屋幸治	兵庫
第一神戶中	林勝常	兵庫	第一神戶中	森田嘉彦	兵庫	高知城中	武田直雄	兵庫
同	廣瀨達夫	兵庫	同	永井嘉彦	兵庫	瀧川中	竹村時治	兵庫
第一神戶中	廣木實治	兵庫	廣島市商	中川善三郎	兵庫	第三神戶中	宇田修二	兵庫
第一神戶中	石山義治	兵庫	石川金澤商	中合兼三	兵庫	同	上田輝二	兵庫
第一神戶中	伊藤貞晴	兵庫	臺南第一中	落合辰夫	兵庫	京都桃山中	山田忠一	京都
加古川中	神吉祥夫	兵庫	第一神戶中	大久保律郎	兵庫	京都桃山中	山田一雄	京都
同	川北俊作	兵庫	加古川中	大村龍太郎	兵庫	小豆川中	山下松一	京都
第二神戶中	木寅隆二	兵庫	鳥取倉吉中	齋尾武巳	兵庫	加古川中	河野光治	山崎
第一神戶中	小西利政	兵庫	同	鹽田一郎	兵庫	同	村上輝次	廣島
第三神戶中	河野哲夫	兵庫	京都平安中	杉山龍一	兵庫	同	西村利幸	廣島
第一神戶中	前川光男	兵庫	第三神戶中	鈴江義一	兵庫	同	瀨西利幸	廣島
大阪北野中	松山開平	大阪	同	多田重藏	兵庫	京都第一商	長岡五郎	京都

第二學年

A 組 (五十四名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
明石中	安藤圭正	兵庫	瀧川中	木下信雄	滋賀	第三神戶中	澤田信也	兵庫
京都第一商	荒川義夫	京都	第一神戶中	近持隆夫	香川	三田中	高田一夫	兵庫
第一神戶中	淺野武夫	兵庫	第三神戶中	倉澤二郎	兵庫	第一神戶中	谷重一郎	兵庫
大阪高津中	濱口昌義	大阪	大阪茨木中	妻鹿利男	大阪	愛媛西條中	上野光克	愛媛
三重尾鷲中	橋本義明	兵庫	天王寺中	永井芳夫	兵庫	大阪成器中	梅田正彌	大阪
誠之館中	東口泰藏	兵庫	姫路中	西村錦彦	京都	第一神戶中	渡邊輝助	大阪
第一神戶中	池本武稔	兵庫	第二神戶中	西山三郎	兵庫	第一神戶中	矢倉藤雄	大阪
甲陽中	稻垣武夫	兵庫	第一神戶中	延藤三郎	兵庫	同	山田次郎	兵庫
第一神戶中	磯村喬弘	兵庫	同	野垣一男	兵庫	同	山本茂郎	兵庫
第一神戶中	岩宮重雄	兵庫	同	越智英敏	兵庫	同	山本茂郎	兵庫
京都第一商	井澤保之	京都	同	小田中	兵庫	同	山本茂郎	兵庫
京都第一商	金澤三郎	京都	同	大森隆彦	兵庫	同	川上弘行	兵庫
第一神戶中	柏木真三	兵庫	同	長部俊三	兵庫	同	河相忠行	兵庫
鳥取第二中	河崎浩夫	鳥取	同	大坪豊治	兵庫	同	森上清三	兵庫
關學中學部	木村滋	兵庫	同	齋藤太郎	兵庫	同	大橋良二	兵庫

第二學年

B

組

(五十三名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
灘中	赤井千嶽	兵庫	第三神戸中	小島政雄	三重	第一神戸中	坂本輝之	岡山
大阪明星商	余部春峯	大阪	島根大社中	古曾志正	鳥根	大阪東商	鹿海義治	大阪
加古川中	榎本三章	兵庫	高知中村中	楠本正時	高知	瀧川中	島崎登太郎	兵庫
同	藤田健三	岡山	岡山津山商	前田正壽	岡山	京都第二商	高木利久	東京
第二神戸中	藤原健三	岡山	第一神戸商	松谷一三	兵庫	新湯中	高橋文吾	兵庫
大天王商	福本正雄	大阪	姫路商	森川元治	岡山	第三神戸中	竹林欽二	兵庫
大阪扇町商	狭間榮祐	大阪	第一神戸商	森川元治	岡山	第一神戸商	八木常晏	兵庫
第三神戸中	廣畑正道	兵庫	第一神戸中	母袋吉之助	長野	龍野中	榎井文彦	兵庫
第一神戸商	井川直利	岡山	第二神戸中	村岡宏三	兵庫	加古川中	山口清護	岡山
第一神港商	池田信治	岡山	第一神戸中	中村謙四郎	岡山	大王商	山本清三	大阪
廣島第一中	伊東信行	岡山	龍野中	中塚正信	岡山	天王商	藤井敏郎	兵庫
島取中	龜井健三	大阪	西岡邦信	野勢正男	大阪	第三神港商	岸本貞二	兵庫
米子商	神谷直樹	兵庫	近江正治	石川一夫	兵庫	京都第一中	松原道雄	大阪
甲陽中	金澤健二	兵庫	大田野中	大崎篤司	兵庫	京都第三中	三久保國夫	石川
加古川中	加藤元信	兵庫	第一神戸中	齋藤三郎	兵庫	京都第一中	柴田勇作	滋賀
第一神戸中	福井清繁	兵庫	第一神戸中	尾崎榮三	兵庫	第一神港商	大連商	兵庫
奈良商	川本清之	兵庫	第一神戸中	齋藤三郎	兵庫			

第二學年

C

組

(五十三名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
第一神戸商	明田謙三	兵庫	臺北第一中	水島正章	福岡	第一神戸中	瀧谷善三郎	大阪
第三神戸中	安藤太郎	岡山	第三神戸中	村上靖夫	岡山	第一神戸中	植田義一	岡山
德島脇町中	藤井龍男	徳島	第二神戸中	村岡三千日子	岡山	第一神戸中	梅津寛一郎	岡山
第一神戸商	藤本景三	兵庫	京都第一商	長野慶三	京都	姫路商	宇佐美忠雄	京都
灘中	濱田雄三	兵庫	京都四條商	長川潔	京都	立命館中	若林士郎	京都
京都第二商	平松常雄	京都	鳳鳴中	中川喜一	京都	明石中	宇佐美忠雄	京都
同	平山政次郎	京都	京都四條商	中川喜一	京都	立命館中	若林士郎	京都
豊岡中	伊原信雄	兵庫	第三神戸中	岡本隆夫	兵庫	灘中	山本雄二	兵庫
瀧川中	今井俊治	兵庫	同	同	同	同	同	同
第一神戸商	石野孝之	兵庫	同	同	同	同	同	同
第二神戸中	梶原正二郎	岡山	同	同	同	同	同	同
宮崎都城商	梶原正二郎	岡山	同	同	同	同	同	同
姫路中	金原誠	山口	同	同	同	同	同	同
大連第二中	北川照男	兵庫	同	同	同	同	同	同
第一神戸商	小西廣行	兵庫	同	同	同	同	同	同
第一神港商	上月辰巳之丞	兵庫	同	同	同	同	同	同
姫路商	上岡大六	兵庫	同	同	同	同	同	同
金澤第一中	丸岡大六	兵庫	同	同	同	同	同	同
第二神戸中	丸山泰雄	兵庫	同	同	同	同	同	同

第一學年

組 A (五十四名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
姫路中	秋山五郎	兵庫	第二神戸中	龜之岡	鹿兒島	第二神戸中	佐野	兵庫
第一神戸中	淺見真太郎	同	第一神戸中	北村章	香川	第一神戸中	白神	岡山
瀧川中	安積敏男	同	龍野中	小林八郎	兵庫	第二岡山中	三原	岡山
第二神戸中	藤本勝雄	同	第三神戸中	小池準一郎	同	岡山東山	三原	岡山
第一神戸中	藤本眞一郎	同	第一神戸中	高坂昇一郎	神奈川	京都舞鶴中	富三郎	京都
同	深田眞一	同	京都桃山中	久保直一	京都	京都舞鶴中	田角	京都
第三神戸中	深谷銀一	同	第三神戸中	前橋良亮	兵庫	第三神戸中	徳末	福岡
加古川中	福田与一	兵庫	第一神戸中	三浦通雄	同	廣島第一中	津田	福岡
姫路中	福永貞夫	同	甲陽中	森本泰正	同	廣島第一中	津田	福岡
第三神戸中	福岡健介	同	大阪堺中	森田英二	同	福島安積中	津野	福岡
豐岡中	福富重雄	同	宇治山中	森口慶二	同	明石中	白井	兵庫
瀧中	古河俊造	同	第二神戸中	村口信廣	愛媛	小野中	白井	兵庫
第二神戸中	後藤文利	兵庫	同	名村信雄	兵庫	第二神戸中	若原	同
同	濱崎孝雄	同	天王寺中	中村晴一	大阪	甲陽中	渡邊	同
赤穂中	平山秀人	同	島根濱田中	浪田健次	大阪	瀧川中	山本	同
第二神戸中	日吉勝郎	同	第一神戸中	岡田健次	香川	東京開成中	山中	同
同	伊藤龍一郎	同	同	尾松博	兵庫	明石中	安福	同
同	甲斐治郎	同	同	同	同	第一神戸中	吉田	同

第一學年

組 B (五十五名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
第二神戸中	土居通秋	高知	姫路中	倉田剛二	岡山	横濱第一中	關家	神奈川
關學中學部	藤本雅夫	兵庫	灘中	黒川彦一	東京	第一神戸中	妹尾	岡山
第一神戸中	福島襄夫	愛媛	前川貫一	滋賀	京	京都舞鶴中	志摩	京都
大阪北野中	濱田博之	大阪	松村守夫	滋賀	根	第二神戸中	島屋	徳島
第二神戸中	林武重	同	三宅久夫	香川	同	白井登喜	白井	徳島
第三神戸中	日野實喜男	同	宮田秀夫	岡山	同	竹澤厚生	竹澤	岡山
瀧川中	平久保正男	同	物延秀夫	兵庫	同	杉浦貞彦	杉浦	岡山
山口萩中	弘中五夫	山口	室山知夫	同	同	白井登喜	白井	岡山
熊本中	廣瀬隆一	熊本	内藤勇	同	同	加古川中	寺西	岡山
德島中	石井清一	徳島	中川利民	同	同	石川小松中	徳下	岡山
第二神戸中	石川一雄	同	西尾利夫	同	同	明石中	津田	岡山
第一神戸中	梶川之助	同	野間禎夫	同	同	三田中	上良	岡山
同	金山利一	同	大庭六郎	同	同	瀧川中	白井	岡山
同	川口誠一	同	萩野榮一郎	同	同	第二神戸中	白井	岡山
明石中	河合良春	同	岡田正勝	同	同	第一神戸中	渡邊	岡山
第一神戸中	菊池公和	同	小野正耕	同	同	山田總一郎	山田	岡山
京都第一中	近藤正夫	京都	坂部正守	同	同	吉田榮一	吉田	岡山
第三神戸中	久保田一幸	同	坂本芳茂	同	同	大西長藏	大西	岡山
甲陽中	同	同	同	同	同	同	同	岡山

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
德島商	足立 金一	德島	第一神戶商	小西 公行	兵庫	第三神戶商	清水 泰三	京都
第一神戶商	青木 弘一	兵庫	第二神戶商	眞淵 省三	同	第一神戶商	下村 金彌	京都
京都第一商	藤井 英一	京都	第一神戶商	丸山 寛一	同	京都第一商	鹽見 義郎	京都
第二神戶商	藤井 廣治	兵庫	姫路商	松井 武郎	同	京都第二商	十合 重夫	同
第一神戶商	藤井 幸雄	兵庫	第一岡山商	松尾 清郎	岡山	第一神戶商	住元 楠雄	兵庫
大阪市岡商	樋野 信次郎	大阪	第一神戶商	三橋 益次	神奈川	報德商	隅谷 市郎	同
第一神戶商	日置 常雄	兵庫	第一神戶商	宮脇 正弘	兵庫	福井商	諏訪 敏之	同
京都第一商	平塚 敬三	京都	第一神戶商	森岡 幸雄	同	多智花	高木 正尚	京都
第一神戶商	廣瀬 德雄	兵庫	京都第一商	村上 幸雄	同	高木 新二	高木 和夫	京都
廣島市商	久森 駿	廣島	京都第一商	中江 三九郎	同	武田 榮二	武田 愛媛	兵庫
第一神戶商	岩井 常太郎	兵庫	京都第一商	西村 三九郎	同	富田 純	富田 同	同
京都第二商	鍛冶 春太郎	京都	第一神戶商	岡村 義文	同	坪井 三郎	坪井 同	同
第一神戶商	龜井 泰夫	兵庫	第一神戶商	大川 義雄	同	辻堂 利夫	辻堂 同	同
龍野商	金田 治長	兵庫	第一神戶商	佐賀 孝一	同	浦井 和男	浦井 同	同
第一岡山商	川本 重助	岡山	第一神戶商	坂口 敏治	同	山口 義一	山口 同	同
新立義州	北浦 輝彦	兵庫	第一神戶商	柴田 重輔	同	山本 亮輔	山本 同	同
第一神戶商	小林 博美	兵庫	第一神戶商	島田 泰一	同	吉田 英二	吉田 同	同
						吉川 保雄	吉川 同	同

○諸統計

一、生徒募集人員、入學志願者及入學者ノ員數

入學年度	區分	生徒募集		入學志願者		受験者		入學者	
		集人員	檢定	計	檢定	計	檢定	計	
昭和四年	約一五〇	一五〇	一〇六	一五〇	一〇六	一五〇	一〇六	一五〇	一〇六
昭和五年	一五〇	一五〇	一〇七	一五〇	一〇七	一五〇	一〇七	一五〇	一〇七
昭和六年	一五〇	一五〇	一〇二	一五〇	一〇二	一五〇	一〇二	一五〇	一〇二
昭和七年	一五〇	一五〇	八三	一五〇	八三	一五〇	八三	一五〇	八三
昭和八年	一五〇	一五〇	八八	一五〇	八八	一五〇	八八	一五〇	八八
昭和九年	一五〇	一五〇	八五	一五〇	八五	一五〇	八五	一五〇	八五
昭和十年	一五〇	一五〇	八三	一五〇	八三	一五〇	八三	一五〇	八三
昭和十一年	一五〇	一五〇	八四	一五〇	八四	一五〇	八四	一五〇	八四
昭和十二年	一五〇	一五〇	八〇	一五〇	八〇	一五〇	八〇	一五〇	八〇

備考
 △印ヲ附シタルモノハ無試験檢定不合格者ニシテ更ニ試験檢定ヲ受ケタル者
 ×印ヲ附シタルモノハ無試験檢定不合格者ニシテ試験檢定ニ合格シタル者

出身學校	府學校所在地	第三學年	第二學年	第一學年	合計
第一神戶中學校	兵庫	二五	一一	二二	六〇
第二神戶中學校	兵庫	一九	一一	一〇	四〇
第三神戶中學校	兵庫	四一	一一	一一	六三
石路中學校	兵庫	五六	一一	一一	七八
明路中學校	兵庫	四一	一一	一一	六三
加古川中學校	兵庫	一五	一一	一一	三五
小野中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
三野中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
龍崎中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
尼崎中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
柏原中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
豐岡中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
洲本中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
赤穂中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
甲陽中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
瀧川中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
灘中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
鳳鳴中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
關西學院中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
第一神戶夜間中學校	兵庫	一一	一一	一一	三三
合計		二五	一一	二二	六〇

三、生徒出身學校別

(昭和十二年九月現在)

出身學校	府學校所在地	第三學年	第二學年	第一學年	合計
廣島山口中學校	山口	一五	一一	一一	三五
山田中學校	山口	八	一一	一一	二〇
和歌山中學校	和歌山	二	一一	一一	二四
德島中學校	德島	二	一一	一一	二四
香川中學校	香川	二	一一	一一	二四
愛媛中學校	愛媛	二	一一	一一	二四
高知中學校	高知	二	一一	一一	二四
福岡中學校	福岡	二	一一	一一	二四
大分中學校	大分	二	一一	一一	二四
佐賀中學校	佐賀	二	一一	一一	二四
熊本中學校	熊本	二	一一	一一	二四
鹿兒島中學校	鹿兒島	二	一一	一一	二四
神戶中學校	神戶	二	一一	一一	二四
朝鮮中學校	朝鮮	二	一一	一一	二四
臺灣中學校	臺灣	二	一一	一一	二四
北海道中學校	北海道	二	一一	一一	二四
關東中學校	關東	二	一一	一一	二四
關西中學校	關西	二	一一	一一	二四
中華中學校	中華	二	一一	一一	二四
滿洲中學校	滿洲	二	一一	一一	二四
合計		二五	一一	二二	六〇

諸
統
計

東 京 麻 布 中 學 校	橫 濱 第 一 中 學 校	福 島 積 中 學 校	新 潟 中 學 校	滋 賀 中 學 校	宮 崎 中 學 校	佐 世 保 中 學 校	熊 本 中 學 校	愛 媛 中 學 校	德 島 中 學 校	德 島 中 學 校	小 豆 中 學 校	高 知 中 學 校	高 知 中 學 校	小 松 中 學 校	金 澤 第 一 中 學 校	宇 治 中 學 校	尾 鷲 中 學 校	萩 中 學 校	萩 中 學 校	濱 田 中 學 校	大 田 中 學 校	第 二 鳥 取 中 學 校
東 京	神 戶	福 島	新 潟	滋 賀	宮 崎	長 崎	熊 本	愛 媛	德 島	德 島	香 川	高 知	高 知	石 川	石 川	三 重	三 重	奈 良	山 口	鳥 取	鳥 取	

—						—						—										
		—		—			—	—				—		—		—		—		—		—
	—	—		—			—		—			—		—			—		—		—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

七
一

諸
統
計

倉 吉 中 學 校	福 山 誠 之 館 中 學 校	尾 道 中 學 校	廣 島 第 一 中 學 校	岡 山 興 讓 館 中 學 校	矢 掛 中 山 中 學 校	第 一 岡 山 中 學 校	第 二 岡 山 中 學 校	堺 中 學 校	茨 木 中 學 校	住 吉 中 學 校	高 津 中 學 校	天 王 寺 中 學 校	市 岡 中 學 校	北 野 中 學 校	平 安 中 學 校	舞 鶴 中 學 校	福 知 山 中 學 校	桃 山 中 學 校	立 命 館 中 學 校	京 都 第 三 中 學 校	京 都 第 二 中 學 校	京 都 第 一 中 學 校	
鳥 取	廣 島	廣 島	廣 島	岡 山	岡 山	岡 山	岡 山	大 阪	大 阪	大 阪	大 阪	大 阪	大 阪	大 阪	大 阪	大 阪	京 都	京 都	京 都	京 都	京 都	京 都	京 都

—		二			—					—			二		三		—	—	—	—	—	—
	二		二			—		—		—	二		二				—	二		三		—
			—	—		—				二		—		二		—		—		—		—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

七
〇

四、生徒年齢數表

(昭和十二年四月現在)

學年別	最高	最低	平均
第一學年	二十一年十月	十七年一月	十七年十月
第二學年	二十二年八月	十八年一月	十九年二月
第三學年	二十三年〇月	十九年一月	二十年一月

五、生徒身體檢查統計表

(昭和十二年五月検査)

區分	一八年		一九年		二〇年		二一年		二二年		二三年	
	總	平均	總	平均	總	平均	總	平均	總	平均	總	平均
身長	1744	164	2072	164	2392	164	2395	164	2772	164	2974	164
體重	598	55	698	55	818	55	949	55	1069	55	1210	55
胸圍	879	57	1030	57	1267	57	1479	57	1747	57	1986	57
坐高	973	87	1109	87	1316	87	1500	87	1774	87	2037	87
營養	101	4	133	4	138	4	179	4	177	4	206	4
背脊	5	0	4	0	7	0	11	0	17	0	23	0

諸統計	一八年		一九年		二〇年		二一年		二二年		二三年	
	總	平均	總	平均	總	平均	總	平均	總	平均	總	平均
胸廓(異常アル者)	63	5	66	5	97	5	137	5	151	5	153	5
弱視(兩眼)	6	1	6	1	9	1	11	1	10	1	10	1
屈折異常	6	1	6	1	9	1	11	1	10	1	10	1
近視	2	1	2	1	3	1	3	1	3	1	3	1
遠視	4	0	4	0	6	0	8	0	7	0	7	0
常規	21	1	21	1	21	1	21	1	21	1	21	1
眼疾	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1
聽力(障礙アル者)	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1
耳疾	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1
鼻及咽頭	8	2	9	2	9	2	8	2	8	2	8	2
扁桃腺肥大	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
皮膚病	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1
傳染性皮膚病	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1
其他皮膚病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
齒齦アル者	13	3	13	3	13	3	13	3	13	3	13	3
其他ノ齒疾	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1
結核性疾患	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1
陳舊肋膜炎	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2
心臟疾患	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2
貧血	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2
其他	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2
脚氣	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2

現員	官職
一	校長
一七	教授
一	主事
二	助教
五	書記
一五	囑託教授
四	講師
五	外國人
一	將配校屬
四	雇員
一	校醫
二	門候
六	小使
六四	計

七、職員及傭人數表

(昭和十二年十月一日現在)

合	其	無	自由業		公務		交通業	商業						
			其	船醫	教	銀行		官	運	其	藥材	米	貿	金
計	他	業	他	員	師	員	吏	業	他	商	商	商	商	業
一五九	一	三〇	一	一	一	四五	一三	一	一	一	四	六	九	三
一六〇	二	三七	四	一	二	四	三一	〇	二	三	一	二	二	三
一六五	一	三〇	五	二	四	三	九	〇	一	五	一	一	八	一
四八四	三	九七	〇	一	五	九	五	三	四	九	二	七	九	〇

種別	學年	工業					農	
		食	物	其	手	建		
料	品	服	販	賣	工	築	食	釀
商	商	業	業	業	業	業	業	業
一五	四	二	四	一	二	一	五	
一八	八	五	二	一	三	八		
一六	三	八	一	一	三	七		
二九	五	一	七	三	二	一	六	〇

六、生徒家庭職業別

(昭和十二年四月調査)

檢査人員	概評(要養護者)	常異及病疾						
		其	四	骨	精	言	神	疾
一〇	六	四	一	一	一	一	一	一
一六	七	一	一	一	一	一	一	一
一五	二	一	一	一	一	一	一	一
一六	〇	一	一	一	一	一	一	一
一七	三	一	一	一	一	一	一	一
一六	三	一	一	一	一	一	一	一

八、圖書冊數

(昭和十二年十月一日調)

部	門	和書冊數	洋書冊數	合計
第一門 (一〇〇〇)	總記	四、一六七	三九八	四、五六五
第二門 (二〇〇〇)	產業	一、四七〇	三三三	二、〇〇五
第三門 (三〇〇〇)	商業	一、九三六	一〇一二	二、四八二
第四門 (四〇〇〇)	經濟	三、一四	五四七	二、四八三
第五門 (五〇〇〇)	社會、政治、外交	六七八	二九〇	四、二三
第六門 (六〇〇〇)	法、哲學、教育	五三三	二八六	九六八
第七門 (七〇〇〇)	歷史、地理	七三七	八二	八四九
第八門 (八〇〇〇)	文學、藝術	一、〇四八	四五四	一、五〇二
第九門 (九〇〇〇)	理工學	一、一五三	一七	一、一七〇
合計		一、二三八	三、二二八	一、四、四六六

敷地及建物

一、敷地

建物

校舎

兵庫縣明石郡垂水町字高丸陸
敷地面積 約壹萬九千坪

二、建物

物

總面積	內面積	外面積	備所	備所	備所
一八二四、三九九	九一、六六七	一一、六八八	便階	九階	一一、六八八
九一、六六七	五〇、九六四	一一、五一一	集會室	二、三三三	一一、五一一
五〇、九六四	五〇、二九六	二、三三三	受付及宿直室	八、二五〇	二、三三三
五〇、二九六	二八六、五二七	八、二五〇	玄關	八、二五〇	八、二五〇
二八六、五二七	二二一、五二七	三八、五〇二	應接室	一〇、〇〇〇	三八、五〇二
二二一、五二七	一七六、〇〇〇	一〇、〇〇〇	職員室	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
一七六、〇〇〇	三〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	事務室	一三、三三六	一〇、〇〇〇
三〇、〇〇〇	二〇、三六〇	一三、三三六	研究室	二六、六六四	一三、三三六
二〇、三六〇	一、五六〇	一七、六六四	教務室	一七、六六四	一七、六六四
一、五六〇	四、八〇〇	九、〇〇〇	人事室	九、〇〇〇	九、〇〇〇
四、八〇〇	二、三三一〇	一〇、〇〇〇	醫務室	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二、三三一〇	八、六六四	二、三三三	昇徒降口	六、一八六	二、三三三
八、六六四	一四、六四〇	一、六八七	生徒控所及食堂	一、六八七	一、六八七
一四、六四〇	一〇、〇〇〇	三、七三七五	調理室	三、七三七五	三、七三七五
一〇、〇〇〇	八、三三三	一〇、〇七二	廊下	一〇、〇七二	一〇、〇七二
八、三三三	九一、六六七	三、七三七五	圖書閱覽室	八、三三三	三、七三七五
九一、六六七	六五、〇〇〇	一、九〇〇	圖書事務室	六五、〇〇〇	一、九〇〇
六五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	八、三三三	圖書事務室	二〇、〇〇〇	八、三三三
二〇、〇〇〇	七、五〇〇	五〇、二九六	諸統計	七、五〇〇	五〇、二九六
七、五〇〇					

○卒業生

第一回卒業生

(昭和七年三月卒業 百四十八名)

(五十音順)

姓	名	出身學校
朝鮮銀行	安友彦	第二神戸中
安倍信	安友彦	第三神戸中
服部商會	阿部英夫	姫路中
死二商店	荒川美康	第一神戸商
全購買組合	有野康	第一神戸商
神戶市役所	安田茂	第一神戸商
田村輸出商會	池田久秀	第一神戸商
報德商業學校	井澤武久	第一神戸商
水先人組合	井澤武久	第一神戸商
調子商會	石垣俊敏	第一神戸商
國際通運大阪支店	井谷正一	第一神戸中
野澤組	糸井雄一	第一神戸中
自家營業	渡邊三郎	第一神戸中
神戶商工會議所	乾井昇	第一神戸商
旭商會	今井逸	第一神戸商
大市電氣局	井本幸太	第一神戸中
神戶新聞社	佐藤友三	第三神戸中
滿洲國國務院	佐藤英一	第一神戸商
神戶中央卸賣市場	佐久井英二	第三神戸中
自家營業	小島勝之	第三神戸中
大阪府廳	小島勝之	第三神戸中
吳海軍工廠	小島勝之	第三神戸中
日ノ岡紙會社	小林金一	第三神戸中
帝國酸素會社	後藤西一	第一神戸中
大阪府廳	兒島藤一	第一神戸中
秋每護謄製造所	倉垣繁	第一神戸中
神戶銀行	倉垣繁	第一神戸中
大阪毎日新聞社	倉垣繁	第一神戸中
日本相互貯蓄銀行	草薙義太	第一神戸中
東洋陶器會社	釘宮修	第一神戸中
神戶製鋼所	木村修	第一神戸中
東京荒川商業	吉川精	第一神戸中
大阪工業試驗所	北野精	第一神戸中
大同鐵業株式會社	歡崎利男	第一神戸中
酒造業自營	河東信幸	第一神戸中
死屋	上田信幸	第一神戸中
高島屋	鎌田忠	第一神戸中
南洋倉庫會社	兼本富	第一神戸中
カタバミ商店	兼本富	第一神戸中
北山町	加藤敏	第一神戸中
大阪市天王寺區	加藤敏	第一神戸中

姓	名	出身學校
三葉銀行	澤田正夫	第一神戸商
中田松兵衛商店	鹽田保夫	第一神戸商
滋賀縣野洲郡北里	清水逸治	八幡商
川崎造船所	菅原鐵夫	第一神戸中
兵庫縣信用組合	須原鐵	第一神戸中
日本生命保險會社	須原鐵	第一神戸中
大同生命保險會社	須原鐵	第一神戸中
山下汽船會社	瀧川三郎	第一神戸中
大連昭和實業學校	武川暢	第一神戸中
報德商業	竹中秀夫	第一神戸中
大阪株式取引所	橋中治	第一神戸中
自家營業	田中逸	第一神戸中
井上商事會社	田中逸	第一神戸中
神戶電機製作所	田中逸	第一神戸中
自家營業	田中逸	第一神戸中
大阪鐵道局	谷中久	第一神戸中
オリエントパ	谷中久	第一神戸中
チエンング商會	谷中久	第一神戸中
三菱商事會社	且野耕平	第一神戸中
日本水産會社	千島隆資	第一神戸中
自家營業	塚島隆資	第一神戸中
英國領事館	戶原覺	第一神戸中
三越神戸支店	內藤邦彦	第一神戸中
兵庫縣廳	兵衛金太郎	第一神戸中

白鶴嘉納合名會社	增井良太郎	第一神戸中
南洋倉庫會社	松村信治	第一神戸中
自家營業	松本信治	第一神戸中
死	松本信治	第一神戸中
土井吳服店	九尾利夫	第一神戸中
四合區熊内町	萬谷喜代	第一神戸中
野村證券會社	水口尚	第一神戸中
神戸稅關	南口修	第一神戸中
灘區八幡町一丁目	三宅修	第一神戸中
富國海上火災保險	兵庫縣廳	第一神戸中
自家營業	本室井	第一神戸中
大阪商船會社	本橋	第一神戸中
山田染料商店	山田	第一神戸中
帝國酸素會社	山田	第一神戸中
東洋紡績會社	柳門	第一神戸中
神戸商大研究科	安柳	第一神戸中

第三回卒業生

(昭和九年三月卒業 百三十九名)

三井物產會社	安並美晴	高知城東中
大阪青年會	安福元	第二神戸中
英語學校	山田義次	第一神戸中
日本ベイント會社	山本根	第一神戸中
阪神電氣鐵道會社	關西鐵道	第一神戸中
關西海上運送	神戶海運	第一神戸中
和久保險	和久	第一神戸中
日本製油所	日本製油	第一神戸中
エーヤツ商會	エーヤツ	第一神戸中
プレジャー商會	プレジャー	第一神戸中
日本ポルトランドセメント同業會社	日本ポルトランド	第一神戸中
三菱商會	三菱	第一神戸中
坂倉正造商店	坂倉正造	第一神戸中
今野商店	今野	第一神戸中
死	今野	第一神戸中

廣藤洋行	青木末巳	出身學校 第二神戸中
朝鮮總督府	赤木克巳	出身學校 岡山關西中

關西共同火災會社	關西共同火災	出身學校 浪華商
自家營業	自家營業	出身學校 京都第一商

大阪鐵道局	荒新木節男	第二神戸商
中山製鋼所	飯正英	第二神戸商
川崎造船所	池井松三	第一神戸中
加藤物產會社	池本一	第一神戸中
川崎車輛會社	生駒	第一神戸中
神戸銀行	石垣八郎	第一神戸中
東京市澁谷區原宿三丁目	石塚康	第一神戸中
明石郡玉津村	石丸昌	第一神戸中
三菱商會	石山健四郎	第一神戸中
自家營業	市野嘉一	第一神戸中
自家營業	市野隆	第一神戸中
三井物產會社	井上正	第一神戸中
島根縣濱田町	今井賢	第一神戸中
岸和田紡績會社	岩佐正	第一神戸中
三菱海上火災保險	岩崎吉	第一神戸中
小林機寸會社	植田春	第一神戸中
田村輸出會社	上田善	第一神戸中
神戸工業試驗場	浮山昌	第一神戸中
高木吉兵衛商店	高木忠	第一神戸中

大阪鐵道局	浦上清利	姫路中
廣島縣青品郡	江村嘉	廣島府中
死	府中	第一神戸中
自家營業	自家營業	第一神戸中
神崎郡山田村	大野嘉	第一神戸中
杉本史郎商店	大野	第一神戸中
南洋倉庫會社	大野	第一神戸中
川崎造船會社	大野	第一神戸中
出光商會	大野	第一神戸中
東洋綿花會社	小野	第一神戸中
飛行機工場	小野	第一神戸中
明石郡垂水町山田	片山憲	第一神戸中
大塚鐵工所	片山	第一神戸中
宮部末高合名會社	嘉納	第一神戸中
南滿洲鐵道會社	江納	第一神戸中
大阪鐵道局	河合	第一神戸中
大阪陶器會社	河野	第一神戸中
東洋陶器會社	河野	第一神戸中
ニツケル會社	河野	第一神戸中
兼松商店	川村	第一神戸中
神戶市役所	久保	第一神戸中
自家營業	自家營業	第一神戸中

中山製鋼所	大阪合同運送會社	ウインクルル商會	近藤商店自營	自家營業	死	十合吳服店	川崎造船所	山本貿易合資會社	神戸區役所	須磨寺町二丁目	滿洲興業銀行	死	高雄港、丸一組	野村證券會社	自家營業	榎木商會社	伊藤忠商會社	近海郵船株式會社	兼松商店	長谷川商店	福知山高女	日本ベイント會社	東洋製鋼會社
黒川	小寺	小橋	近藤	蔡東	坂井	坂上	阪上	志方	習野	柴野	白野	菅井	杉原	杉本	杉本	諏訪	高木	高木	瀧谷	竹垣	大田	多田	多田
多計	三	三	三	三	正	高	高	正	富	正	正	武	武	武	武	信	武	正	善	正	壽	弘	保
四	繁	弘	郎	興	俊	茂	勉	雄	逸	造	勇	二	隆	治	茂	治	夫	雄	衛	夫	三	男	造
第一神戶中	第一神戶商	第二神戶中	第二神戶商	第一神戶商	第二神戶中	同	第一神戶商	同	同	關西學院中	大連商	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶商	大阪商	大坂學	第二神戶中	第三神戶中	甲陽中	第一神戶商	龍野中	甲陽中	天王寺中
大阪鐵道局	日本毛織會社	兵庫縣廳	淡路千鳥町三丁目	日本ビクタ	山崎製糖會社	大阪商船會社	三井物產會社	同	榎木商會社	エプラーハム商會	由良商會	日本毛織會社	丸二商會	長瀬商會	自家營業	明治海運會社	攝津貯蓄銀行	大阪商船會社	死	丸池商會社	細田貿易會社	大阪血清藥院	九州水力電氣會社
橋	田	谷	原	原	辻	辻	寺	寺	島	島	中	中	中	永	長	苗	仁	野	橋	長	長	島	波
功	忍	一	適	夫	三	夫	信	一	淳	大	孝	芳	俊	政	猛	弘	元	五	榮	輝	武	富	三
明石中	第一神戶商	小野中	第二神戶中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中	三田中

三九運輸會社	神戸海上運送保險	姫路信用組合	朝鮮大業銃砲會社	北海造製	販賣組合	自家營業	岸和田製糖會社	大垣製糖會社	自家營業	滿洲國政府	金州中央卸賣市場	神戶中央卸賣市場	東洋紡績會社	中山製鋼所	橋詰商店	德島專賣局	日本化學工業會社	兼松商店	第一銀行	酒井寛三商店	神戸海上火災保險
濱	濱	濱	林	原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	原
田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田
正	正	正	利	二	圭	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正
清	一	夫	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎
第一神戶中	第三神戶中	和歌山中	滿洲鞍山中	第三神戶商	天王寺中	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商
高島屋飯田會社	須磨區須磨浦通	川西商會	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死
松	丸	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
田	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木
喜	繁	五	榮	輝	武	富	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
市岡中	小野中	關西學院中	大邱中	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商

第四回卒業生

(昭和十年三月卒業 百四拾六名)

若田商店	西國	光	四條	愛知一中
ベルグマン商會	西山	男	育英商	第一神戶中
松島商店	野垣	一	第一神戶商	第一神戶中
上海香港銀行	信川	三	第三神戶商	第一神戶中
大阪商船會社	野淵	三	第三神戶中	第一神戶中
昌和洋行	橋本	三	第三神戶中	第一神戶中
三井物産會社	橋本	三	第三神戶中	第一神戶中
松下乾電池會社	長谷川	桂	龍野中	第一神戶中
自家營業	長谷川	邦	甲陽中	第一神戶中
西島商店	畑中	三	同	第一神戶中
田村商會	根中	三	育英商	第一神戶中
神戸商大學	馬場	誠	福岡八幡中	第一神戶中
大阪魚會社	濱田	二	第一神戶商	第一神戶中
川西倉庫會社	濱田	郎	明石中	第一神戶中
澤野商會	林野	一郎	第二神戶中	第一神戶中
日和商會	黒野	市	鹿兒島中	第一神戶中
三ツ輪運送店	平田	博	第三神戶中	第一神戶中
福永回漕店	平原	雄	門司中	第一神戶中
安部幸兵衛商店	福本	稔	第一神戶商	第一神戶中
大同貿易會社	福本	正	姫路商	第一神戶中
洛東再整會社	藤井	秀	三田中	第一神戶中
東洋卸會社	藤原	正	第一神戶中	第一神戶中
神戸商大學	藤原	正	第一神戶中	第一神戶中
長谷川商店	古藤	定	第一神戶中	第一神戶中

内田扇一商店	福田	忠	雄	愛知一中
吉崎商店	本間	有	三	第一神戶中
神戸商大學	川田	三	治	第一神戶中
千代田火災	前田	要	三	第一神戶中
兼松商會	前田	三	治	第一神戶中
原田商會	馬前	俊	三	第一神戶中
神戸商大學	島井	源	三	第一神戶中
阪神電氣鐵道會社	松井	嘉	三	第一神戶中
阪神電氣鐵道會社	松井	正	三	第一神戶中
大阪鐵道局	丸浦	久	三	第一神戶中
大雄商店	三枝	通	三	第一神戶中
死	三宅	晴	三	第一神戶中
新木商會	村岡	明	三	第一神戶中
新木自轉車會社	村上	茂	三	第一神戶中
出石青年學校教諭	村上	武	三	第一神戶中
京都帝大學生	本岡	武	三	第一神戶中
神戸市灘區上野通	森岡	次	三	第一神戶中
グリコ會社	森岡	次	三	第一神戶中
東京海上保險會社	中サコ	次	三	第一神戶中
中サコ商會	三井物産會社	次	三	第一神戶中
三井物産會社	長瀬	次	三	第一神戶中
加藤忠商店	山崎	次	三	第一神戶中
御木本眞珠店	吉見	次	三	第一神戶中

大阪貯蓄銀行

丸二商店 若吉 林山 幹三 等 大連第二中 第一神戶商

布引商會社 昭和透明紙會社 和部 渡部 福三 義郎 豐中 中 第三神戶中

第五回卒業生

(昭和十一年三月卒業 百五拾五名)

トッドウエル商會	赤染	八郎	龍野中	出身學校
輸出組合中央會	秋本	弘	第二神戶中	
派遣貿易練習生	淺田	昌	明石中	
日本レイン會社	安部	政	和歌山中	
神戸銀行	飯田	得	大倉商	
東京商大學	池内	一	豐岡中	
株式祭原商店	伊東	二	久留米商	
山本願彌太商店	伊藤	實	津中	
神戸製鋼所	稻富	禮	三田中	
兼松商店	乾上	貞	第一神戶商	
鹽野香料會社	井上	隆	第一神戶中	
株式會社泰通商會	茨木	信	明石中	
大同貿易會社	今鷹	昇	第二神戶商	
旭シルク會社	今村	秀	京都第一中	
神戸市羽坂通	植原	正	倉吉中	
一丁目	植原	實	第一神戶商	

自家營業	村上	雅	夫	第三神戶中
死	上山	慶	一	第二神戶中
ウインケル商會	海	明	典	同
大阪合同會社	江上	信	顯	京都第一中
大興股份有限公司	榎本	之	助	鳥取第一中
丸善礦油合名會社	岡田	繁	二	鳥取第一中
自家營業	岡田	繁	二	鳥取第一中
岩井商店	岡田	繁	二	鳥取第一中
長谷川商店	川野	良	一	京都第二中
神戸銀行	小野	重	弘	加古川中
大同貿易會社	小倉	重	樹	德島中
丸紅商店	小倉	重	樹	德島中
日本海上火災	大田	重	樹	德島中
保險會社	大田	重	樹	德島中
死	大田	重	樹	德島中
川西倉庫會社	小原	正	三	加古川中
株式森川製粉所	小原	正	三	加古川中

北海道製酪聯合會	北角	一	加古川中
販賣組合聯合會	野内	造	第一神戶商
神戶商大學	島野	長	報德商
日産海上火災保險	島野	正	小野中
同	片加	富	濱松第一中
合名桑原商店	川加	芳	坂出商
坂出地方專賣局	川加	隆	第一神戶商
川西機械製作所	岸井	隆	宇治山田中
自家營業	北村	忠	姫路商
國際運輸會社	北本	喜	豐岡中
伊藤忠商會社	木下	顯	第二神戶中
日本砂鐵工業會社	木村	修	第一神戶中
三井物産會社	木村	正	第二神戶中
國際汽船會社	桐山	重	大垣中
中山太陽堂	國村	信	第一神戶中
滿洲國拜泉	窪田	速	三田中
三機工業會社	黒坂	嘉	第一神戶中
東亞煙草會社	小島	早	京都第一商
日本電力會社	小橋	川	第一神戶中
死	小林	幸	第一神戶中
死	小林	一	釜山中
大阪鐵道局	小近	武	第一神戶中
坂倉商店	近藤	隆	第三神戶中
大阪鐵道局	後藤	彦	

東亞製網會社	榮規	夫	龍野中
神戶商大學	橋元	平	第一神戶商
淺野カリーツト	坂元	甫	鹿兒島一中
會社	佐久	寬	第二神戶中
鐘淵紡績會社	佐井	守	龍野中
杉山商店	佐々木	三	第一神戶中
東洋紡績會社	佐藤	夫	瀨川中
神戶銀行	佐野	郎	第一神戶中
神戶商大學	野上	二	第二神戶商
京都電燈會社	澤谷	治	第一神戶商
死	財家	幸	加古川中
神戶商大學	鹽家	珍	第一神戶中
川西倉庫會社	鹽見	郎	第一神戶中
東京商大學	柴田	茂	第一神戶商
大阪鐵道局	島谷	造	天王寺商
神戶商大學	清水	一	高津中
東洋製鐵會社	須川	浩	第一神戶商
東京商大學	須原	一	三田中
栃木商會社	杉原	治	濱松中
自家營業	杉山	一	三田中
神戶商大學	鈴木	治	三田中
阪神電氣鐵道會社	瀨山	馨	三田中
ベルグマン商會	高橋	保	第三神戶中
嘉納合名會社	高橋	美	第三神戶中
鶴谷商店	高橋	司	鹿兒島一中

神戶商大學	高谷	實	第一神戶商
長谷川商店	瀧川	一	明星商
神戶商大學	瀧川	郎	第三神戶中
大日本除蟲菊會社	竹下	弘	第一神戶中
神戶商大學	竹下	樹	同
帝國酸素會社	島重	潔	第一神戶商
丸紅商店	館林	龍野	京都第一中
若林合名會社	中林	郎	京都第一中
東京鐵道局	中中	吉	第三神戶中
窒素肥料販賣會社	中中	弘	第三神戶中
帝國酸素會社	谷本	正	高松中
嘉寶商會社	谷本	己	第一神戶中
泰通商會	千葉	正	和歌山中
三井物産會社	津田	典	明石中
東京商大學	飛石	哉	第一神戶商
神戶商大學	友田	三	中外商
山下汽船會社	井田	勝	龍野中
川崎造船會社	仲井	一	加古川中
神戶商大學	川嘉	八	第一神戶商
同	中龍	治	京都第一中
頭司隆介商店	中澤	夫	第一神戶中
湯淺貿易會社	永木	清	第二神戶中
長瀬商店	西木	郎	第一神戶中
神戸市林田區	西本	保	第一神戶商

東京海上火災	西本	華	赤穂中
保險會社	新田	郎	瀨川中
日本砂鐵工業會社	野野	三	京都第一商
神戶商大學	野野	男	第一神戶中
三井物産株式會社	橋本	夫	加古川中
神戶生糸會社	八木	巨	第一神戶商
株式會社九ヶ商店	原田	男	第一神戶中
自家營業	平原	平	第二神戶中
神戶商大學	藤重	弘	第一神戶中
關西信託會社	藤重	平	第二神戶中
神戶商大學	藤重	弘	第一神戶中
三和銀行	古川	修	第一神戶中
株式森川製粉所	郡川	和	第三神戶中
北海製糖會社	池郡	明	京阪商
販賣組合聯合會	多勝	信	灘中
大阪大丸	牧本	豐	尼崎中
原田汽船會社	浦田	一	同
株式坂根商店	岡浦	毅	同
南洋倉庫會社	松岡	三	加古川中
日本綿花會社	松林	通	第三神戶中
岸本倉庫會社	松村	郎	明石中
森本倉庫會社	本村	郎	第一神戶商
神戶商大學	本村	郎	第一神戶商
大同マツチ會社	鍋本	司	第一神戶中
土井石油會社	木鍋	郎	第一神戶中
神戶商大學	成利	男	第一神戶商

竹村商店	神戶製鋼所	大阪土木出張所	神戶商大學生	長瀬商會	神戶商大學生	東京自動車工業會	日本海上保險會社	日本工具製作會社	日本レイヨン會社	京都陶磁器會社	神戶瓦斯會社	栃木商會社	
水川	宮本	宮本	宮本	三宮	村岡	森村	森岡	森岡	安藤	柳田	山田	山田	
晴雄	三郎	義治	良一	有久	敬一	喜六	富夫	清夫	吾夫	邦夫	久男	二郎	
北野中	松山商	第三神戶中	明石中	佐賀中	第一神戶中	加古川中	明石中	京都第一商	京都第一商	第三神戶中	豐岡中	豐岡中	
大阪變壓器會社	川崎造船所	參天堂株式會社	河崎商店	川崎車輛會社	第一銀行	淺野物產會社	兼松商店	グリコ株式會社	東洋製鐵會社	共同漁業會社	湯淺貿易會社	自家營業	伊藤忠商會社
山田	山中	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本
中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田
遠藤	一悅	純也	三郎	也三	弘也	右也	郎也	高也	俊也	秀也	嘉也	照也	久也
第二神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商

第六回卒業生

(昭和十二年三月卒業 百三十七名)

神戶商大學生	川崎飛行機工場	川西倉庫會社	家護會社	三和護謨會社
朝藤	天野	荒野	馬田	池田
和彦	謙一	菊二	徹一	秀一
第一神戶商	第一神戶商	第一神戶中	第一神戶中	育英商
自家營業	自家營業	高瀬合名會社	神戶商大學生	住友生命保險會社
石田	石田	石田	石田	石田
太喜	太喜	太喜	太喜	太喜
第三神戶中	第三神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中

神戶商大學生	共立モスリン會社	シチヨバンク	關西大學學生	日本砂鐵工業會社	大阪稅務監督局	東洋絹靴下會社	日本棉花會社	廣島鐵道局吳驛	大阪稅務監督局	今井商店	川西機械製作所	帝國酸素會社	三井物產會社	河本製作所	神戶商大學生	關西土地會社	神戶商大學生	松下電熱會社	大同信託會社	勤業銀行	名古屋高商	丸紅商店	丸紅商店	丸紅商店	
伊東	稻井	井上	魚田	宇野	漆野	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石	大石
龍一	正一	大次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次	野次
福知山中	明石中	第一神戶商	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中
長瀨商店	神戶商大學生	自家營業	帝國酸素會社	三井物產會社	多木製肥所	死所	神戶商大學生	大阪鐵道局兵庫驛	田村會社	自家營業	神戶商大學生	中山製鋼所	大阪市役所	神戶商大學生	川崎汽船會社	神戶商大學生	大日本製藥會社	岩本房吉商店	丸紅商店	日立製作所	神戶商大學生	大阪商船會社	神戶商大學生	神戶商大學生	
片霧	山田	神戶	岸田	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川	北川
遠藤	一悅	純也	三郎	也三	弘也	右也	郎也	高也	俊也	秀也	嘉也	照也	久也	久也	久也	久也	久也	久也	久也	久也	久也	久也	久也	久也	久也
第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商

○關係法令

一、實業學校令(抄) (明治三十二年勅令第二十九號)

第一條 實業學校ハ實業ニ従事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス
 第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
 實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

二、專門學校令(抄) (明治三十六年勅令第六十一號)

第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス
 專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及團體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス
 專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ
 第二條 北海道府縣又ハ市ハ土地ノ情況ニ依リ必要アル場合ニ限り專門學校ヲ設置スルコトヲ得
 第四條 公立又ハ私立ノ專門學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
 第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得
 前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
 第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス
 第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得
 第八條 (上略)
 公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私

立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム
 第九條 公立又ハ私立ノ專門學校ノ教員ノ資格ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
 第十條 公立又ハ私立ノ專門學校ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス
 文部大臣ハ公立又ハ私立ノ專門學校ニ對シ報告ヲ徵シ檢閲ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
 第十一條 公立ノ專門學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ特別ノ場合ニハ之ヲ減免シ又ハ徵收セサルコトヲ得
 第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

三、公立私立專門學校規程 (明治三十六年文部省令第十三號)

第一條 專門學校令第四條ニ依リ專門學校ノ設置ノ認可ヲ受ケントスルモノハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 位置
- 四 學則
- 五 生徒定員
- 六 敷地建物ノ圖面及其ノ所有ノ區別
- 七 開校年月
- 八 經費及維持ノ方法
- 九 設立者ノ履歷

醫學專門學校ニ就キテハ臨床實習病院ノ位置、敷地建物ノ圖面、臨床實習用患者ノ定員及解剖用屍體ノ豫定數ヲ具スヘシ
 第一項第二項ノ敷地ニ關スル圖面ニハ面積、地質及附近ノ狀況ヲ記シ且ツ飲料水質ノ調査書ヲ添付スヘシ
 第一項第一號乃至第七號及第二項ニ掲ケタル事項ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
 第一項第八號ニ掲ケタル事項ノ變更ハ遲滞ナク文部大臣ニ届出ツヘシ
 第二條 專門學校ハ校地、校舍、校具其ノ他必要ノ設備ヲ爲スヘシ

關係法令

第三條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道徳上及衛生上害ナキ所タルヘシ

第四條 校舍ニハ左ノ諸室ヲ備フヘシ

一 教室

二 事務室

三 其ノ他必要ナル實驗室、實習室、研究室、圖書室、器械室、標本室、藥品室、製煉室等ノ諸室

校舍ハ教授上並衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第五條 學具ハ教授上必要ナル圖書、器械、器具、標本模型等トス

第六條 專門學校ニ於テハ左ノ表簿ヲ備フヘシ

一 學則、日課、教科用圖書配當表

二 職員ノ名簿及履歷書、出勤簿、擔任學科目及時間表

三 生徒學籍簿、出席簿、徵兵猶豫ニ關スル書類

四 試験ノ問題、答案及成績表

五 資産原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿

生徒學籍簿ニハ生徒ノ姓名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及學年、卒業ノ年月日、入學試験ノ有無

轉學退學ノ事由、徵兵事故、保證人ノ姓名及居所等ヲ記載スヘシ

別科ノ生徒ニ關シテハ出席簿、徵兵猶豫ニ關スル書類ヲ省略シ及學籍簿ノ記入事項ヲ便宜省略スルコトヲ得

第七條 專門學校ノ教員タルコトヲ得ヘキ者左ノ如シ

一 學位ヲ有スル者

二 帝國大學分科大學(元東京大學各部、元札幌農學校ヲ含ム)卒業者又ハ東京高等商業學校(元高等商業學校ヲ含ム)卒業者ニシテ

學士ト稱スルコトヲ得ル者

三 文部大臣ノ指定シタル者

四 文部大臣ノ認可シタル者

前項第一號乃至第四號ニ該當スル者ヲ得難キ場合ニ於テハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ一時他ノ者ヲ以テ教員ニ代用スルコトヲ得

前二項ニ依リ認可ヲ受ケントスル場合ニハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ本人ノ履歷書ヲ具シ文部大

臣ニ申請スヘシ但シ奏薦ニ依リ任命セラル、者ニ就テハ別ニ認可ノ手續ヲ經ルコトヲ要セス

文部大臣ハ必要ト認ムルトキハ前項ノ場合ニ於テ學術ノ檢定ヲ行フコトアルヘシ

本條ニ依ル文部大臣ノ認可ハ當該學校在職中ニ限リ有効トス

第八條 專門學校ニ於テ本科生徒ヲ入學セシムルハ毎年一回トス其期間ハ三十日以内トス但シ學科課程相同シキ專門學校間ニ於ケル生

徒ノ轉學ニハ本文ヲ適用セス

專門學校ノ本科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ本科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル資格ヲ有シ且前各學年ノ學科課程ヲ卒リタル

者ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ學年級ヲ設ケサル專門學校ニ就キテモ又之ニ準ス

前項入學者ノ學力ハ總テ試験ニ依リ之ヲ檢定スヘシ

第九條 (略)

第十條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一 品行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三 引續キ一箇年以上缺席シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

第十一條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十二條 專門學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡ソ左ノ如シ

一 入學資格、修業年限、學科、學科目、學科程度ニ關スル事項

二 學年、學期、休業日ニ關スル事項

三 入學、退學、進級、卒業等ニ關スル事項

四 懲戒ニ關スル事項

五 入學科、授業料等ニ關スル事項

六 豫科、研究科、別科ニ關スル事項

七 寄宿舎ニ關スル事項

第十三條 專門學校令第四條ニ依リ專門學校ノ廢止ノ認可ヲ受ントスルモノハ其理由及生徒ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

關係法令

關係法令

第十四條 專門學校令十五條ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケントスルモノニ付テハ本令第一條ヲ準用ス
第十五條 實業專門學校ニ關シテハ特別ノ規程アル場合ニハ本令ヲ適用セス

附 則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス

明治十五年文部省達第四號、同第五號同第六號中甲種實業學校ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス

四、公立學校職員制 (抄) (大正六年勅令第五號)

第一條ノ三 公立ノ專門學校、實業專門學校及高等學校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 學 校 長
- 教 授
- 生 徒 主 事
- 助 教 授
- 書 記
- 生 徒 主 事 補

第三條 專門學校、實業專門學校及高等學校ノ學校長ハ勅任官又ハ委任官ノ待遇トス

第五條 專門學校、實業專門學校、高等學校、大學豫科及高等女學校高等科ノ教授ハ委任官ノ待遇、助教授ハ勅任官ノ待遇トシ生徒ノ教育ヲ掌ル(下略)

第五條ノ二 專門學校、實業專門學校、高等學校ノ生徒主事ハ教授ノ中ヨリ之ニ兼任ス但シ特別ノ事情アルトキハ專任ノ生徒主事ヲ置クコトヲ得

專任生徒主事ハ委任官ノ待遇トス生徒主事ハ學校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第八條ノ五 專門學校、實業專門學校及高等學校ノ生徒主事補ハ助教授、教諭又ハ助教諭ノ中ヨリ之ニ兼任ス但シ特別ノ事情アルトキハ專任ノ生徒主事補ヲ置クコトヲ得

專任生徒主事補ハ勅任官ノ待遇トス

生徒主事補ハ上司ノ指揮ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ケ

第十一條 大學、專門學校、實業專門學校、高等學校、師範學校、中學校、高等女學校、實業學校、盲學校及聾啞學校ノ書記ハ勅任官ノ待遇トス上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

五、公立學校職員待遇官等等級令(抄) (大正六年勅令第七號)

第一條 公立學校職員ニシテ委任官ノ待遇ヲ受クル者ノ官等ハ別表第一表ニ依ル

第三條 高等官官等俸給令第二條、第三條第二項及第五條第一項ノ規定ハ委任官ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ノ任免及敘等ニ之ヲ準用ス(第二項略)

高等官三等ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ハ在職二年ヲ超ニルニ非サレハ之ヲ勅任官ノ待遇ト爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ高等文官ノ在職年數ハ之ヲ同官等待遇ヲ受クル公立學校職員ノ在職年數ト看做ス

第四條 公立學校職員ニシテ勅任官ノ待遇ヲ受クル者ノ等級ハ別表第二表ニ依ル

職員制上他ノ職ニ在ル者ヲ以テ兼シムル職ノ等級ハ本職ノ等級ニ依ル

第五條 公立學校職員ニシテ勅任官ノ待遇ヲ受クル者ノ進退ハ地方長官之ヲ專行ス

第六條 公立學校職員ニシテ勅任官、委任官又ハ勅任官ノ待遇ヲ受クル者ノ席次ハ同官等又ハ同等級内ニ於テハ文武官吏ノ次席トス

第七條 公式令第十四條第三項、第四項及第十五條第三項、第四項ノ規定ハ勅任官又ハ委任官ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ノ官記及免官ノ辭令書ニ之ヲ準用ス

第一表

高等專門學校	專門學校	實業專門學校	勅任官	高等官	高等官	高等官	高等官	高等官	高等官	高等官
			學校長	同	同	同	同	同	同	同
高等專門學校	專門學校	實業專門學校	教授	同	同	同	同	同	同	同
高等專門學校	專門學校	實業專門學校	生徒主事	同	同	同	同	同	同	同

判任官一等待遇	判任官二等待遇	判任官三等待遇	判任官四等待遇
月俸百圓以上	月俸七十圓以上 未滿	月俸五十圓以上 未滿	月俸五十圓未滿

六、公立學校職員俸給令(抄)

(明治三十六年 勅令第六十六號)

- 第一條 本令ニ於テ職員ト稱スルハ公立ノ專門學校、大學豫科、高等學校、師範學校、中學校、高等女學校、實業學校、盲學校及聾啞學校ノ職員ニシテ勅任官又ハ判任官ノ待遇ヲ受クル者ヲ謂フ
- 第二條 勅任官又ハ奏任官ノ待遇ヲ受クル專門學校、實業專門學校、大學豫科及高等學校ノ職員ノ年俸ハ第一號表ニ依ル
- 第三條 判任官ノ待遇ヲ受クル職員ノ月俸ハ第四號表ニ依ル
- 第四條 官吏ニシテ在官ノ儘職員ニ任セラレタル者ノ俸給ハ等級相當ノ額ヲ減給スルコトヲ得
- 第五條 一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ特ニ功勞アル職員ニハ勅任官又ハ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ六百圓以内判任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ四百圓以内ノ加俸ヲ給スルコトヲ得
- 第六條 教員ニシテ舍監、主事ヲ兼ムル者ニハ相當ノ加俸ヲ給スルコトヲ得
- 第七條 教員ノ俸給ハ其ノ教授時數ニ應ジ等級相當ノ額ヲ減給スルコトヲ得
- 第八條 二校以上ノ職員ヲ兼ムル者ニハ其ノ俸給ヲ分割シテ關係學校ノ經費中ヨリ之ヲ支給スルコトヲ得
- 第九條 陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受クル職員ニハ其ノ間俸給ヲ支給セス但シ其ノ俸給額職員ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給スルコトヲ得
- 第十條 俸給ハ毎級在職一年以上ニ至ラサレハ增加スルコトヲ得但シ奏任官ノ待遇ヲ受クル職員ニシテ年俸千百參拾圓以下ノ者及判任官ノ待遇ヲ受クル職員ニシテ月俸七拾五圓以下ノ者ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十一條 名稱又ハ待遇ノ異ナリタル職員若クハ種類ノ異ナリタル學校ノ職員ニ轉任スル場合ニ於テ支給スル俸給ハ前職ノ俸給額ニ相當スル俸給以下トス若シ相當額ナキトキハ其ノ最モ近キ上級ノ俸給以下トス但シ前職等級在職一年ヲ踰エタルモノニ在リテハ一級ヲ進ムルコトヲ得

- 前項ノ規定ハ年俸千百參拾圓以下又ハ月俸七拾五圓以下ノ俸給ヲ支給スル場合ニハ之ヲ適用セス
- 第十三條 退職後一年以内ニ再任セララルル場合ニ於テハ其ノ俸給ハ前職ノ俸給以下トス
- 前項ノ場合ニ於テ其ノ前職等級在職一年ヲ踰エタル者ハ前職ノ等級ニ一級ヲ進ムルコトヲ得
- 前二項ノ規定ハ年俸千百參拾圓以下又ハ月俸七拾五圓以下ノ俸給ヲ支給スル場合ニハ之ヲ適用セス
- 退職後一年以内ニ名稱又ハ待遇ノ異ナリタル職員若クハ種類ノ異ナリタル學校ノ職員ニ任セララルル場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス
- 第十四條 前三條ノ俸給額ニハ加俸ヲ算入セス
- 第十五條 休職者ニハ其ノ休職中俸給三分ノ一ヲ給ス但シ教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校ニ入學スル場合ニ於テ休職ヲ命セラレタル者ニ付テハ之ヲ給セス又ハ三分ノ一以下ヲ給スルコトヲ得
- 第十六條 特別ノ事情ニ依リ第十一條乃至第十三條ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ地方長官ハ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ特別ノ處分ヲ爲スコトヲ得
- 第十七條 高等官官等俸給令第二十三條乃至第二十九條ノ規定ハ勅任官又ハ奏任官待遇ヲ受クル職員ニ關シ判任官俸給令第十三條乃至第十四條ノ規定ハ判任官ノ待遇ヲ受クル職員ニ關シ之ヲ準用ス
- 第十八條 俸給、旅費其他諸給與ニ關スル規定ハ地方長官之ヲ定ム

第一號表

校長	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級
教授	10000	8000	6000	4000	3000	2000	1500	1000	800	600	400	300
教員	10000	8000	6000	4000	3000	2000	1500	1000	800	600	400	300
生徒主事	10000	8000	6000	4000	3000	2000	1500	1000	800	600	400	300

第四號表

高等學校	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級
實業專門學校	1500	1300	1100	900	700	500	400	300	200	150	100	80
專門學校	1500	1300	1100	900	700	500	400	300	200	150	100	80
助教授	1500	1300	1100	900	700	500	400	300	200	150	100	80
生徒主事補	1500	1300	1100	900	700	500	400	300	200	150	100	80

高等專門學校	舍監	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
專門學校	書記	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
實業專門學校	書記	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
高等學校	書記	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二

七、公立學校職員分限令 (大正四年 勅令第三號)

- 第一條 本令ハ公立ノ大學、專門學校、高等學校、師範學校、中學校、高等女學校、實業學校、盲學校及聾啞學校ノ職員ニシテ勅任官兼任官又ハ判任官ノ待遇ヲ受クル者ニ適用ス
- 第二條 公立學校職員ハ勅令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ニ依ルニ非サレハ其ノ職ヲ免セララルコトナシ
- 第三條 公立學校職員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其職ヲ免スルコトヲ得
 - 一 不具、廢疾ニ因リ又ハ身體若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ
 - 二 傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ其職ニ堪ヘサルニ因リ又ハ自己ノ便宜ニ因リ免職ヲ願出テタルトキ
 - 三 學校編制ノ變更ニ因リ過員ヲ生シタルトキ
- 前項第一號ノ規定ニ依リ其職ヲ免スルトキハ勅任官又ハ兼任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ文官高等懲戒委員會、判任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ文官普通懲戒委員會ノ審査ニ付ス
- 第四條 公立學校職員ハ廢職若ハ廢校ノ場合又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル場合ニ於テハ當然退職者トス
- 第五條 第八條第一項第三號乃至第五號ノ規定ニ依リ休職ヲ命セラレ又ハ第八條第二項ノ規定ニ依リ休職トナリ滿期ニ至リタルトキハ當然退職者トス
- 第六條 公立學校職員ハ其意ニ反シテ待遇ヲ下シ又ハ俸給ヲ減セララルコトナシ
- 第七條 文官分限令第九條及第十條ノ規定ハ公立學校職員ニ關シテ之ヲ準用ス
- 第八條 公立學校職員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ休職ヲ命スルコトヲ得
 - 一 懲戒事件ニ關シ懲戒委員會ノ審査ニ付セラレタルトキ
 - 二 刑事事件ニ關シ告訴又ハ告發セラレタルトキ
 - 三 學校編制變更其他ノ事由ニ因リ過員ヲ生シタルトキ
 - 四 教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校ニ入學スルトキ

五 教育上又ハ事務上必要ナルトキ

- 公立學校職員ニシテ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル者ハ當然休職者トス但シ師範學校調導ニシテ兵役法第十條ノ規定ニ依ル短期現役ニ服スルモノハ此限ニ在ラス
- 第九條 休職ノ期間ハ前條第一項第一號及第二號ノ場合ニ在リテハ其事件ノ懲戒委員會又ハ裁判所ニ繫屬中トシ第三號及第五號ノ場合ニ在リテハ勅任官又ハ兼任官ノ待遇ヲ受クル者ニ付テハ二年、判任官ノ待遇ヲ受クル者ニ付テハ一年トシ第四號及前條第二項ノ場合ニ在リテハ其ノ事故止ミタル後尙ホ三月トス
- 第十條 休職者ハ職務ニ從事セス及俸給ヲ減セラレ又ハ之ヲ受ケサルノ外總テ在職者ト異ナルコトナシ
- 第十一條 文官分限令第十四條ノ規定ハ公立學校職員ニ之ヲ準用ス

八、官吏服務紀律 (明治二十年 勅令第三十九號)

- 第一條 凡ソ官吏ハ天皇陛下及天皇陛下ノ政府ニ對シ忠順勤勉ヲ主トシ法律命令ニ從ヒ各其職務ヲ盡スヘシ
- 第二條 官吏ハ其職務ニ付本屬長官ノ命令ヲ遵守スヘシ但其命令ニ對シ意見ヲ述ルコトヲ得
- 第三條 官吏ハ職務ノ内外ヲ問ハス廉恥ヲ重シ食汚ノ處爲アルヘカラス
- 官吏ハ職務ノ内外ヲ問ハス威權ヲ濫用セス謹慎懇切ナルコトヲ務ムヘシ
- 第四條 官吏ハ己ノ職務ニ關スルト又ハ他ノ官吏ヨリ聞知シタルトヲ問ハス官ノ機密ヲ漏洩スルコトヲ禁ス其職ヲ退ク後ニ於テモ亦同様トス
- 裁判所ノ召喚ニ依リ證人又ハ鑑定人ト爲リ職務上ノ秘密ニ就キ訊問ヲ受クルトキハ本屬長官ノ許可ヲ得タル件ニ限り供述スルコトヲ得
- 第五條 官吏ハ私ニ職務上未發ノ文書ヲ關係人ニ漏示スルコトヲ禁ス
- 第六條 官吏ハ本屬長官ノ許可ナクシテ擅ニ職務ヲ離レ及職務上居住ノ地ヲ離ルルコトヲ得ス
- 第七條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ營業會社ノ社長又ハ役員トナルコトヲ得ス
- 第八條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其職務ニ關シ慰勞又ハ謝儀又ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ直接ト間接トヲ問ハス總テ他人ノ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス
- 官吏外國ノ君主又ハ政府ヨリ授與セントスル所ノ勳章榮賜俸給並贈遺ヲ受クルニハ天皇陛下ノ裁可ヲ要ス

關係法令

第九條 左ニ掲ケタル者ト直接ニ關係ノ職務ニ居ルノ官吏ハ其變應ヲ受クルコトヲ得ス

一 官廳ノ工事ヲ受負フ者

一 官廳ノ爲替方又ハ出納ヲ引受クル者

一 官廳ノ補助金ヲ受クル起業者

一 官廳ノ用品ヲ調達スル者

一 官廳ト諸般ノ契約ヲ結フ者

第十條 凡ソ上官タル者ハ職務ノ内外ヲ問ハス所屬官吏ヨリ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス

第十一條 官吏並ニ其家族ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ直接ト間接トヲ問ハス商業ヲ營ムコトヲ得ス

第十二條 官吏ハ取引相場會社ノ社員タルコトヲ得ス及間接ニ相場商業ニ關係スルコトヲ得ス

第十三條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ本職ノ外ニ給料ヲ得テ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス

第十四條 浪費シテ産ヲ破リ其分ニ應セサル負債ヲ爲ス者ハ過失ノ一タルヘシ

第十五條 官吏ハ私立郵船會社又ハ私立鐵道會社ヨリ無賃乗車切符ヲ受クルコトヲ得ス

第十六條 凡テ局長所長其他一部ノ長ハ各所屬官吏ヲ監督シ其過失若シ懲戒處分ヲ行フノ區域ノ内ニ在ラサル者ハ之ヲ訓告スルコトヲ務ムヘシ若シ懲戒處分ヲ要スト認ルトキハ事狀ヲ具ヘテ之ヲ本屬長官ニ稟告スヘシ其情ヲ知リ隱蔽シテ稟告セサル者亦過失タルコトヲ免レス

第十七條 本規律ハ高等官判任官及俸給ヲ得テ公務ヲ奉スル者ニ適用ス

九、公立ノ專門學校長實業專門學校長高等學校長職務規程

(大正十四年)

第一條 學校長ハ判任官ノ待遇ヲ受クル職員ノ進退ヲ地方長官ニ申請シ高等官ノ待遇ヲ受クル職員ノ進退ニ付意見ヲ具ヘ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條 學校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ノ待遇ヲ受クル職員ノ一人ヲシテ其事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條 左ノ事項ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外學校長之レヲ專行スヘシ但シ第二號及第七號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ第三號ニ關シテ高等學校高等科教員免許狀ヲ有スル者又ハ公立私立專門學校規程第七條第一號乃至第三號ニ該當スル者ヲ教員ニ採用シタルトキ亦同シ

- 第一 學科ノ擔任及事務ノ分課ヲ定ムルコト
- 第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
- 第三 官吏ノ待遇ヲ受ケサル職員ノ進退ニ關スルコト
- 第四 職員ノ内國各地出張ニ關スルコト
- 第五 職員ノ除服出仕請假ニ關スルコト
- 第六 職員ノ任地外居住官廳其ノ他ノ事業囑託ニ應スルノ願ニ關スルコト
- 第七 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト
- 第四條 學校長ハ毎年會計年度ノ終ニ於テ前年ノ功程ヲ具ヘ文部大臣ニ報告スヘシ
- 第五條 第一條ノ稟申並第三條及第四條ノ報告ハ地方長官ヲ經由スヘシ

一〇、陸軍現役將校學校配屬令(抄)

(昭和二十四年)

第一條 官立又ハ公立ノ師範學校、中學校、實業學校、高等學校、大學預科、專門學校、高等師範學校、臨時教員養成所、實業學校教員養成所又ハ青年學校教員養成所ニ於ケル男生徒ノ教練ヲ掌ラシムル爲メ陸軍現役將校ヲ當該學校ニ配屬ス但シ戰時事變ノ際其ノ他已ムヲ得サル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル將校ノ配屬ハ陸軍大臣、文部大臣ト協議シテ之ヲ行フ

配屬將校ハ教練ニ關シテハ當該學校長ノ指揮監督ヲ承ク

第三條 陸軍大臣及文部大臣ハ特別ノ事由アルトキハ本令ニ依ル將校ノ配屬ヲ止ムルコトヲ得

第四條 陸軍大臣ハ現役將校ヲシテ本令ニ依リテ將校ヲ配屬シタル學校ニ於ケル教練實施ノ狀況ヲ査閲セシムルコトヲ得

一一、陸軍現役將校學校配屬ニ關スル訓令(抄)

(大正十四年)

國民ノ心身ヲ健全ニ發達セシメテ其資質ヲ向上セシメ以テ國力ヲ増進シ國運ノ隆昌ヲ圖ルハ内外現時ノ情勢ニ鑑ミ最モ喫緊ノ一要務タリ而シテ其目的ノ達成ハ主トシテ之ヲ教育ノ效果ニ待タサルヘカラス故ヲ以テ明治維新以來教育ノ制度ヲ定ムルヤ思フ此ニ致シテ施設經營シ明治十九年教育法令ヲ改正スルニ當リ特ニ學校ニ於テ兵式體操ヲ課スルコトトセリ當時一般ノ學校ニ於テ教師モ生徒モ熱心ニ事ニ此ニ從ヒタレハ其ノ教育ノ實績ヲ進メタル功顯著ナルモノアリタリ然ルニ時勢ノ變遷ニ伴ヒ學校ニ於ケル兵式體操モ動モスレハ當初

ノ精神ト乖離シ徒ニ形式ニ流レテ其ノ眞髓ヲ失ハムトスル傾向ナキニテ是ニ於テ大ニ之ヲ振作シテ體育ヲ促進スルト共ニ德育ヲ裨補シ併セテ國防能力ノ増進ヲ圖ルノ必要朝野ニ論議セラルルニ至レリ續ツテ世界ノ大勢ヲ察スルニ大戦以來歐米諸國ニ於テハ國民訓練又ハ軍事豫備教育ト稱スルモノ著シク發達シ之ニ依リテ實實剛健ノ士風ヲ振起シ社會民心ヲ善導シ且國民ノ間ニ國防思想ヲ普及セシムコトヲ期セリ我カ國ハ列強ニ先チテ學校教育ニ兵式體操ヲ加ヘ國民訓練ノ實ヲ示シタルニ拘ラス近時却テ彼ニ一籌ヲ輸スルノ情態ニ在ルハ頗ル遺憾トスル所ナリ

内外ノ情勢右ニ述ヘタルカ如シ當局ニ於テハ夙ニ學校ニ於ケル教練ヲ一層振作スルノ方針ヲ定メ之カ爲ニハ現役將校ヲシテ其ノ指導ノ任ニ當ラシムルコトノ有效ナルヲ認メ之カ實行方法等ニ就キテ考究ヲ重ネタル結果令般其ノ實現ヲ見ルニ至レリ抑々學校ニ於テ教練ヲ課スルノ目的ハ學生生徒ノ心身ヲ鍛鍊シテ其資質ヲ向上セシムルニ在リ換言スレハ國家的觀念ヲ明徴ニシテ献身奉仕ノ精神ヲ振起シ自立ノ習慣ヲ馴致シテ責任ヲ盡シ規律ヲ重シ節制ヲ守リ協同ヲ尙ヒ且命令ニ服従スルノ氣風ヲ作興シ身體ヲ強壯ニシ志氣ヲ鼓舞シ更ニ堅忍敢爲ノ精神ヲ涵養スルニ在リ而シテ之カ勵行ニ依リテ國防能力ヲ増進セシムルノ結果ヲ生スルハ論ヲ須ダス

今次ノ施設ハ現役將校ヲ學校ニ配屬セシメ教練ノ教授ニ當ラシムルモノナレトモ之ヲ以テ在來勤務セル教練ノ教師ニ代ヘムトスルノ趣旨ニアラスシテ教練ノ教授能率ヲ増大シ其ノ實施ヲ一層適切有效ナラシメムトスルニ外ナラス隨ツテ配屬將校ハ當該學校長ノ監督ノ下ニ立チ其ノ指揮ニ基キテ業務ニ從事スヘキハ勿論其ノ教授ニ際シテモ善ク他ノ學科目トノ聯絡ヲ保チ學生生徒心身發達ノ狀況ニ應シ別ニ定ムル教授要目ニ準據シテ之ヲ實行スヘキモノトス

地方長官及學校當事者ハ克ク其ノ趣旨目的ヲ體シ相當設備ノ充實ヲ圖ルコトニ力メ且運用宜シキヲ制シ以テ其ノ實績ヲ舉クルニ遺憾ナカラムコトヲ期スヘシ

二、教員免許令 (明治三十三年勅令第三百三十四號)

- 第一條 特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外教員免許狀ヲ授與スルハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ニ依リ免許狀ヲ有スル者ニ非サレハ教員タルコトヲ得ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ教員ニ充ツルコトヲ得
- 第三條 教員免許狀ハ教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校ノ卒業者又ハ教員檢定ニ合格シタル者ニ文部大臣之ヲ授與ス
- 第四條 教員檢定ハ試験檢定及無試験檢定トシ教員檢定委員之ヲ行フ

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ教員檢定ヲ受クルコトヲ得ス

- 一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 二 破産者ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限りノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者
- 第六條 教員檢定ヲ出願スル者ハ手数料トシテ一學科目毎ニ金七圓ヲ納付スヘシ
- 第七條 教員檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第八條 教員免許狀ヲ受ケタル者ノ氏名族籍及免許ノ學科ハ官報ヲ以テ之ヲ公告ス
- 第九條 教員免許狀ヲ有スル者其ノ氏名族籍ヲ變更シ又ハ免許狀ヲ毀損シ失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得
- 前項ニ依リ免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ出願スル者ハ手数料金壹圓ヲ納付スヘシ
- 第十條 教員免許狀ヲ有スル者第五條各號ノ一ニ該當シタルトキハ免許狀ハ其ノ効力ヲ失フ
- 第十一條 教員免許狀ヲ有スル者不正ノ所爲其ノ他教員タルヘキ體面ヲ汚辱スルノ所爲アリテ其ノ情狀重シト認ムルトキハ文部大臣ハ其ノ免許狀ヲ褫奪ス
- 第十二條 本令ニ依リ納付スヘキ手数料ハ收入印紙ヲ用キ之ヲ願書ニ貼付スヘシ其ノ既ニ納メタル後ハ何等ノ事情アルモ之ヲ還付セズ

附 則

- 第十三條 本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第十四條 本令施行前文部大臣ニ於テ授與シタル師範學校、中學校、高等女學校ノ教員免許狀及舊東京師範學校ニ於テ授與シタル中學師範學科卒業證書ハ本令ニ依リ授與シタル教員免許狀ト同一ノ効力ヲ有ス

附 則

一三、師範學校中學校高等女學校教員檢定規程(抄) (昭和七年八月三十日 文部省令第十五號ヲ以テ改正)

- 第一條 教員檢定ハ受檢者ノ學力、性行、身體ニ就キ之ヲ行フ
- 第二條 檢定ヲ爲スヘキ學科目左ノ如シ
修身、公民科、教育、國語漢文、歷史、地理、外國語、數學、理科、家事、裁縫、手藝、實業、圖畫、手工、音樂、作業科、體操

國語漢文ハ國語、漢文、習字ノ三部ニ、外國語ハ英語、獨語、佛語、支那語ノ四部ニ、理科ハ動物、植物、礦物、生理及衛生、物理、化學ノ大部ニ、手藝ハ刺繡、造花、編物、染色、機械ノ五部ニ、實業ハ農業、工業、商業、簿記ノ四部ニ、圖畫ハ日本畫用器畫、西洋畫用器畫ノ二部ニ、體操ハ體操、教練、劍道、柔道ノ四部ニ分チテ檢定ヲ出願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ一學科目ノ一部又ハ數部ノ檢定ヲ出願スルモ其手數料ニ關シテハ一學科目ト看做ス

師範學校專攻科並ニ高等女學校高等科及專攻科教員ノ檢定ハ家事、裁縫ニ限リ之ヲ行フ此ノ場合ニ於テ家事ハ衣服、食物住居及家事經濟、育兒看護家庭衛生及生理ノ二部ニ、裁縫ハ和服裁縫、洋服裁縫ノ二部ニ分チテ檢定ヲ出願スルコトヲ得其ノ手數料ニ關シテハ前項ノ例ニ依ル

第三條 試驗檢定ハ毎年少クトモ一回之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ隨時之ヲ行フ

試驗檢定ノ出願期限及試驗ヲ行フヘキ學科目ハ文部大臣ニ於テ之ヲ告示シ試驗施行ノ期日及注意ハ教員檢定委員會長ニ於テ之ヲ公告ス

第四條 檢定ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ノ願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ試驗檢定ニ在リテハ豫備試驗ヲ受クヘキ者ハ其ノ受驗地ノ地方廳其ノ他ノ者ハ便宜ノ地方廳ヲ經由シ無試驗檢定ニ在リテハ地方廳若ハ當該學校ヲ經由シテ文部大臣ニ出願スヘシ

一 第二號書式ノ履歷書及受驗資格ニ關スル學校卒業證書若ハ教員免許狀ノ寫

二 第五條第一號、第二號、第四號、第五號及第九號ニ該當スル者ニ在リテハ第三號書式ノ當該學校長證明書、同條第三號ニ該當スル者ニ在リテハ第四號書式ノ試驗檢定合格證明書、同條第六號ニ該當スル者ニシテ教員免許狀授與地方廳以外ノ地方廳ヲ經由スル場合ニ在リテハ第五號書式ノ授與地方廳證明書、第十一條第一號第二號ニ該當スル者ニ在リテハ第六號書式ノ相當官署ノ證明書

三 第七號書式ノ學校醫ノ身體檢查書但シ學校醫ノ設置ナキ地ニ在リテハ醫師法ニ依ル醫師ノ身體檢查書ヲ以テスルモ妨ナシ

地方長官又ハ當該學校長ハ本人ノ性行ニ就キ意見ヲ具申スルコトヲ要ス

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ試驗檢定ヲ受クルコトヲ得但シ師範學校專攻科並ニ高等女學校高等科及專攻科教員ノ試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ高等師範學校、女子高等師範學校、臨時教員養成所、專門學校若ハ專門學校ト同等以上ノ學校トシテ文部大臣ノ指定シタル學校ノ卒業者又ハ當該學科目ニ關シ教員免許令ニ依リ授與セラレタル教員免許狀ヲ有スル者ニ限ル

- 一 中學校卒業者
- 二 高等女學校及高等女學校實科若ハ實科高等女學校卒業者
- 三 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

- 四 專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ專門學校入學ニ關シ指定ヲ受ケタル者
- 五 兵役法施行令第百條第三號又ハ文官任用令第六條第一號ニ依リ中學校ト同等以上ト認定セラレタル學校ヲ卒業シタル者
- 六 小學校本科正教員、尋常小學校本科正教員、小學校專科正教員若ハ小學校准教員ノ免許狀ヲ有スル者
- 七 教員免許令ニ依リ授與セラレタル教員免許狀ヲ有スル者
- 八 外國ニ於テ師範學校、中學校、高等女學校ニ準スヘキ學校ヲ卒業シタル者
- 九 文部大臣ニ於テ某學科目ニ關シ適當ト認定シタル學校ヲ卒業シタル者
- 十 第一號及第二號ニ準スヘキ學歷アル者

第六條 (削除)

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ文部大臣ノ適當ト認メタル學科目ニ關シ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得

一 文部大臣ノ指定シタル學校ノ卒業者及選科修了者

二 第五條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ卒業者ノ教員無試驗檢定ニ關シ文部大臣ノ許可ヲ受ケタル公立、私立學校ニ入り三箇年以上在學シテ卒業シタル者但シ體操科ヲ修ムル者ニ在リテハ二箇年以上トシ修業年限四箇年ノ高等女學校、高等女學校實科若ハ實科高等女學校ノ卒業者並第五條第三號ニ該當スル者及第四號中修業年限四箇年ノ高等女學校卒業者ニ準スヘキ者又ハ修業年限五箇年ノ高等女學校第四學年修了者ニ在リテハ家事、裁縫、體操、手藝ノ一科目又ハ數科目ヲ修ムル場合ノ外四箇年以上トス

三 高等學校高等科教員免許狀ヲ有スル者

四 實業學校教員免許狀ヲ有スル者

五 第五條第一號乃至第八號ニ該當スル者ニシテ外國ノ大學校又ハ之ニ準スヘキ學校ニ於テ修學シ學位若ハ卒業證書ヲ受領シタル者

六 相當ノ學歷ヲ有シ師範學校、中學校、高等女學校及之ト同等以上ノ學校ニ於テ五箇年以上檢定ヲ受ケントスル學科目ノ教授ヲ擔任シ其ノ成績優良ナル者

第七條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ師範學校專攻科並ニ高等女學校高等科及專攻科ノ家事又ハ裁縫ニ關シ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得

- 一 學位ヲ有スル者
- 二 大學ヲ卒業シタル者又ハ大學ニ於テ試驗ニ合格シ學士ト稱スルコトヲ得ル者
- 三 外國ニ於テ大學若ハ之ニ準スヘキ學校ニ入り學位若ハ卒業證書ヲ有スル者

關係法令

一一八

- 四 文部大臣ノ指定シタル學校ノ卒業者
- 五 相當ノ學歷ヲ有シ師範學校專攻科、高等女學校高等科又ハ專攻科、女子高等師範學校、臨時教員養成所、專門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ五箇年以上當該學科ノ教授ヲ擔任シ其ノ成績優良ナル者
- 第八條 試驗檢定ヲ分チテ豫備試驗、及本試驗トス但シ師範學校專攻科並ニ高等女學校高等科及專攻科教員ノ試驗檢定ニ於テハ豫備試驗ヲ行ハス

豫備試驗ヲ施行スル學科目ニ在リテハ豫備試驗ニ合格シタル者ニアラサレハ本試驗ヲ受クルコトヲ得ス
豫備試驗ニ合格シタル者ハ次ノ試驗檢定ニ於テ同一ノ學科目ニ付出願スル場合ニ限リ豫備試驗ヲ免ス
國語漢文ノ内國語ノ豫備試驗ニ於テハ漢文ヲ、漢文ノ豫備試驗ニ於テハ國語ヲ併セ課ス
理科ノ内各部ノ豫備試驗ニ於テハ一般理科ヲ併セ課ス

- 第九條 試驗ハ受驗者出願ノ學科目ニ就キ其ノ教員タラントスル學校ノ學科目ヲ教授スルニ足ルヘキ程度ヲ標準トシテ之ヲ行ヒ國民道徳要領、教育大意及教授法ノ試驗ヲ併セ行フ但シ教員免許令ニ依リ授與セラレタル教員免許狀ヲ有スル者若ハ小學校本科正教員ニ對シテハ本國民道徳要領及教育大意、修身科出願者ニ對シテハ國民道徳要領、教育科出願者ニ對シテハ教育大意ノ試驗ヲ行ハス
- 第十條 豫備試驗ハ願書經由ノ地方廳所在地ニ於テ之ヲ行フ
- 前項試驗ノ施行ハ東京府ヲ除クノ外地方長官之ヲ監督ス
- 本試驗ヲ行フヘキ場所ハ教員檢定委員會長ニ於テ之ヲ公告ス

- 第十一條 體操ノ内教練ノ試驗檢定ヲ出願シタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キテハ教練ノ試驗ヲ免ス
 - 一 陸軍歩兵科士官
 - 二 陸軍歩兵科下士官任官後滿四箇年以上現役ニ服シタル者

體操ノ内教練、劍道、柔術ノ試驗ハ女子ニ對シテハ之ヲ行ハス

- 第十二條 日本書用器書又ハ西洋書用器書ノ試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ日本書、西洋書又ハ用器書ノ一以上ニ關シ成績優良ナルトキハ教員檢定委員會長ハ其ノ部分ノ成績ニ關シ證明書ヲ授與スヘシ

歴史ノ試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ日本史、東洋史又ハ西洋史ニ關スル各部分ニ就キ成績優良ナルトキ亦同シ
前項ノ證明書ヲ受ケタル者ニシテ更ニ同一學科目ニ就キ檢定ヲ出願シタルトキハ其ノ證明書ニ記載セサル部分ニ就キ本試驗ヲ行フ
第十三條 不正ノ方法ニ依リ試驗ヲ受ケントシタル者及試驗ニ關スル規程ニ違背シタル者ハ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

檢定ニ合格シタル後前項ノ事實發覺シタルトキハ其ノ合格ヲ無効トスルコトアルヘシ

參照

教員無試驗檢定ニ關シ文部大臣ノ指定(抄) (明治三十六年) (文部省告示第三十號)

高等商業學校

本科 英語(當該學科目成績優等ナル者ニ限ル)、商業、簿記

一四、公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程(抄) (明治四十年) (文部省令第二十八號)

- 第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ實業學校ノ教員タルコトヲ得
 - 一 學位ヲ有スル者
 - 二 大學ヲ卒業シタル者、大學ニ於テ試驗ニ合格シ學士ト稱スルコトヲ得ル者又ハ官立學校ノ卒業者ニシテ學士ト稱スルコトヲ得ル者
 - 三 文部大臣ノ指定シタル者
 - 四 教員免許令ニ依リ教員免許狀ヲ有スル者

參照

公立私立實業學校教員資格ニ關シ文部大臣ノ指定(抄) (大正八年七月八日) (文部省告示第九十二號)

官立公立實業專門學校本科卒業者

一五、海軍武官任用令(抄) (昭和九年) (勅令第四十二號)

- 第十五條 主計少尉ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之ヲ任用ス
 - 一 海軍主計學生ト爲リ大學令ニ依リ大學ノ附屬商學專門部又ハ高等商業學校ヲ卒業シタル者
 - 二 大學令ニ依リ大學ノ附屬商學專門部又ハ專門學校令ニ依リ專門學校ニ於テ法學、經濟學又ハ商學ニ關スル課程ヲ卒ヘタル者ニシテ身體檢査ニ合格シタルモノ

關係法令

一一九

一六、高等試驗令(抄)

(昭和四年勅令第十五號)

第四條 高等試驗ヲ分テ豫備試驗及本試驗トス

豫備試驗ニ合格シタル者ニ非サレハ本試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第八條 高等學校高等科ヲ卒リ若ハ大學豫科ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力ヲ有スト認ムル者ハ豫備試驗ヲ免ス豫備試驗ニ合格シタル者ハ爾後豫備試驗ヲ免ス

一七、高等試驗令第七條及第八條ニ依ル受験資格ニ關スル件(抄)

(大正七年文部省令第三號)

第二條 左ノ者ハ高等試驗令第八條ニ依リ高等學校高等科ヲ卒リ若ハ大學豫科ヲ修了シタル者ト同等以上ト認ム

一 大學學部ニ學生トシテ入學シ現ニ在學スル者又ハ學士試驗ニ合格シタル者

二 文部大臣ニ於テ高等學校高等科若ハ大學豫科ト同等以上ト指定シタル學校ヲ卒業シタル者

一八、計理士法(抄)

(昭和二年法律第三十一號)

第二條 左ノ條件ヲ具アル者ハ計理士タル資格ヲ有ス

一 帝國臣民又ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ外國ノ國籍ヲ有スルモノニシテ私法上ノ能力者タルコト

二 計理士試驗ニ合格シタルコト

計理士試驗ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條第一項第二號ノ規定ニ拘ラス計理士タル資格ヲ有ス

一 會計學ヲ修メタル經濟學博士又ハ商學博士

二 帝國大學若ハ大學令ニ依ル大學ニ於テ會計學ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者又ハ專門學校令ニ依ル專門學校ニ於テ會計學ヲ修メ之ヲ卒業シタル者

三 主務大臣ニ於テ前號ニ掲グル學校ト同等以上ト認ムル學校ニ於テ會計學ヲ修メ之ヲ卒業シタル者

一九、兵役法(抄)

(昭和二年法律第四十七號)

第一條 帝國臣民タル男子ハ本法ノ定ムル所ニ依リ兵役ニ服ス

第五條 現役ハ陸軍ニ在リテハ二年、海軍ニ在リテハ三年トシ現役兵トシテ徵集セラレタル者之ニ服ス

現役兵ハ現役中之ヲ在營セシム

第六條 豫備役ハ陸軍ニ在リテハ五年四月、海軍ニ在リテハ四年トシ現役ヲ終リタル者之ニ服ス

第七條 後備兵役ハ陸軍ニ在リテハ十年、海軍ニ在リテハ五年トシ常備兵役ヲ終リタルモノ之ニ服ス

第八條 第一補充兵役ハ陸軍ニ在リテハ十二年四月、海軍ニ在リテハ一年トシ現役ニ適スル者ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者ノ中所要ノ人員之ニ服ス

第二補充兵役ハ十二年四月トシ現役ニ適スル者ノ中現役又ハ第一補充兵役ニ徵集セラレサル者及海軍ノ第一補充兵役ヲ終リタル者之ニ服ス但シ海軍ノ第一補充兵役終リタル者ニ在リテハ十一年四月トス

第十一條 現役兵ニシテ青年學校ノ課程又ハ之ト同等以上ト認ムル課程ヲ修メタル者ノ在營期間ハ六月以内之ヲ短縮スルコトヲ得

第二項 (略)

第四十一條 中學校又ハ中學校ノ學科課程ト同等以上ト認ムル學校ニ在學スル者ニ對シテハ本人ノ願ニ依リ學校ノ修業年限ニ應シ年齢

二十七年ニ至ル迄徵集ヲ延期ス

前項ニ規定スル認定及年齢ノ區分ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ規定ニ依リ徵集ヲ延期セラレタル者ハ在學ノ事由止ム年又ハ其翌年ニ於テ徵兵検査ヲ行フ但シ一ノ學校卒業ノ日ヨリ六月以

内ニ他ノ學校ニ入學スル者ニ付テハ徵集延期ノ事由尙繼續スルモノト見做ス

第二項ノ年齢ノ區分ニ基ク最高年齢ニ達スルモノモ在學ノ事由尙止マサル者ハ最高年齢ニ達シタル年又ハ其翌年ニ於テ徵兵検査ヲ行フ

第四十二條 徵兵適齡及其前ヨリ帝國外ノ地ニ在ル者(勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク)ニ對シテハ本人ノ願ニ依リ徵集ヲ延期ス

前項ノ規定ニ依リ徵集ヲ延期セラレタル者ハ其事由止ム年又ハ其翌年ニ於テ徵兵検査ヲ行フ

第四十三條 前條第一項ノ規定ニ依リ徵集ヲ延期セラレタル者ニシテ直系尊屬若ハ妻子死亡若ハ重態ノ爲又ハ官廳ノ命ニ依リ一時帝國

内ニ歸還スル者ハ徵集延期ノ事由尙繼續スルモノト看做ス但シ歸還後ノ滞在期間九十日間ヲ超ユルトキハ此限ニ在ラス(後略)

第五十六條 豫備兵及後備兵ハ勤務演習ノ爲豫備役及後備兵役ヲ通シ五回以内之ヲ召集スルコトヲ得

關係法令

一一三

前項ニ規定スル召集ハ一年一回トシ一回ノ日數ハ陸軍ニ在リテハ三十五日以内海軍ニ在リテハ七十日以内トス
第六十一條 歸休兵豫備兵後備兵又ハ補充兵ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ勤務演習召集又ハ簡點呼ヲ免除スルコトヲ得

- 一 餘人ヲ以テ代フヘカラサル職ニ在ル官吏又ハ官吏待遇者
- 二 市町村長、助役、收入役其他之ニ準スヘキ職ニ在ル者
- 三 帝國議會、府縣會、市町村會其他之ニ準スヘキモノノ議員但シ其會期中ニ限ル
- 四 帝國外ノ地ニ旅行又ハ在留スル者
- 五 帝國外ノ地ヲ往復スル帝國船舶ノ船員

二〇、兵役法施行令(抄)

(昭和二十二年勅令第三百三十號)

第百條 左ニ掲クルモノハ兵役法第四十一條第一項ノ規定ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ト認ムル學校トス

一 師範學校、實業學校(尋常小學校卒業ヲ入學程度トスル修業年限五年又ハ之ト同等以上ノモノニ限ル)高等學校、大學令ニ依ル大學豫科、專門學校、高等師範學校、大學令ニ依ル大學學部、臨時教員養成所、實業學校教員養成所及青年學校教員養成所
但シ研究科、選科等ノ別科ヲ除ク

二 宮内大臣、文部大臣以外ノ各省大臣、朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使又ハ樺太廳長官ノ所轄學校ニシテ前號ニ掲クル學校ニ準スルモノ
但シ研究科、選科等ノ別科ヲ除ク

三 前二號ニ掲クル以外ノ學校又ハ前二號ニ掲クル學校ノ別科ニシテ陸軍大臣及文部大臣ニ於テ認定ヲ爲シタルモノ

第百一條 兵役法第四十一條第一項ノ規定ニ依リ學校ニ在學スル者ニ付徵集ヲ延期シ得ヘキ最高年齢左ノ如シ

學校ノ區分	最高年齢
師範學校、高等學校、高等科及專攻科、大學令ニ依ル大學豫科、修業年限三年又ハ四年ノ專門學校、高等師範學校(專攻科ヲ除ク)、前條第一號ニ掲クル教員養成所	年 齡 二 十 五 年
修業年限五年以上ノ專門學校、高等師範學校、專攻科、大學令ニ依ル大學學部	年 齡 二 十 七 年

前條第二號又ハ第三號ニ該當スル學校ニ在學スル者ニ付徵集ヲ延期シ得ヘキ最高年齢ハ其ノ入學資格及修業年限ニ應シ前項ノ規定ニ準シ陸軍大臣之ヲ定ム

二一、陸軍補充令(抄)

(昭和十年勅令第二百六十四號、昭和十年勅令第三百二十六號)

第五十二條 豫備役士官ハ左ノ區分ニ從ヒ之ヲ補充ス

一 各兵科士官(技術ニ從事スヘキ者ヲ除ク)各兵科幹部候補生(技術ニ從事スヘキ者ヲ除ク)ニシテ少尉ニ任セラレ、ノ資格ヲ具フル者

二 (略)

三 經理部士官、經理部幹部候補生ニシテ三等主計ニ任セラレ、ノ資格ヲ具フル者

四 (略)

五 (略)

第五十三條 各兵科幹部候補生(技術ニ從事スヘキ者ヲ除ク)ハ左ニ掲クル資格ヲ具ヘ幹部候補生タルコトヲ志願スル者ノ中人格成績共ニ優秀且家庭良好ニシテ陸軍大臣ノ定ムル銓衡ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 豫備役及後備役ノ士官又ハ下士官タルノ希望ヲ有スル者

關係法令

一一三

二 現役兵トシテ概ネ三月以上在營シタル者

三 左ノ各號ノ一ニ該當スル者但シ(イ)乃至(ハ)ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ在リテハ當該學校ノ配屬將校(陸軍現役將校學校配屬令又ハ大正十四年勅令第二百四十六號ニ依リ配屬シタル將校ヲ謂フ以下之ニ同シ)ノ行フ教練ノ檢定ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

(イ) 配屬將校ヲ附シタル學校(研究科、選科等ノ別科ヲ除ク)ヲ卒業シタル者

(ロ) 配屬將校ヲ附シタル高等學校高等科又ハ大學令ニ依ル大學豫科ノ第一學年ノ課程ヲ修了シタル者

(ハ) 配屬將校ヲ附シタル學校ニシテ陸軍大臣ニ於テ高等學校高等科ト同等以上ト認ムルモノ、第一學年ノ課程ヲ修了シタル者

(ニ) 陸軍士官學校豫科生徒若クハ陸軍經理學校豫科生徒ノ第一學年ノ課程又ハ海軍兵學校、海軍機關學校若ハ海軍經理學校ノ第一學年ノ課程ヲ修了シタル者

(ホ) 文部省直轄商船專門學校ノ席上課程ヲ修了シタル者

教練ノ檢定ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五十四條 技術ニ從事スヘキ各兵科幹部候補生及各部幹部候補生ハ前條ニ規定スル資格ノ外尙左ニ掲クル資格ヲ具ヘ幹部候補生タルコトヲ志願スル者ノ中人格成績共ニ優秀且家庭良好ニシテ陸軍大臣ノ定ムル銓衡ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 (略)

二 經理部幹部候補生、法律、經濟又ハ商業ニ關スル學科ヲ教授スル專門學校又ハ陸軍大臣ニ於テ之ト同等以上ト認ムル學校ヲ卒業シタル者

三 (略)

四 (略)

第五十五條 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ハ幹部候補生タルコトヲ得ス

第五十六條 (略)

第五十七條 (略)

第五十八條 幹部候補生ハ採用後概ネ三月ノ後左ノ如ク區分ス

一 豫備役士官タルヘキ幹部候補生(甲種幹部候補生ト稱ス)

二 豫備役下士官タルヘキ幹部候補生(乙種幹部候補生ト稱ス)

前項ノ區分ニ關シ必要ナル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五十九條 幹部候補生ノ修業期間ハ現役兵ノ入營期日ヨリ起算シ一年ニ滿ツル日迄トス

第六十條 (略)

第六十一條 幹部候補生ニ對シテハ採用ノ後直ニ一等兵(衛生部ニ在リテハ一等看護兵)ノ階級ヲ與フ

甲種幹部候補生ニ對シテハ直ニ上等兵(衛生部ニ在リテハ上等看護兵)ノ階級ニ、爾後概ネ二月ノ後伍長ノ階級ニ、更ニ概ネ二月ノ後軍曹ノ階級ニ進ム

前項ノ規定ニ依リ下士官ノ階級ニ進ムル場合ニ於テ各部幹部候補生ノ階級ハ各部及階級ノ區分ニ從ヒ計手、看護長又ハ踏鐵工長ノ階級トス

乙種幹部候補生ニ對シテハ直ニ上等兵(衛生部ニ在リテハ上等看護兵)ノ階級ニ進ム

第六十二條 甲種幹部候補生ニ對シテハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ修業期間ノ終ニ於テ終末試験ヲ行ヒ其ノ成績ト平素ニ於ケル勤務ノ成績トヲ參酌シ合格ヲ決定ス

疾病其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ前項ノ終末試験ヲ受クルコトヲ得サル者ハ逐次次年ニ於テ之ヲ受クルコトヲ得

第六十二條ノ二 前條ノ終末試験ニ合格シタル者ヲ將校同相當官ト爲スノ可否ハ銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス

前項ノ銓衡會議(技術ニ從事スヘキ各兵科幹部候補生ノ銓衡會議ヲ除ク)ノ組織ニ關シテハ第十條、第二十五條ノ七、第三十八條又ハ第四十七條ノ例ニ依ル

技術ニ從事スヘキ各兵科幹部候補生ノ銓衡會議ハ技術教育ニ任シタル部隊ノ將校ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十二條ノ三 前條ノ銓衡會議ニ於テ可決セラレタル者ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ本人ノ現役起算ノ日ノ屬スル年ノ翌々年ニ於テ之ヲ召集シ士官ノ勤務ニ服セシム其ノ期間左ノ如シ

一 左ニ掲クル學校ヲ卒業シ且當該學校ニ於テ配屬將校ノ行フ教練ノ檢定ニ合格シタル者ニ在リテハ概ネ一月

(イ) 大學令ニ依ル大學ノ學部若ハ豫科又ハ高等學校高等科

(ロ) 專門學校、高等師範學校又ハ陸軍大臣ニ於テ之ト同等以上ト認ムル學校

(ハ) 中學校卒業ヲ入學程度トスル修業年限二年以上ノ學校

二 (略)

三 (略)

疾病其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ前項ノ召集ニ應シ得サル者ハ逐次次年ニ於テ之ヲ召集ス

關係法令

關係法令

一二六

前二項ノ規定ニ依リ召集セラレタル者ハ豫備役見習士官ヲ命ス但シ各部ニ在リテハ豫備役ノ見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ヲ命スルモノトス

前項ニ掲クル者ノ身分取扱ハ現役見習士官ニ準ス

第六十二條ノ四 前條ノ士官ノ勤務ヲ了リタル幹部候補生ハ左ノ區分ニ依リ當該兵科部ノ士官ニ任セラレ、ノ資格ヲ具フルモノトス

各兵科幹部候補生	少尉
經理部幹部候補生	三等主計
衛生部幹部候補生	三等軍醫
獸醫部幹部候補生	三等藥劑官
	三等獸醫

第六十二條ノ五 幹部候補生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ幹部候補生ヲ免ス

- 一 他ノ兵籍ニ編入セラレタル者
 - 二 軍紀ヲ紊リ若ハ屢々法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ見込ナキ者
 - 三 成績不良ニシテ修業ノ見込ナキ者
 - 四 疾病其ノ他身體又ハ精神ノ異常ニ因リ修業ノ見込ナキ者
 - 五 前各號ニ掲クル者ノ外豫備役ノ幹部タルニ適セスト認メタル者
- 幹部候補生ニ採用セラレタル者本人ニ依リニ非サレハ一家ノ生計ヲ營ミ難キ事故ヲ生シタルトキハ本人ノ願ニ依リ幹部候補生ヲ免スルコトヲ得
- 第六十二條ノ六 第五十八條ノ規定ニ依リ區分ヲ爲シタル後ニ於テ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ本人ノ成績ヲ參酌シ甲種幹部候補生ヲ乙種幹部候補生ト爲シ乙種幹部候補生ヲ甲種幹部候補生ト爲スコトアルヘシ
- 前項ノ規定ニ依リ甲種幹部候補生ヲ乙種幹部候補生ト爲シタル場合ニ於テ現ニ軍曹同相當官又ハ伍長同相當官ノ階級ヲ有スル者ハ之ヲ上等兵(衛生部ニ在リテハ上等看護兵)ノ階級ト爲ス

二二、陸軍召集規則(抄) (昭和二十一年) 陸軍省令第二十一號

第五十六條 陸軍現役將校配屬令又ハ大正十四年勅令第二百四十六號ノ規定ニ依リ現役將校ヲ配屬シタル學校ノ生徒ノ簡閱點呼ハ當該配屬將校ヲシテ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ實施セシムルコトヲ得

二三、學校教練及青年訓練修了者檢定規程(抄) (昭和二十二年) 陸軍省令第二十二號

學校教練檢定規程(抄) (昭和二十二年) 陸軍省令第二十二號

- 第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ教練ノ檢定ニ於テ之ヲ合格ト爲スコトヲ得ス
- 一 正當ノ事由ナクシテ屢々教練ニ出席シタル者其ノ他教練實施ニ於テ怠慢ナリシ者、思想正順ヲ缺ク者又ハ素行不良ナル者ニシテ屢々訓戒ヲ受クルモ改悛セサルモノ
 - 二 前學校ニ於ケル檢定ニ合格シタルト否トニ拘ラス其ノ成績不良ナル者
 - 三 (略)
- 前條ノ規定ニ依リ合否ヲ決定スルニハ最終學年以前ノ學年及前學校ニ於ケル教練ノ成績ヲ參酌スルコトヲ要ス
- 第五條 配屬將校ハ第一條ノ規定スル教練ノ檢定ヲ行ヒ其合否ヲ決定シタルトキハ之ヲ本人ニ通告シ且合格シタル者ニシテ教練檢定ノ合格ニ關スル證明書ノ下付ヲ願出ツルモノアルトキハ前條ノ教練檢定原簿ニ基キ教練檢定合格證明書(附錄第二樣式)ヲ調製シテ之ヲ下付スヘシ

二四、各大學入學規則

東北帝國大學法文學部規程 (抄)

第一條 本學部へ入學志望ノ者ニ對シ選拔試驗ヲ行フ場合ニハ高等學校高等科文科ノ授業科目中三科目以上ニ就キ之レヲ行フ外國語ノ試験ヲ行フ場合ニ在リテハ志望者ヲシテ英、獨、佛語中其ノ一ヲ選ハシム

關係法令

一二七

關係法令

一一八

第二條 左ニ記載スル者ハ通則第六條ノ定ムル場合ニ限リ本學部ニ入學スルコトヲ得

- 一 高等師範學校、女子高等師範學校、高等商業學校、外國語學校其他之レト同種同等程度以上ノ專門學校卒業者ニシテ本學部ノ授業ニ堪フト認メタル者
- 二 專門學校卒業者中本學部ニ於テ適當ノ學力アリト認メタル者ニシテ檢定試験ニ合格シタル者

前項各號ノ志望者ノ數本學部ノ收容豫定數ヲ超過スルトキハ選抜試験ヲ行フ

九州帝國大學法文學部規程 (抄)

第一條 九州帝國大學通則第六條第二號ニ依リ本學部ニ於テ行フ學力檢定試験ヲ受クルコトヲ得ル者ハ左ノ如シ

- 一 高等師範學校、女子高等師範學校、高等商業學校若クハ外國語學校ヲ卒業シタル者
- 二 前號ニ掲ケタル以外ノ專門學校卒業生ニシテ本學部ニ於テ適當ト認メタル者
- 三 選科生ニシテ本學部講義ノ六單位ノ試験ニ合格シタル者

第二條 九州帝國大學通則第七條第二項及第八條第二項ニ依リ本學部ニ於テ選抜試験ヲ行フ場合ニ於テ其ノ試験科目ハ臨時教授會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

東京商科大學學則 (抄)

第九條 本學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ本學部ニ入學スルコトヲ得

前項ノ入學者ヲ收容シタル後尙餘裕アルトキハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ銓衡ノ上入學ヲ許ス

- 一 官公立高等學校高等科ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ニ於テ之レト同等以上ノ學力アリト認メタル者

神戸商業大學學則 (抄)

本學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ如シ

- 一 高等學校高等科(文科又ハ理科)ヲ卒業シタル者
- 一 高等商業學校ヲ卒業シタル者

大阪商科大學學則 (抄)

第八條 學部ニ入學シ得ル者ハ本大學豫科修了者トス

前項ノ入學者ヲ收容シ尙餘裕アルトキハ左記各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ銓衡ノ上入學ヲ許可スルコトアルヘシ

- 一 大阪商科大學高等商業部又ハ元大阪市立高等商業學校卒業者
- 二 高等學校高等科卒業者
- 三 大學令ニ依ル大學豫科修了者
- 四 大正七年文部省令第三號ニ依リ指定セラレタル學校ノ卒業者ニシテ本大學ニ於テ適當ト認メタル者

二五、學校身體檢查規程(抄) (昭和十二年) (文部省令第二號)

第一條 學校ニ於テハ學生生徒兒童ノ身體ノ養護鍛鍊ヲ適切ニシ體位ノ向上ト健康ノ増進トヲ圖ル爲本令ニ依リ身體檢查ヲ施行スヘシ

第二條 身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ

學校醫ナキトキ又ハ學校醫身體檢查ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

學校齒科醫ヲ置キタル學校ニ在リテハ齒牙ノ檢查ハ學校齒科醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ

學校職員、學校看護婦其ノ他適當ナル者ヲシテ身體檢查ノ一部ヲ補助セシムルコトヲ得

第三條 身體檢查ハ毎年四月ニ之ヲ施行スヘシ但シ止ムヲ得サル場合ニ於テハ身長、體重、胸圍、坐高ノ測定ヲ除キ六月末日迄ニ之ヲ施行スルコトヲ得

第四條 身體檢查ハ左ノ項目ニ就キ之ヲ施行スヘシ

身長、體重、胸圍、坐高、榮養、脊柱、胸廓、眼、耳、鼻及咽頭、皮膚、齒牙、其ノ他ノ疾病及異常

前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ檢查ヲ行フコトヲ得

第五條 身體檢查ハ左ノ各號ニ準據シテ之ヲ施行スヘシ

- 一 身長、胸圍及坐高ハ「センチメートル」體重ハ「キログラム」ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒ單位ノ下一位ニ止ムヘシ
- 二 身長ハ足袋、靴等ヲ脱シ兩踵ヲ密接シ背、臀部及踵ヲ尺柱ニ接シテ直立シ兩上肢ヲ體側ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保チ之ヲ測定スヘシ
- 三 體重ハ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ衣服ノ重量ヲ控除スヘシ

關係法令

一一九

- 四 胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ背面ハ肩胛骨ノ直下部、前面ハ乳頭ノ直上部ニ尺帶ヲ當テ安靜呼吸ノ終レトキ之ヲ行フヘシ乳房ノ著シク膨隆セル女子ニ在リテハ尺帶ヲ少シク其ノ上方ニ當テ測定スルモノトス
- 五 坐高ハ腰掛ニ正坐セシメ上體ヲ垂直ニ保チ身長ノ測定方法ニ準シ坐面ヨリ顛頂マデノ距離ヲ測定スヘシ
- 六 榮養ハ皮膚ノ色澤、皮下脂肪ノ充實、筋骨ノ發達等ニ就キ検査スヘシ榮養ノ狀態普通以下ニシテ衛生上特ニ注意ヲ要スト認ムルモノヲ「要注意」トシ其ノ他ノモノヲ「可」トシ之ヲ記入スヘシ
- 七 脊柱ハ形態及疾病ニ就キ検査スヘシ
形態ハ生理的彎曲ヲ有スル者ヲ「正」トシ異常アル者ニ就テハ平背、圓背、龜背、側彎等ヲ區別スヘシ
疾病ハ特ニ「カリセス」ニ注意スヘシ
- 八 胸廓ハ形態、發育等ニ就キ検査スヘシ
異常アル者ニ就テハ扁平胸、漏斗胸、鳩胸等ヲ區別スヘシ
- 九 眼ハ視力、屈折異常、色神及眼疾ニ就キ検査スヘシ
視力ハ萬國式視力表ニ就キ左右ヲ各別ニ検査シ裸眼視力ヲ記入スヘシ但シ眼鏡ヲ常用スル者ニ就テハ裸眼視力ノ外更ニ其ノ眼鏡ヲ裝用シタル儘左右ノ視力ヲ検査シ括弧内ニ記入スヘシ
弱視失明等モ各眼ニ就キ記入スヘシ
屈折異常アル者ニ就テハ近視、遠視、亂視ノ種別ヲ各眼ニ就キ記入スヘシ
色神ハ異常ノ有無ヲ記入スヘシ
眼疾ハ特ニ「トラホーム」ニ注意スヘシ
尋常小學校第二學年以下ノ兒童ニ在リテハ視力、屈折異常及色神ノ検査ヲ省略スルコトヲ得
- 一〇 耳ハ聽力及耳疾ニ就キ検査スヘシ
聽力ハ適當ナル方法ニ依リ検査シ障礙ノ有無ヲ記入スヘシ
耳疾ハ特ニ中耳炎ニ注意シ耳聾ニ就キ検査スヘシ
尋常小學校第二學年以下ノ兒童ニ在リテハ聽力ノ検査ヲ省略スルコトヲ得
- 一一 鼻及咽喉ハ鼻炎、鼻茸、蓄膿症、腺樣增殖症、扁桃腺肥大等ニ注意スヘシ
- 一二 皮膚ハ白癬、疥癬其ノ他ノ傳染性皮膚疾患、濕疹頭蝨等ニ注意スヘシ

- 一三 齒牙ハ齲齒ニ就キ検査シ處置齒、未處置齒ニ分テ其ノ數ヲ記入スヘシ
學校齒科醫ヲ置キタル學校ニ在リテハ齲齒ノ數ハ更ニ乳齒、永久齒ニ分テ記入シ又齒列異常其ノ他ノ齒疾ニ就テモ注意スヘシ
- 一四 其ノ他ノ疾病及異常ニ就テハ呼吸器、循環器、消化器、神經系等ヲ検査シ結核性疾患、腺病、肋膜炎、心臟疾患、貧血、脚氣、脫腸、神經衰弱、言語障礙、精神障礙、骨・關節ノ異常、四肢運動障礙等ノ發見ニカムヘシ
- 第六條 前條ノ検査ヲ終了シタルトキハ全身ノ狀態ヲ綜合考察シ身體虛弱、精神薄弱又ハ疾病及異常ヲ有スル者ニシテ學校衛生上特別養護ノ必要アリト認ムルモノヲ「要養護」トシ然ラサルモノヲ「可」トシ概評欄ニ記入スヘシ但シ大學、高等學校、專門學校並ニ之ト同等程度以上ノ學校ニ在リテハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 第七條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ其ノ結果ヲ本人又ハ其ノ保護者ニ通知スヘシ授業免除、就學猶豫休學又ハ治療、保護、矯正等ヲ要スル者アルトキハ本人又ハ其ノ保護者ニ注意ヲ與ヘ適切ナル處置ヲ講セシムヘシ
學校ニ於テ必要アルトキハ健康相談、豫防處置、其ノ他適當ナル保健養護ノ施設ヲ講スヘシ
- 第八條 身體検査ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ第一號様式ノ身體検査票ニ記入シ本人在學中之ヲ使用スヘシ轉學シタル者アルトキハ學校長ハ前ノ學校ヨリ其ノ身體検査票ノ交付ヲ受ケ使用スヘシ
身體検査票ハ學校長ニ於テ之ヲ保管スヘシ
- 第九條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ第二號様式ノ身體検査統計表ヲ調製シ其ノ年八月末日迄ニ直轄學校、公私立大學、高等學校、專門學校ニ在リテハ文部大臣ニ、其ノ他ノ學校ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ
地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取調メ小學校以外ノ學校ニ就テハ其ノ年九月末日迄ニ、小學校ニ就テハ第二號様式ニ準シ道府縣身體検査統計表ヲ調製添附シ其ノ年十二月末日迄ニ文部大臣ニ送付スヘシ
- 第十條 監督官廳若ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ意校醫若ハ學校齒科醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同學ヲ得タルトキハ適當ナル項目ニ就キ臨時身體検査ヲ行フコトヲ得
- 第十一條 前各條ニ依ル身體検査ノ外就學、入學ニ關シ身體検査ヲ行フコトヲ得
- 第十二條 幼稚園幼兒ノ身體検査ニ就テハ本令ヲ準用ス
- 第十三條 大學ニ於テハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ノ検査項目ニ據ラザル身體検査ヲ施行スルコトヲ得
- 第十四條 地方長官又ハ直轄學校、公私立大學、高等學校、專門學校ノ長ハ學校職員、備人等ノ身體検査ニ關シ必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ得

關係法令

第十五條 地方長官ハ本令ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得
第十六條 特別ノ事情アル場合ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ本令ノ身體検査ヲ行ハザルコトヲ得

附 則

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
道府縣ニ於テ第九條第二項ノ集計表ヲ調製シ難キ事情アルトキハ當分ノ内之ヲ省略スルコトヲ得
特別ノ事情アルトキハ地方長官ノ認可ヲ受ケ第三條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ内毎年九月末日迄ニ之ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ
第九條第一項ノ期限ハ十一月末日迄、同條第二項ノ期限ハ十二月末日迄トス
學生生徒兒童身體検査規程ハ之ヲ廢止ス

第一號様式身體検査票ニ關スル 注意事項

- 一 用紙ノ大サハ日本標準規格ニ依ル紙ノ仕上ゲ寸法A列第四號ニシテ縦二九・七センチメートル横二一・〇センチメートルトス
 - 二 縦ノ區劃ハ全年ノ數ヨリ一欄多クシ尙不足ヲ生ジタルトキハ符箋ヲ以テ之ヲ補フコト
 - 三 年齡ハ四月一日ノ計算ニ依リ滿六年一日以上滿七年迄ノ者ヲ七年トシ其ノ他之ニ準ズルコト
 - 四 轉校先ノ學校名ハ適宜學校名ノ欄ノ餘白ニ記入スルコト
 - 五 疾病其ノ他ノ爲検査ヲ受ケザル場合ハ當該區劃ニ其ノ旨ヲ記入スルコト
 - 六 本人ニ對スル注意事項欄ニハ日常衛生上注意スヘキ具體的事項ヲ記入スルコト
 - 七 検査項目中異常ナキ場合ニモ其ノ旨ヲ記入シ空欄ヲ殘ササルコト
 - 八 比體長ノ欄ニハ身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ニ、比胸圍ノ欄ニハ身長ヲ以テ胸圍ヲ除シタル商ニ、比坐高ノ欄ニハ身長ヲ以テ坐高ヲ除シタル商ニ夫々百ヲ乘ジタル數ヲ記入シ執レモ四捨五入法ニ依リ小數點以下一位ニ止ムルコト
 - 九 齲齒ヲ乳齒ト永久齒ニ分ツ場合ニハ乳齒ニ就テハ括弧内ニ記入スルコト
 - 一〇 其ノ他ノ齒疾ニ就キ検査ヲ行ハザル場合ハ該當欄ニ斜線ヲ引クコト
 - 一一 弱視失明アル場合ニハ視力欄括弧ノ右ニ記入スルコト
- 第一號様式身體検査票ニ關スル 注意事項
- 一 用紙ノ大サハ日本標準規格ニ依ル紙ノ仕上ゲ寸法B列第四號ニシテ縦三六・四センチメートル、横二五・七センチメートルトス

關係法令

二、本表ハ男女別ニ調製スルコト

- 三、身長、胸圍、坐高ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ執レモ同一年齡ニ於ケル各検査人員ノ身長、胸圍、坐高又ハ體重ノ各合計ヲ掲ケ平均ノ各欄ニハ其ノ検査人員ヲ以テ總長又ハ總重ヲ除シタル商ヲ掲ケタルコト
- 四、弱視(兩眼)ハ兩眼ノ視力〇・三ニ達セザル者ニツキ記入スルコト
- 五、尋常小學校第二學年以下ノ兒童及幼稚園ノ幼兒ニ在リテハ弱視(兩眼)、屈折異常、色辨認力ハ之ヲ本表ニ計入スルヲ要セズ
- 六、齲齒アル者ニシテ特ニ處置ノ完了セルモノハ括弧内ニ其ノ數ヲ記入スルコト
- 七、其ノ他ノ疾病及異常欄ニ於ケル疾病及異常ノ分類ハ成ルベク規程第五條第十四號ノ病名ニ據リ尙不足ヲ生ジタルトキハ符箋ヲ以テ之ヲ補フコト
- 八、前項ノ外本表ニ記入スヘキ項目ノ一部ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入セサルコト
- 九、外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入セサルコト
- 一〇 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ説明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スルコト
- 一一、本表ノ成績ニ關シ學校醫、學校齒科醫ニ於テ學校衛生上意見アルトキハ之ヲ表末ニ附記スルコト

關係法令

附

錄

一、兵庫縣立神戸高等商業學校學友會會則

第一條 本會ハ兵庫縣立神戸高等商業學校學友會ト稱ス

第二條 本會ハ會員ノ親睦ヲ厚クシ協同ノ精神ヲ養ヒ心身ヲ鍛鍊シ以テ善良ナル校風ヲ振興セント期ス

第三條 本會ハ本校生徒及職員ノ全員ヲ以テ會員トス

第四條 本會ノ目的ヲ達成スル爲メ本會ニ左ノ諸部ヲ設ク

- 總務部
- 會計部
- 音樂部
- 雜誌部
- 體育部
- 射擊部
- 柔道部
- 講演部
- 美術部
- 馬術部
- 蹴球部
- 野球部
- 卓球部
- 水泳部
- 籃球部
- 排球部
- 網球部
- 庭球部
- 山岳部

第五條 會員ハ總テ特別ノ理由アル場合ノ外何レノ部ニモ參加スルコトヲ得

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 會長 壹名 本校校長ヲ以テ會長トス
 - 一 副會長 壹名 職員會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
 - 一 理事 各部壹名
 - 一 委員 若干名
- 〔每學年各年級毎ニ生徒會員ノ互選ニ依リテ委員候補者若干名ヲ選出シ其候補者中ヨリ會長之ヲ命ス但シ第一學年級第一學期間ハ選舉ニ依ラス會長之ヲ命ス〕

附錄

- 一 委員 長 各部壹名 毎學年各部委員ノ互選ニ依リ候補者若干名ヲ選出シ其候補者中ヨリ會長之ヲ命ス
- 一 副委員 長 各部壹名
- 第七條 會長ハ前條役員ノ外必要ニ應シ顧問主事又ハ臨時委員ヲ設クルコトヲ得
- 役員ノ職務
- 第八條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス
- 副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アル時ハ之ヲ代理ス
- 部長ハ會長統制ノ下ニ各部ノ事業ヲ指導監督ス
- 理事ハ部理事及指導理事ニ分チ部理事ハ部ニ分屬シ部長ヲ輔佐シテ部ノ事務ヲ掌理シ指導理事ハ部外ニ在リテ諸部ノ運動又ハ學藝ノ指導ニ任ス
- 委員長、副委員長及委員ハ各部ニ分屬シ部長ノ指導監督ノ下ニ部ノ事務ヲ處理ス
- 代 議 員
- 第九條 生徒會員ハ毎學年各學級毎ニ互選ニ依リ代議員四名ヲ選出ス但シ第一學年級ノ第一學期間ハ選舉ニ俟ラス會長之ヲ命ス
- 代議員ハ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ス
- 會 議
- 第十條 會議ヲ分チテ役員會代議員及ヒ部長會ノ三トス
- 第十一條 役員會ハ副會長、部長、理事、委員長及副委員長ヲ以テ之ヲ組織シ代議員會ニ提出スヘキ豫算案原案各部次年度ノ行事及ヒ其他重要ナル案件ヲ審議ス
- 役員會ニハ會長ノ指名シタル職員會員ヲ以テ議長トス
- 第十二條 代議員會ハ豫算案決算報告及會長ノ諮問事項ヲ審議ス
- 代議員會ノ議長及副議長ハ代議員ノ互選ニ依リ毎年之ヲ定ム
- 役員會員ハ員外トシテ代議員會ニ出席スルコトヲ得
- 第十三條 部長會ハ副會長、部長及理事ヲ以テ組織シ代議員會ノ決議シタル豫算案及其他會長ノ諮問事項ヲ審議ス
- 部長會ニハ會長又ハ副會長ヲ以テ議長トス
- 第十四條 會議ハ會長之ヲ召集ス

役員會及代議員會ハ毎年壹回以上之ヲ召集シ部長會ハ必要ニ應シ臨時ニ之ヲ召集ス

第十五條 役員會ノ定足數ハ會議員數ノ五分ノ三トシ決議ハ出席者過半數ノ同意アルヲ要ス

代議員會ノ定足數ハ會議員數ノ三分ノ二トシ決議ハ出席者過半數ノ同意アルヲ要ス

第十六條 會議ノ決議ハ會長ノ認可ヲ經テ其ノ効力ヲ生ス

會 計

- 第十七條 生徒會員ハ總テ入學ノ當時入會金參圓及會費貳拾四圓ヲ納ムルモノトス
- 職員會員ハ別ニ定ムル所ニ依リ毎學年會員平均八圓ニ相當スル總額ヲ納ムルモノトス
- 既納ノ入會金及會費ハ一切返付スルコトナキモノトス
- 第十八條 會費ノ收入ハ之ヲ本會經常費ニ充ツ但シ職員會員ノ會費收入ハ之ヲ豫備費ニ充ツ
- 入會金ノ收入ハ特別會計トシ其ノ一半ハ重要ナル臨時費ニ充テ他ノ一半ハ會員ノ福利増進其他臨時ノ必要ニ應スヘキ費用ニ充ツ
- 第十九條 各部毎年度剩餘金ハ其部ノ翌年度別途豫備費ニ編入ス
- 別途豫備費ノ支途ニ就テハ會長ノ認可ヲ受クルヲ要ス
- 其他ノ經常費剩餘金ハ翌年度ニ繰越スモノトス
- 特別會計毎年度ノ剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ積立ツルモノトス
- 第二十條 會計年度ハ學年ニ依ル
- 第二十一條 寄附金品ノ受領及處分ハ會長ノ承認ヲ經ルヲ要ス
- 會 則 變 更
- 第二十二條 本會會則ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ代議員會及役員會ノ聯合會議ニ於テ之ヲ議定シ會長ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス
- 第二十三條 聯合會議ハ會長之ヲ召集シ會長又ハ會長ノ指名シタル職員會員ヲ以テ議長トス
- 第二十四條 聯合會議ノ定足數ハ代議員及役員會員總數ノ四分ノ三トシ決議ハ出席者三分ノ二ノ同意アルコトヲ要ス
- 附 則
- 本會則實施ニ必要ナル規程ハ部長會ニ諮詢シテ會長之ヲ定ム

役員選舉規程

委員候補者及代議員選舉規程

- 第一條 委員候補者及代議員ノ選舉ハ每學年ノ始ニ於テ會長ノ定ムル期日ニ之ヲ行フ
但シ第一學年級ニ限リ第二學期ノ始ニ於テ之ヲ行フ
- 第二條 生徒會員ハ左ノ場合ヲ除キ總テ委員候補者及代議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス
會員ノ義務ヲ履行セサル者ハ其間選舉權及被選舉權ヲ停止ス
本校代表選手タルヘキ資格ヲ停止セラレタル者進級シ得スシテ原學年ニ留リタル者及停學ノ處分ヲ受ケタル者ハ其學年間被選舉權ヲ停止ス
- 第三條 選舉ハ單記名投票トス
他人ヲ代理シテ投票スルコトヲ得ス
- 第四條 會長ハ選舉事務處理ノ爲メ職員會員及生徒會員ヨリ選舉委員若干名ヲ委囑ス
- 第五條 投票用紙ハ總務部之ヲ作成シテ選舉委員ニ交付シ選舉場ニ於テ選舉人ニ之ヲ交付ス
- 第六條 最多數ノ投票ヲ得タル者ヲ以テ當選トシ同數得票者二人以上アル時ハ年長者ヲ以テ當選トス
代議員ノ當選者ハ總務部ニ於テ資格審査ヲシタル後之ヲ發表ス
- 第七條 委員ニ缺員ヲ生シタルトキハ次點者ヲ以テ委員候補者トナシ代議員ニ缺員ヲ生シタルトキハ次點者ヲ以テ之ヲ補充ス

學友會會計規定

- 第一條 會計部ハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 豫算決算ニ關スル事務
 - 二 金品出納ニ關スル事務
 - 三 豫備費及特別會計ノ支出ニ關スル件
 - 四 各部會計ノ監査
- 第二條 會計部長ハ每年十二月中ニ翌年度收支豫算原案ヲ作成シ各部提出ノ經費概算書ヲ添ヘ會長ニ提出スヘシ

- 第三條 豫算原案ノ作成ニ當リテハ會計部長ハ會計部理事會計部委員及各部委員長又ハ副委員長ヲ召集シ協議ノ上之ヲ決定スルモノトス
- 第四條 會計部長ハ入會金會費及寄附ノ金品等ヲ收受シ之カ保管ノ任ニ當ル
- 第五條 收受シタル現金ハ會長ノ名義ヲ以テ銀行預金及郵便貯金等ノ方法ニヨリテ保管スルモノトス但シ支拂準備金トシテ必要アル時ハ金額五拾圓未満ニ限リ現金保管ヲナスコトヲ得
- 第六條 豫算ニ從ヒ各部ヨリ支拂請求アリタルトキハ別ニ定ムル支拂請求票ニヨリ支拂ヲナスヘシ但シ豫算以外ノ支拂ハ關係部長ノ請求ニ基キ會長ノ認可アリタル場合ニ限リ之ヲ行フ
- 第七條 金品ノ受拂ハ帳簿ヲ備ヘテ記録シ證據書類ト共ニ之ヲ保存スヘシ但シ收支現計表ハ毎月十日マテニ會長ニ提出スルモノトス
各部委員長ハ其ノ部ノ會計帳簿ヲ備ヘテ記録シ證據書類ト共ニ之ヲ保存スヘシ但シ收支現計表ハ毎月十日マテニ會長ニ提出スルモノトス
- 第八條 已ムヲ得サル事由ニヨリ豫算費目流用ノ必要ヲ生シタルトキハ當該部長ハ別ニ定ムル費目流用理由書ヲ作成シ會計部長ヲ經テ會長ニ提出シ認可ヲ受クルコトヲ要ス
- 第九條 豫備費ノ支出ハ會長ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス重要ト認ムルモノニ就テハ會長ハ部長會ニ諮詢スルモノトス
- 第十條 特別會計ノ支出ハ部長會ニ諮詢シテ會長之ヲ決ス但シ金額貳百圓ヲ超ユル場合ハ部長會ノ外役員會又ハ代議員會ニ諮詢スルモノトス
- 重要ナラサル小額ノ支出ハ會計部長ニ於テ會長ノ認可ヲ經テ之ヲ行フコトヲ得
- 第十一條 會計部長ハ每年五月中ニ前年度收支決算表ヲ作成シ證據書類ヲ添ヘ會長ニ提出スヘシ

二、研究編輯會會則

- 一、本會ハ本校教職員ノ學術上ノ研究調査ノ結果ヲ編輯シ之ヲ會員ニ頒チテ教授上ノ資料ニ供シ且ツ之ヲ公表スルヲ以テ目的トス
- 二、本會ハ本校教職員及全生徒ヲ以テ會員トシ校長ヲ以テ會長トス
會長ハ職員會員中ヨリ本會委員若干名ヲ委囑シ本會ノ事務及會計ヲ掌ラシム
- 三、職員會員ハ每學年金壹圓ノ會費ヲ納メ生徒會員ハ入學ノ當時三學年ニ付金參圓ノ會費ヲ納ムルモノトス

三、神商會會則

- 第一條 本會ハ神商會ト稱ス

第二條 本會ハ兵庫縣立神戸高等商業學校職員及生徒父兄ノ親睦ヲ計リ學校ノ事業ヲ援助スルヲ以テ目的トス
 第三條 本會會員ハ同校在學生ノ父兄保護人及ヒ同校特別縁故者ノ有志ヨリナル
 第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

理事 十五名 (但シ内三名ヲ常任理事トス)
 評議員 若干名

顧問 三名

理事ハ本會一切ノ會務ヲ處理ス
 常任理事ハ理事ノ互選ヲ以テス

評議員ハ會員ヨリ選舉シ本會ノ評議ニ與リ且ツ互選ヲ以テ理事ヲ選舉ス
 顧問ハ同校校長及ヒ校長理事協議ノ上推薦シタル同校職員ニ委囑ス

評議員ノ任期ハ其ノ保證スル生徒ノ在學期間トス但シ特ニ縁故又ハ功勞アルモノハ此ノ限リニアラス
 理事ノ任期ハ一年トス但シ重任ヲ妨ケス

第五條 本會ハ毎年四月總會ヲ開ク尙理事會ノ決議ニヨリ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得
 理事會評議員會ハ常任理事隨時之ヲ招集ス

第六條 本會ハ春秋二季學校側ト懇談會ト開催ス

第七條 本會ノ會員ハ入會ノ際一時限リ金貳拾圓ヲ提出スルモノトス但シ其年内ニ分納スルコトヲ妨ケス

第八條 本會ハ有志ノ寄附アリタル時ハ之ヲ受ク

第九條 會費ハ經常費ヲ除キ其他ノ費途ハ評議員會ニ於テ之ヲ定ム

第十條 本會會則ハ總會ノ決議ニヨリ變更スルコトヲ得

四、神戸高等商業學校 淡水會會則

第一章 總 則

第一條 本會ハ神戸高等商業學校淡水會ト稱ス

第二條 本會ハ會員相互ノ交誼ヲ篤ウシ母校ノ發展ニ資シ併セテ社會ニ貢獻センコトヲ以テソノ目的トス

第三條 本會ノ本部ハ之ヲ神戸高等商業學校内ニ置ク

第二章 會 員

第四條 本會會員ヲ分テテ正會員特別會員及ヒ名譽會員ノ三トス

第五條 左ニ掲クル資格ヲ有スル者ヲ以テ正會員トス

一 神戸高等商業學校ヲ卒業シタル者

一 同校ニ在學シタル者ニシテ會員總會ノ承認シタル者

第六條 神戸高等商業學校現職職員及ヒ會員總會ノ推薦シタル母校舊教職員ヲ以テ特別會員トス

第七條 母校並ヒニ本會ニ特別ノ關係アルモノニシテ會員總會ノ推薦シタル者ヲ以テ名譽會員トス

第八條 本會會員ニシテ本會會則又ハ會員總會ノ決議ニ違反シ又ハ本會ノ體面ヲ汚ス行爲ヲナシタル者ハ會員總會ノ決議ニヨリ除名スルコトアルベシ

第三章 役 員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 一 會長一名 會長ハ會員總會ノ決議ニヨリ正會員、特別會員若ハ名譽會員中ヨリ之ヲ推戴ス、尙ホ在任期間ハ三ケ年トス、但再選スルヲ妨ケス

一 顧問若干名 顧問ハ特別會員及名譽會員中ヨリ常議員會ノ推薦ニヨリ之ヲ置ク事ヲ得

一 幹事十名以内 幹事ハ常議員會ニ於テ常議員ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

一 常議員 常議員ハ各卒業年度正會員中ヨリ三名ツツ之ヲ互選ス

第十條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

第十一條 顧問ハ會務ノ相談ニ與ル

第十二條 幹事ハ幹事會ヲ組織シ會務ヲ處理ス

第十三條 常議員ハ常議員會ヲ組織シ會務ヲ審議ス

第十四條 常議員會ノ決議ハ出席者ノ多數決ニヨル

第十五條 本會ハ事務囑託ヲ置ク事ヲ得

第四章 會員總會

- 第十六條 會員總會ヲ分チテ通常總會及ヒ臨時總會ノ二トス
通常總會ハ毎年一回之ヲ開キ臨時總會ハ必要ニ應ジ之ヲ開ク
- 第十七條 會員總會ハ會長之ヲ召集ス但シ臨時總會ハ常議員會ノ決議アル時會長之ヲ召集スルモノトス
- 第十八條 會員總會ニ於テハ役員ノ選舉、會計ノ報告、會則ノ變更其ノ他重要事項ノ決議ヲナス
- 第十九條 會員總會ノ決議ハ會則變更ノ場合ヲ除ク外出席議員ノ過半数ヲ以テス、可否同數ナル時ハ議長ノ決スル所ニヨル
- 第二十條 會員總會ノ議長ハ幹事ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

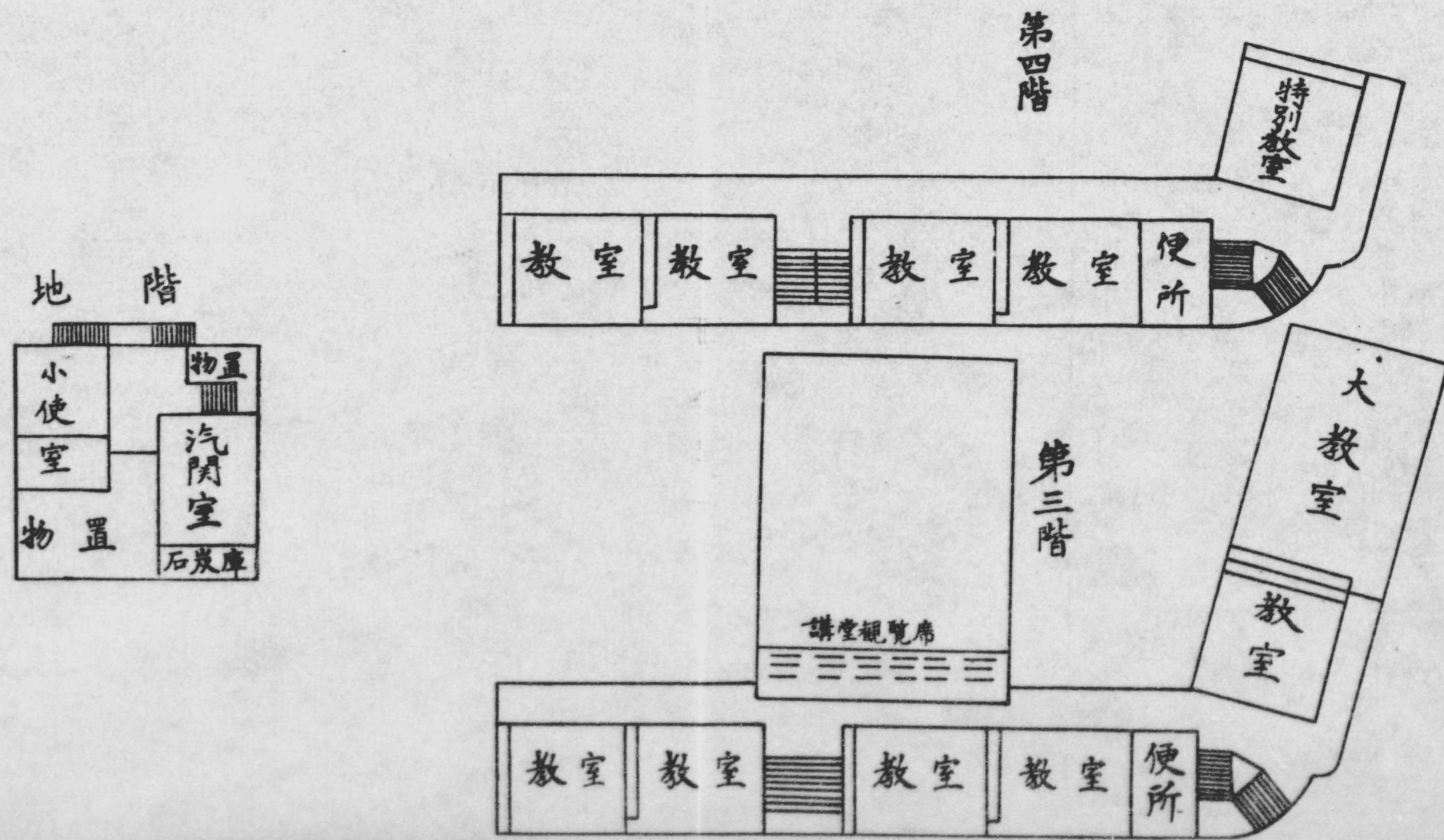
第五章 會 計

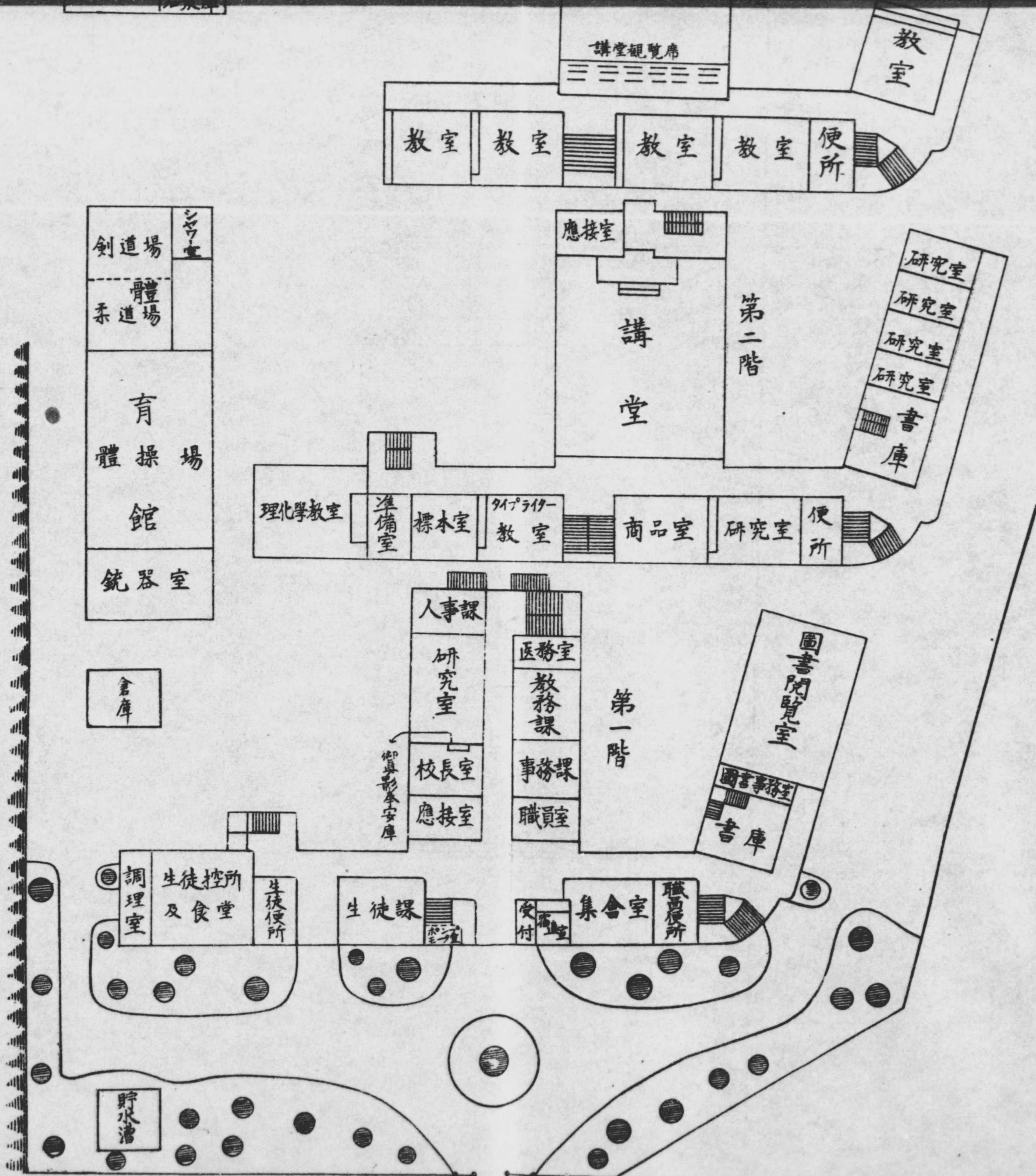
- 第二十一條 正會員ハ終身會費トシテ金貳拾圓ヲ納付スルモノトス
- 第二十二條 既納ノ會費ハ如何ナル事由アルモ之ヲ返還セス
- 第二十三條 本會ノ收支決算ハ會員總會ニ於テ之ヲ報告スヘシ
- 第二十四條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第六章 雜 則

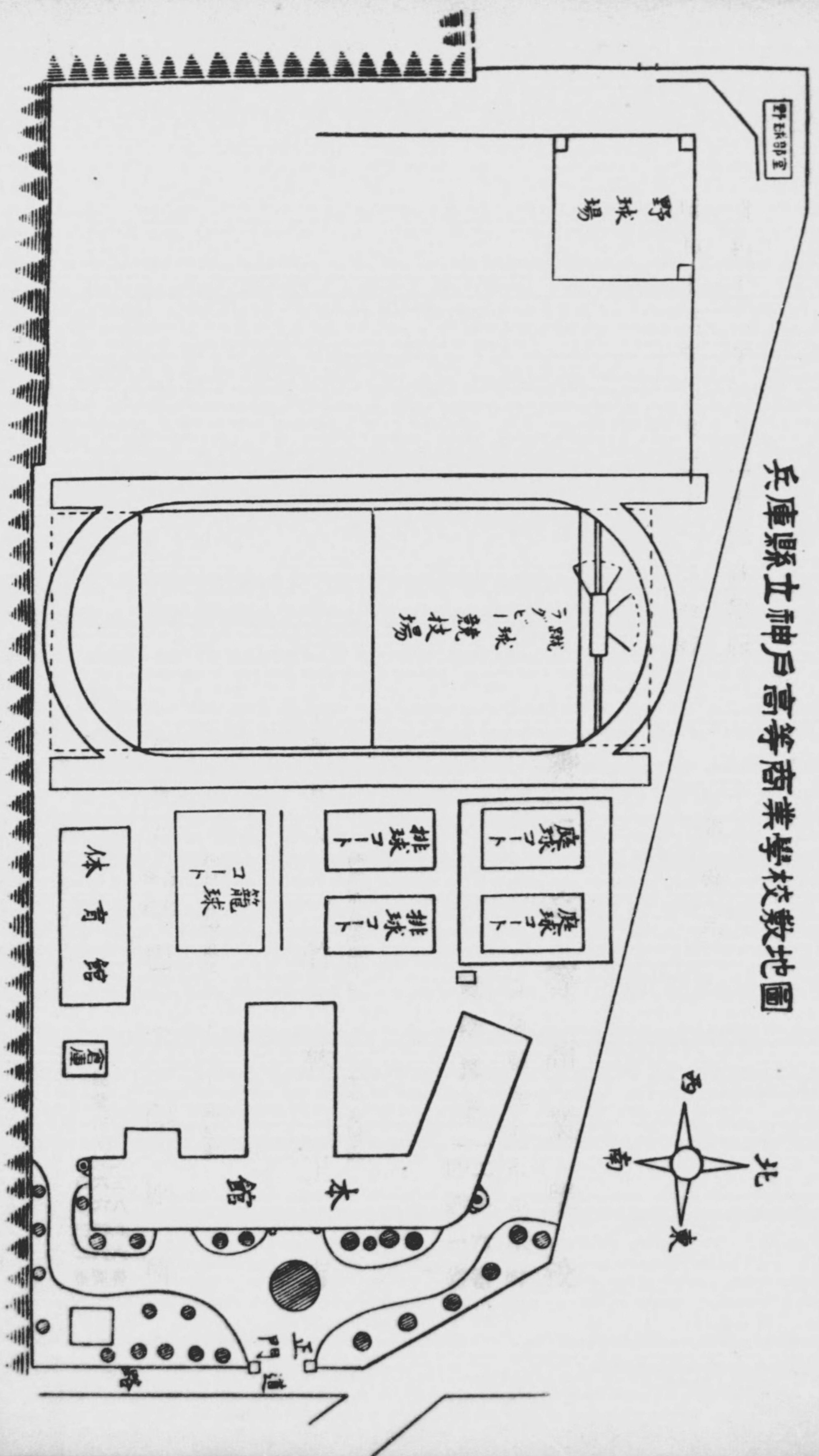
- 第二十五條 本會會則ハ會員總會ノ決議ニヨルニ非サレハ變更スル事ヲ得ス此場合決議ハ出席會員ノ四分ノ三以上ヲ以テス
 - 第二十六條 本會ハ毎年二回以上會報及毎年一回名簿ヲ發行シ會員ニ配布シ尙常議員會ニ於テ本會ノ目的上適當ト認ムル其ノ他ノ事業ヲモ行フ
 - 第二十七條 地方在住ノ會員ハ本會會則ニ抵觸セサル範圍ニ於テ其ノ地ニ支部ヲ設クルコトヲ得
 - 第二十八條 特別會員及ヒ名譽會員ハ總テ決議ノ數ニ加ハラサルモノトス
- 附 則
- 第九條ノ運用ニツキテハ未定員中ハ當分ノ間適宜ノ處置ヲ採ルコトヲ得

兵庫縣立神戸高等商業學校配置圖



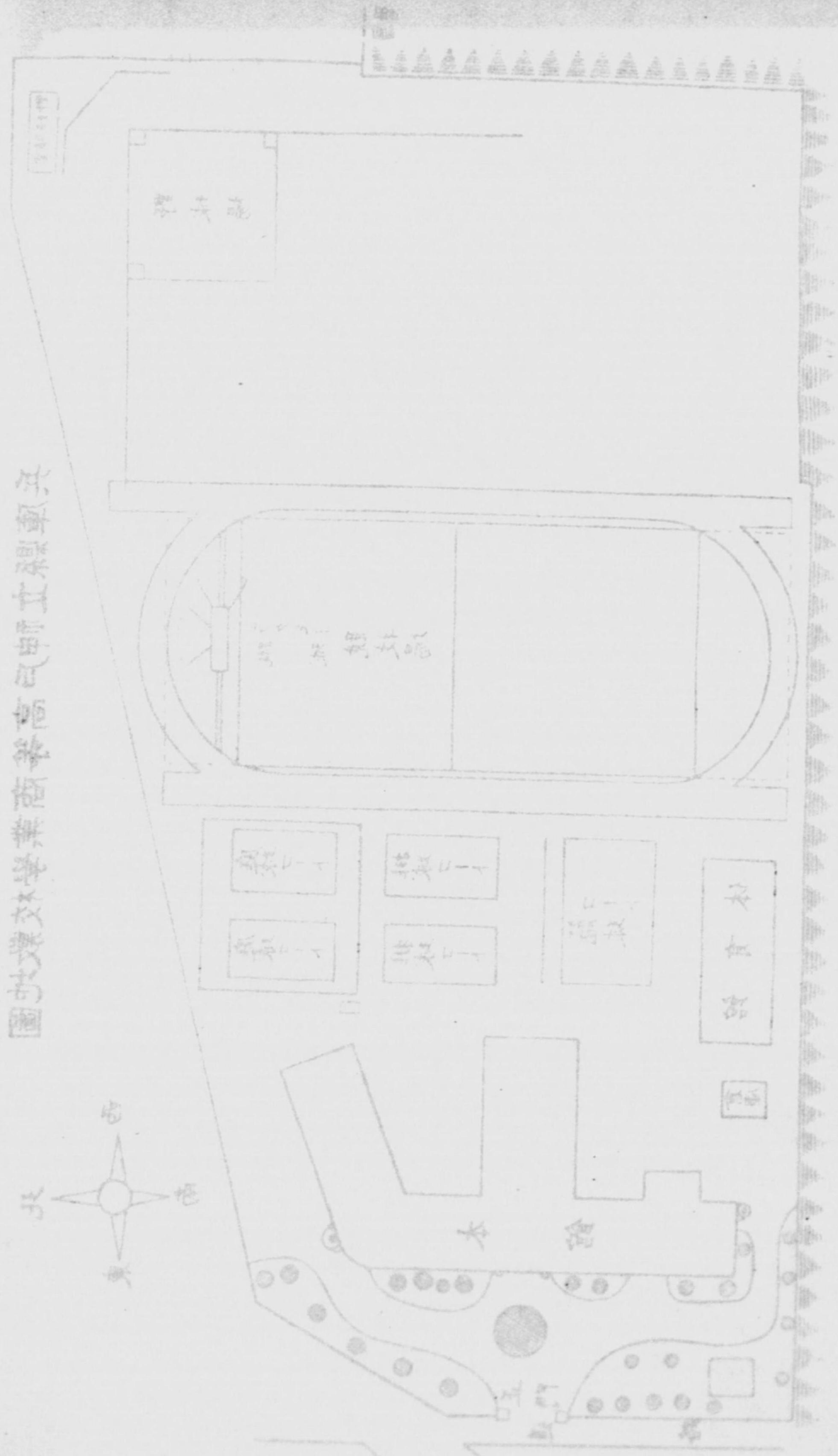


第二十五條 本會會則ハ會員總會ノ決議ニヨルニ非サレハ變更スル事ヲ得ス此場合決議ハ出席會員ノ四分ノ三以上ヲ以テス
 第二十六條 本會ハ毎年二回以上會報及毎年一回名簿ヲ發行シ會員ニ配布シ尙常議員會ニ於テ本會ノ目的上適當ト認ムル其ノ他ノ事業ヲモ行フ
 第二十七條 地方在住ノ會員ハ本會會則ニ紙隔セサル範圍ニ於テ其ノ地ニ支部ヲ設クルコトヲ得
 第二十八條 特別會員及ヒ名譽會員ハ總テ決議ノ數ニ加ハラサルモノトス
 附 則
 第九條ノ運用ニツキテハ未定員中ハ當分ノ間適宜ノ處置ヲ採ルコトヲ得



兵庫縣立神戸高等商業學校敷地圖





兵庫縣立神戸商業高等學校校庭圖

昭和十三年二月二十二日印刷
昭和十三年二月二十八日發行

(非賣品)

神戸高等商業學校

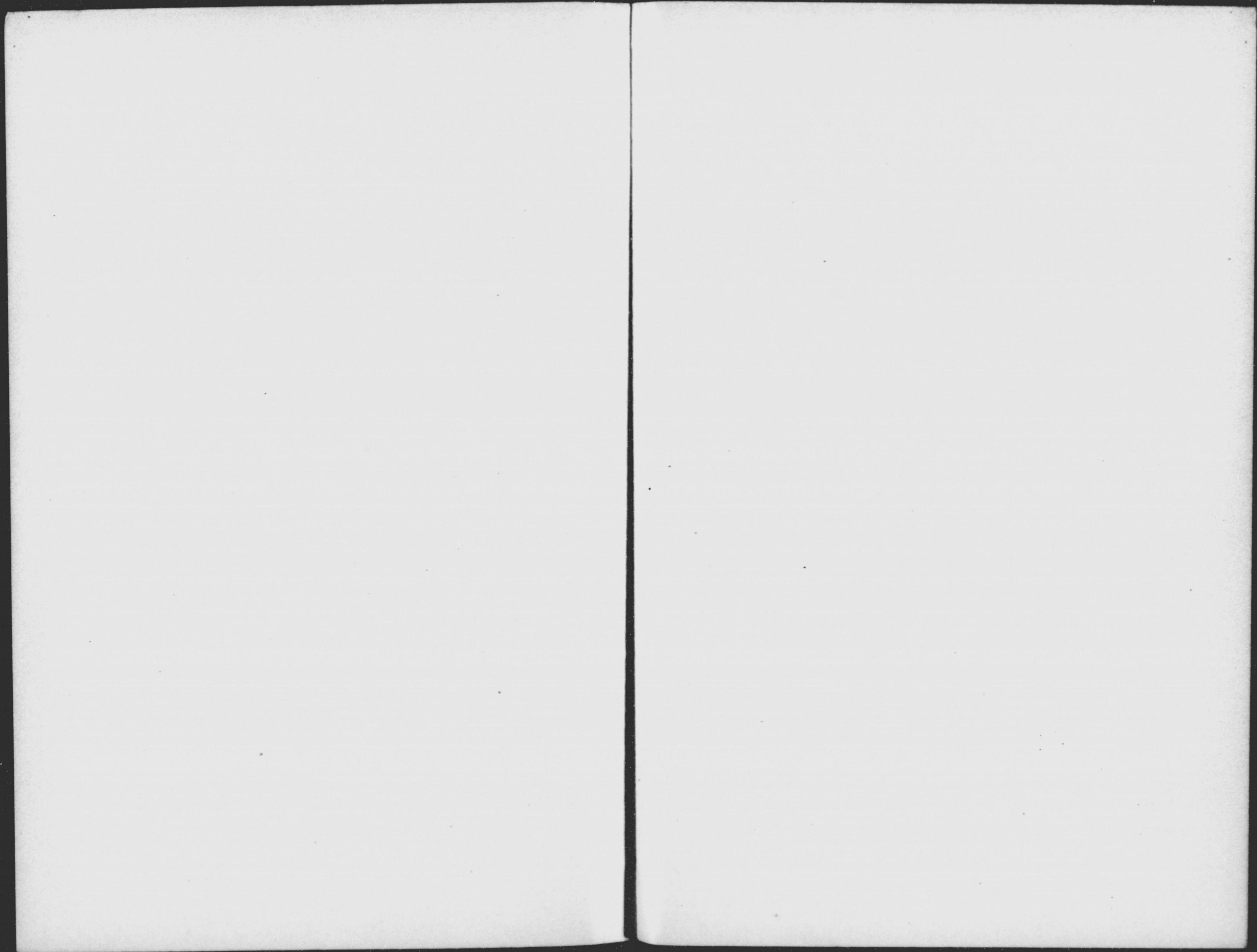
兵庫縣明石郡垂水町
電話舞子(四二四一)六番

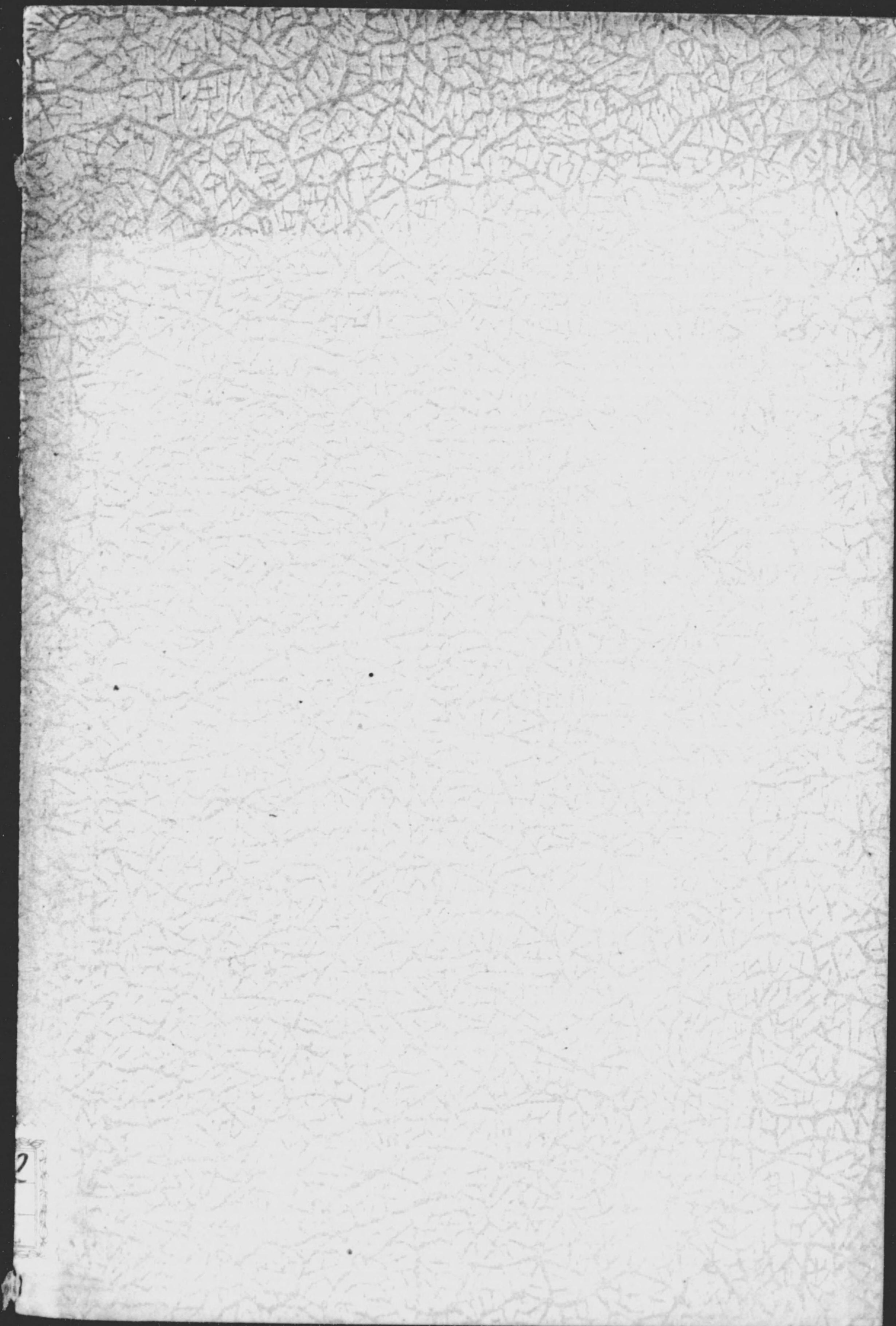
印刷人 竹林正吉

神戸市兵庫區湊町四丁目七十五番屋敷

印刷所 巴堂印刷所

電話湊川(三六八四)四番





2